

63-72



1200600227728

63

72

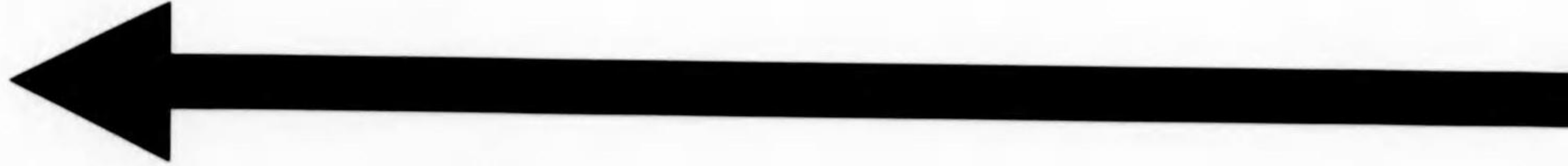
昭和三年五月開催

耕地主任官會議要錄

農林省農務局



始



63
72x

耕地主任官會議要錄

目次

一	農林大臣訓示	一
一	農務局長指示	三
一	耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意ノ件	七
一	出席者	一一
一	諮問事項及協議事項	一三
一	議事經過	一四
一	諮問事項答申	一六
北海道	二
青森縣	三
岩手縣	三
宮城縣	三
秋田縣	三
山形縣	三
福島縣	三
茨城縣	三
栃木縣	四
群馬縣	四
埼玉縣	四
千葉縣	四
東京府	四
神奈川縣	四
新潟縣	四
富山縣	四



80W39656

石川縣	一六
福井縣	一七
山梨縣	一八
長野縣	一九
岐阜縣	二〇
靜岡縣	二一
愛知縣	二二
三重縣	二三
滋賀縣	二四
京都府	二五
大阪府	二六
兵庫縣	二七
奈良縣	二八
和歌山縣	二九
鳥取縣	三〇
島根縣	三一
岡山縣	三二
廣島縣	三三
山口縣	三四
徳島縣	三五
香川縣	三六
愛媛縣	三七

高知縣	一四
福岡縣	一五
佐賀縣	一六
長崎縣	一七
熊本縣	一八
大分縣	一九
宮崎縣	二〇
鹿兒島縣	二一
沖繩縣	二二

一地方提出事項

第一 大規模開墾計畫ニ關スル件	一三
第二 開墾助成ニ關スル件	一四
第三 土地利用計畫ニ關スル件	一五
第四 開墾地移住及經營ニ關スル件	一六
第五 用排水幹線改良事業ニ關スル件	一七
第六 農業水利改良計畫ニ關スル件	一八
第七 耕地整理ニ關スル件	一九
第八 事業資金ニ關スル件	二〇
第九 農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件	二一
第十 其ノ他ノ事項	二二

耕地主任官會議要録

農林大臣訓示



今回耕地主任官會議カ開催セララルニ當リ諸君ノ會同ヲ求メ會議ヲ開クニ當リ私見ヲ申述テ御挨拶ニ代ヘタイト思フ

農業ノ基礎カ耕地ニアルコトハ言フ迄モナイ事ニシテ其ノ耕地ニ向ツテ國家及從業者カ力ヲ致サナケレハナラヌ點ハ耕地ヲ擴張スルト言フコトカ其ノ一、耕地ヲ改良スルト言フコトカ其ノ二テアツテ此ノ二方面ニ向ツテ力ヲ竭スコトカ農業ノ發展ヲ促ス所以テアル殊ニ近時我邦ノ人口カ著シク増殖シ食糧問題カ益重サヲ増スニ從ヒ耕地ノ擴張改良事業ハ將來益重大性ヲ加ヘテ來ル中央ニ於テハ既ニ明治三十二年耕地整理法ヲ制定シテ爾來歷代ノ内閣ハ絶ヘス之ニ向ツテ力ヲ致シテ來タノテアルカ殊ニ大正七、八年以來更ニ開墾助成、移住獎勵、機械ノ利用、用排水幹線工事ノ促進等ノ如キ各種ノ施設ヲ加ヘ來リ相當顯著ナル成績ヲ見テ居ル然シ今日迄ニ舉ゲ得タル成績ヲ以テ未タ満足ノ程度ニ至ツテ居ルトハ云ヘナイ、更ニ前途ニ向ツテ一段ノ力ヲ盡ス可キ状態ニアリト思フ之ニ就イテ現内閣ニ於テハ更ニ施設スル積リテ第五十四議會ニ相當ノ豫算計畫ヲ立テタカ不幸議會カ解散セラレ全部ハ實現シナカッタノテアルカ實行豫算ニ於テ出來ルタケノコトヲスル積リテアル又更ニ來ル普通議會ニ於テ又

農林大臣訓示

夫レ以後ニ於テモ本問題ニツイテ相當徹底シタ施設ヲシタイト思フ唯私ハ之ニ付テ遺憾ニ感スル點ハ各種ノ耕地擴張改良事業ニ關シテ政府ハ諸種ノ施設ヲシテ居ルカ其ノ悉クカ總テ成功シテ居ルトハ思ハレナイノテアル中ニハ隨分困難ヲ感シテ豫期ノ成績ヲ擧ケ得サルモノモ相當見エルノテアル此ノ原因ニハ設計ノ宜シキヲ得サルモノモアラウ工事ノ施行其ノ宜シキヲ得サルモノ又水量ノ測定、土質ノ鑑定ヲ誤リ其ノ爲多額ノ經費ト負擔ヲ關係者ニ掛ケ經濟上長ク上ケモ下ケモ出來サル所モ往々アル様テアル此ハ余程注意ヲ要スル處テアル將來國家カ如何ニ英斷ヲ以テ施設ヲ講シテモ其ノ設計、實行宜シキヲ得スシテ失敗カ繰リ返サレルト容易ナラヌコトテアル延ヒテハ耕地ノ擴張改良事業上ニ一大頓挫ヲ來スコトトナルテアラウ故ニ特ニ其ノ仕事ト接觸シ直接關係ヲ有スル諸君ハ特ニ此ノ點ニ留意セラレタイノテアル中其ノ全部ヲ成功スルコトハ困難ヲ其ノ中ニ多少ノ失敗アルハ已ムヲ得サルコトナルモ然シ事ニ當ルモノハ十中一ノ失敗ナキ様ニ注意スル責任カアル故ニ政府トシテハ將來大イニ力ヲ致シタイカ夫レト同時ニ之カ實現サレルトキハ特ニ其ノ實行上ニ誤ナカラヌコトヲ期シ度イ此ノ點ハ私トシテ特ニ諸君ニ期待スル所テアツテ此ノ意味ヲ將來トモニ十分ノ注意ヲ以テ事ニ當ラレンコトヲ望ム

今回ノ會合ニ付テ當局ヨリ諮問スルコトモ多々アル可キモ諸君ニ於テ實際上ノ見地ヨリ改良スヘキ點又新施設ヲ起スコキ點等ニ關シ忌憚ナク意見ヲ吐露シテ審議ヲ盡サレンコトヲ特ニ希望スル次第テアル

農務局長指示

茲ニ地方耕地主任官會議ノ開催ニ當リ耕地ノ擴張改良事業ニ對スル本省ノ方針並要望ニ付テハ大臣ヨリノ訓示アリタル所ナルカ予ハ聊カ細目ニ亙リテ諸君ノ留意ヲ希望セムトス

一、大規模開墾計畫ニ關スル件

大規模開墾計畫ハ昨年度ヨリ開始セラレタルカ之ニ對シ各府縣ヨリノ計畫申請四十四地區アリタルモ目下五地區ヲ選擇シ計畫ヲ進メツツアリ
計畫ヲ實施スルニ當リテハ往々ニシテ困難ニ遭遇スルコトアリ爲メニ他方面トノ折衝ヲ要シ全體的計畫ノ進行ヲ妨クルコトアリ本省ニ於テハ是等障礙トナルヘキ諸問題ニ付常ニ解決ニ努メツツアリト雖地方ニ於テモ是等解決ニ付テハ特ニ充分ノ努力アランコトヲ望ム猶地方ニ於テ大規模團地中ノ一部分開發ヲ急クカ爲ニ其ノ殘存地域全般ニ亙ル將來ノ計畫ヲ不利益ナラシムルコトアルヲ以テ地方ニ於テ是等部分的開發ヲ行ハムトスル場合ハ其ノ全般ニ及ホス利害關係ヲ考察シ可成中央地方熟議ヲ遂ケ以テ遺憾ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

二、開墾助成ニ關スル件

開墾事業ハ概シテ事業費ノ負擔重ク若シ萬一失敗スルトキハ其ノ影響スルトコロ容易ナラサルモノアリ從來ノ實績ニ徴スルニ開墾事業中經營困難ニ陥レルモノハ當初ニ於ケル設計計畫、工事ノ施行其ノ當ヲ得サルニ原因スルモノ多キヲ認ムルヲ以テ將來是等ノ點ニ付一層ノ注意ヲ望ム若シ從來

ノ施設ヲ以テ充分其ノ目的ヲ達スル能ハサル場合ハ府縣ノ設備ヲ擴張スル等相當方策ヲ講シ右趣旨ヲ徹底スル様努力アラムコトヲ望ム

三、土地利用計畫ニ關スル件

土地利用計畫ヲ了シタルモノハ現在二百九十一地區其ノ開墾見込面積十三萬四千町歩ニ及ヒ近時之カ事業實施ノ機運ニ向ヒツツアルモノ漸次増加スルノ傾向ニアリト雖尙一層促進ヲ圖ランカ爲今後ノ計畫ニ當リテハ地區ノ實情ニ鑑ミ其ノ開發ニ便スル様計畫設計ノ程度ニ付テモ相當考慮スル方針ナルヲ以テ地方ニ於テモ本省技術官ト十分ナル連絡ヲ計リ速ニ實行ノ運ニ至ル様努力セラレムコトヲ望ム

四、開墾地移住獎勵ニ關スル件

開墾地移住獎勵ハ開墾ノ利用ヲ増進シ優良ナル新農村ノ創成ニ又農村人口分布状態ヲ適切ナラシムル等ノ上ニ甚大ナル効果アルモノニシテ大正九年度以來移住者ノ家屋ニ對シ昭和元年度ヨリハ移住家屋ノ外移住者ノ共同建造物ノ建築者ニ對シ獎勵金ヲ交付シ來レリ而シテ昭和二年度迄ニ國庫補助金支出額八十二萬八百二十五圓補助家屋戸數五千二百七十九戸同共同建造物四十四棟ニ達シ其ノ效果顯著ニシテ之ニ對スル地方廳ノ要求モ逐年増加シ豫算ヲ超過スルノ狀況ナルヲ以テ昭和三年度ニ於テハ國庫豫算ヲ更ニ増額シテ三十二萬五千四百圓トナシ益々本制度ノ充實ヲ圖リ尙進ンテハ之カ改進ヲ爲シ移住者ノ土着安定ニ資セムトスルノ方針ナルヲ以テ地方ニ於テモ一層之カ獎勵ニ努メラレムコトヲ望ム又移住獎勵上移住紹介手續及汽車、電車、汽船ノ運賃割引制度ノ利用方法ヲ周知セ

シメ本制度ノ實績ヲ舉ケラレムコトヲ望ム

五、開墾地經營ニ關スル件

開墾地經營ハ開墾事業最終ノ措置ニシテ其ノ方法如何ハ事業ノ成果ニ甚大ナル關係ヲ齎スモノナルノミナラス獎勵上ニモ影響スルコト尠カラサルモノアルヲ以テ開墾事業獎勵ニ當リテハ工事終了後ノ土地ノ利用及用排水ニ關スル維持管理特ニ用水ノ分配管理等ニ付十分ナル注意ヲ拂ヒ他ノ方面トモ聯絡ヲ採リ適切ナル指導ヲ行ヒ保護獎勵ヲ加ヘ以テ最モ有利ナル經營ヲ爲スヲ要ス曩ニ行ヘル開墾地經營指導補助ノ如キ又從來行ヘル開墾地ニ適スル陸稻ノ優良品種配布、東北諸縣ノ開墾地ニ優良ナル甘藷苗ヲ供給シテ栽培ヲ獎勵シツツアルカ如キ何レモ開墾地經營ヲ有利ニ導カントスルノ趣旨ニ外ナラサルナリ

地方廳ニ於テモ今後一層ノ指導監督ト共ニ各種ノ調査研究ヲ遂ケラレ開墾地ノ經營特ニ畑地ノ經營ニ付遺憾ナキヲ期セラシムコトヲ望ム

六、用排水幹線改良事業ニ關スル件

用排水幹線改良事業ハ地方ノ要求頗ル多ク本省ニ於テモ毎年豫算ヲ増額シツツアリテ今後益々多端ナラントス而シテ本事業ノ實行ニ當リテハ最近ノ實情ニ鑑ミルニ特ニ左記ノ事項ニ付注意セラレムコトヲ望ム

(一) 用排水幹線タル河川ノ改良ヲ必要トスル場合之ヲ用排水幹線改良事業トシテ施行シ得ルコト勿論ナリト雖其ノ工事ノ他官廳管轄事項ニ關係アル點ニ付テハ努メテ之ト協調ヲ保チ其ノ計畫及

實行上扞格ナカラシムル様留意スルコト

(二) 國庫補助金交付ノ指令後ニ於テ設計變更ノ申請ヲ見ルコト少カラス

右ハ止ムヲ得サル事由ニ依ルコト勿論ナルヘシト雖之カ爲事業費ノ増加ヲ必要トスル場合ニ於テハ補助金ノ増額ヲ認ムルコト豫算經理ノ都合ニ依リ困難ナルヲ以テ設計當初ニ於テ十分ナル調査考究ヲ行ヒ可成其ノ變更ヲ少ナカラシムルコト

七、排地整理事業資金ニ關スル件

耕地整理事業資金トシテハ昨年度大藏省預金部ヨリ融通セラレタル低利資金ハ相當多額ニシテ且高利借替資金ヲモ供給セラレ其ノ他遞信省簡易生命保險積立金ノ運用及生命保險會社ノ資金ヲ耕地整理事業ニ融通スルノ途ヲ開カレ稍金融緩和セラレタリト雖未タ十分其ノ必要ヲ充スニ至ラス今後猶相當ノ方策ヲ講セサルヘカラサルヲ以テ資金ノ供給ヲ一層利便ナラシムル方法ニ付目下種々考究中ナリ地方ニ於テモ資金融通ニ付テハ適當ニ指導セラレ其ノ圓滑ヲ期スルハ勿論割當ヲ了シタル低利資金ハ相當期間内ニ貸付ヲ了セサルトキハ融通ヲ打切ラルルコトナルヲ以テ可成速ニ貸付ヲ了セラルル様取計ハレムコトヲ望ム

八、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

昭和二年度ヨリ開所セル埼玉縣北足立郡横會根村所在ノ農用機械管理所ハ各種農用機械類ノ格納、修理、陳列等ヲ行フ所ニシテ過去一年間ノ成績ニ徴スルニ豫期ノ目的ニ協ヘリ今後益々本施設ヲ利用セラレンコトヲ望ム

九、地下水利用及地質調査ニ關スル件

耕地擴張改良事業獎勵ニ伴ヒ技術上難工事ヲ遂行シ新水源ヲ取得スルノ必要アリ右ニ關シ地下水ノ利用及排除並貯水地ノ地質ニ關スル調査ヲ精確ナラシムヘキ要望多シ本省ハ科學知識ノ發達及機械工具ノ進歩ノ長ヲ採リ之カ達成ヲ助長シツツアル所ナリ地方ニ於テモ慎重ナル考慮研究ヲ望ム以上諸君ノ留意ヲ請フヘキ要項ヲ陳述セリ思フニ耕地ノ擴張改良事業タル今後益々多端ニシテ中央地方一致協力シテ銳意其ノ事ニ當テサルヘカラサルハ勿論ナルヲ以テ本會議ニ於テハ相互腹藏ナク意見ヲ開陳シ十分ナル攻究ヲ遂ケテ事業ノ將來ニ貢獻セラレムコトヲ望ム

耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意ノ件

一、開墾助成ニ關スル件

(一) 助成出願ハ工事開始前ニ之ヲ爲スヘキモノナルコトハ屢々注意セル所ナルニモ拘ラス尙往々ニシテ甚シク出願遅延ノ爲詮議相成難キ場合アルヲ以テ注意アリタキコト

(二) 設計計畫ノ注意ニ付テハ局長ヨリモ指示アリタルカ就中財務計畫、用水計畫ニハ周到ナル注意アリタキコト

(三) 開田地ニ於ケル用水分配ノ方法並之カ管理適當ナラサル爲其ノ能率ヲ減殺スルモノアリ注意ヲ要スルコト

(四) 工事開始ノ當初ヨリ相當費用ノ徴收、夫役現品ノ賦課並整理前後ノ收益差額徴收方ニ關シテ

耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意ノ件

ハ前回ノ會議ニ於テ局長ヨリ指示アリタル所ナルカ往々ニシテ實行セラレサルモノアリ自今勵行セシメラレタキコト

二、土地利用計畫ヲ希望セララルル地區ニ付テハ豫メ調査又ハ踏査ノ上其ノ概況ヲ申請書ニ附記セラレタキコト

三、開墾地移住獎勵ニ關スル件

(一) 開墾地ノ移住ニ關スル事業ハ可成耕地整理事業トシテ經營シ移住家屋及共同建造物ノ建築又ハ移住民ノ保護獎勵等ニ遺憾ナキ様相當業者ヲ指導セラレタキコト

(二) 開墾地移住獎勵金交付指令認可申請書ハ年度末ニナラサル様可成早ク提出セラレタキコト

四、用排水幹線改良事業ニ關スル件

(一) 同一事業地ノ文書ニシテ往々其ノ名稱ヲ異ニセルモノアリ斯テハ其ノ處理ニ際シ誤リヲ生スル悞レアルヲ以テ今後ハ各書類共終始一貫シテ補助指令書ニ記載シタル名稱ヲ用ヒラレタキコト

(二) 用排水幹線補助ニ關スル打合ニ際シ提出スヘキ計畫ニハ可成工事明細書ヲ添附セラレタキコト

(三) 豫算決算ニ關スル提出書類中ニハ誤謬多キヲ以テ豫メ周到ナル檢閲ヲ行ハレタキコト

(四) 補助金請求書特ニ事業ノ最終年度ニ於ケルモノニ付テハ豫算經理ノ都合アルヲ以テ速ニ提出アリタキコト

(五) 會計檢査院ニ提出スル計畫證明方ニ付テハ昭和二年七月九日附ヲ以テ本省會計課長ヨリ通牒

セル通ナルモ右書類ノ提出ハ可成當該年度ノ補助金請求書ト同時ニ差出サレタシ尙計算證明書添

附ノ決算報告書及事業成績書ハ補助金請求書添附ノ支出決算明細書及事業成績書ト同一ナルヲ要

スルモ往々不附合ノ書類ヲ提出スル爲取扱上支障尠ナカラサルニ付注意アリタキコト

五、農業水利改良計畫ヲ申請セラルル場合ハ左記事項ニ付特ニ注意アリタキコト

(一) 計畫ノ基礎ヲ爲ス材料即被害面積及其ノ程度、被害地ノ雨量、用水量、洪水量其ノ他河川ノ水位、水量等ハ長期ノ觀測又ハ調査ヲ必要トスルヲ以テ豫メ可成材料蒐集ノ手配ヲセラレタキコト

(二) (本件ニ付テハ大規模開墾計畫及土地利用計畫ニ付テモ同様トス)

(一) 計畫ノ方針内容等ニ關シテハ地方ノ意見ヲ參考トスルコト勿論ナルモ之カ爲調査研究ヲ制肘シ爲ニ調査ノ進行ヲ妨ケ又ハ計畫ヲ不完全ナラシムルカ如キコトナキ様注意セラレタキコト

(二) 委託調査又ハ調査費ノ一部ヲ地方ニ於テ負擔スルヲ必要トスル場合往々經費ノ支出ニ困難ヲ生シ調査ノ進行ヲ妨クルコトアルヲ以テ右ノ如キ地方ノ豫算ニ付テハ其ノ内容ニ付豫メ打合セラレタキコト

(三) 地區ノ撰定ニ付テハ被害區域ニ限ラス區域外トノ水利關係其ノ他地元關係等ヲ十分ニ調査シ實行ノ見込確實ナルモノヨリ先ニセラレタキコト

六、耕地整理ニ關スル件

(一) 耕地整理設計書變更カ工事施行目的ノ變更又ハ工事ノ計畫説明ノ重要ナル部分ノ變更ニアラサルノ故ヲ以テ報告ヲ省略セシ爲次回ノ設計書變更認可報告ノ場合變更前ニ於ケル整理費ノ豫算

耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意ノ件

カ本省臺帳ニ記載ノ分ト一致セサルモノアリ爲ニ照會往復ノ煩ニ堪ヘサルヲ以テ向後此ノ種ノ設計變更ノ場合ハ該當事項ヲ毎月取纏メ報告セラレタキコト

(二) 耕地整理設計書ノ變更頻繁ニシテ或ハ一地區ニシテ十數回以上ノ變更ヲ行ヘル例アリ之素ヨリ經濟界ノ變動其ノ他ノ事情ニ因ルモノナルヘシト雖餘リニ頻繁ナルニ於テハ當業者ヲシテ歸向ニ迷ハシムルノ虞ナシトセス爾今設計ニ當リテハ周到ナル注意ヲ拂ヒ可成變更ナカラシムル様努メラレタキコト

七、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

(一) 農用機械管理所ハ昨年度開所以來地方廳ノ依頼ニ依リ牽曳機操縦者ノ養成ヲ試ミタルモノ七名アリ内三名ハ既ニ經驗アル者ナリシヲ以テ七日間ノ指導ヲ爲シ他ノ四名ハ二十五日間在所セシメ實地ト理論トノ指導ヲ爲シ孰レモ歸縣後ノ成績良好ナリ本省ハ可成此ノ種ノ希望ニ應ジ養成ニ努ムヘキヲ以テ申出ラレタキコト

(二) 牽曳機ハ目下大型三十二臺アレ共其ノ内六臺ハ大修繕ヲ要スル爲管理所ニ引上ケ在庫中ノモノヲ代用送付シテ直ニ修理ノ上再貸與ヲ爲シ完全ニ作業シツツアリ今後貸與中破損ノ甚シキモノアラハ貸與條件ニ據リ破損指揮伺ヲ爲シタル上右同様ノ手續ニテ所定ノ作業ヲ了セラレタキコト

(三) 拔根機ニ付テモ昨年度修繕セルモノK型七臺、カースチン型四臺アリテ修繕後直ニ貸與シツツアリ貸與中破損セル場合ハ牽曳機同様ノ手續ヲ採ラレタキコト

計用水使用方法ニ付留意スルコト

出席者 (七十七名)

地方名	官名	氏名	地方名	官名	氏名
北海道	北海道廳屬	齋藤修三	茨城	地方農林技師	村岡岩記
北海道	北海道廳技師	富岡武夫	農林技師	農林技師	岡本治郎平
青森	地方技師	山田稔	農林技師	農林技師	山本實
岩手	地方技師	相馬章夫	地方農林技師	地方農林技師	大竹憲成
岩手	地方技師	坂部重遠	地方農林技師	地方農林技師	瀬谷勝久
宮城	地方農林主事	川崎自省	地方農林技師	地方農林技師	柳原鹿松
宮城	地方農林主事	原田嘉種	地方農林技師	地方農林技師	入江誠一郎
秋田	地方農林主事	後藤榮治郎	地方農林技師	地方農林技師	前川純三
山形	地方農林主事	市橋友次郎	地方農林技師	地方農林技師	山中謙輔
山形	地方農林主事	守能邦人	地方農林技師	地方農林技師	長谷川正一
福島	地方農林技師	安部龜五郎	地方農林技師	地方農林技師	長谷川宗三郎
福島	地方農林技師	遠藤正重	地方農林技師	地方農林技師	磯義介
地方農林技師	地方農林技師	大澤時藏	地方農林技師	地方農林技師	新井宇一

出席者

地方名	官名	氏名	地方名	官名	氏名
東京	農林技師	檜野盛吉	靜岡	地方農林主事	柏木八郎左衛門
神奈川	地方技師	田中十三男	愛知	地方技師	横田利喜一
新潟	地方農林技師	矢儀平一	三重	地方技師	山崎周善
富山	地方農林主事	山田平五郎	滋賀	地方技師	前田榮太郎
石川	地方技師	富樫幸次郎	京都	地方技師	水野哲
福井	地方農林技師	川村長作	大阪	地方農林技師	野村寛之進
山梨	地方技師	矢島敏彦	兵庫	農林技師	小森谷光三
長野	地方技師	宗村正義	奈良	地方農林技師	上村文造
岐阜	地方技師	後藤芳五郎	和歌山	地方技師	野呂勇之助
岐阜	地方技師	瀧波良太郎	鳥取	地方技師	岡部清
静岡	農林技師	櫻井直樹	岡山	地方農林技師	石井家吉
		齋藤美代司	廣島	地方農林技師	大塚至
		鷺見昇			宇都宮四郎
		山北濱之助			中島愿三
					草野入治
					田原剛

二三

廣島	農林主事補	平井長藏	佐賀	地方農林技師	石川房吉
山口	地方技師	武富憲時	長崎	地方農林技師	重政庸徳
徳島	地方農林技師	牧健治	熊本	地方農林技師	松永繁一
香川	地方技師	木村眞五郎	大分	地方技師	樺島多賀助
愛媛	地方農林技師	新谷正夫			三尾純太郎
高知	農林技師	三木恒市			野中清太
高知	地方農林技師	山元昇			林進士
福岡	地方農林技師	佐藤圭一			竹内末五郎
		松谷勇治			吉田忠一
		野田茂人			

甲 諮問事項

耕地ノ擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何

乙 協議事項

- 第一 大規模開墾計畫ニ關スル件
- 第二 開墾助成ニ關スル件

諮問事項 協議事項

- 第三 土地利用計畫ニ關スル件
- 第四 開墾地移住及經營ニ關スル件
- 第五 用排水幹線改良事業ニ關スル件
- 第六 農業水利改良計畫ニ關スル件
- 第七 耕地整理ニ關スル件
- 第八 事業資金ニ關スル件
- 第九 農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件
- 第十 其ノ他ノ事項

議事經過

第一日 (五月十四日)

午前十時半開會(赤坂溜池三會堂)各地方ヨリ七十七名ノ主任官出席シ朝鮮ヨリ總督府技師加藤正擴及總督府道技師稻田林太郎ノ出席アリ松村農務局長、有働耕地課長以下各係官列席シ松村農務局長ノ指示、續イテ有働耕地課長ノ耕地擴張改良事務取扱ニ關スル注意アリ議長ヨリ本會議ハ別ニ委員會ヲ設ケス懇談的ニ協議ヲ遂ク可キ旨ヲ告ク次イテ千葉、宮城、靜岡縣ヨリ局長ノ指示及課長ノ注意ニ關シ質問並意見ヲ陳述シ局長、課長以下係官夫々之ニ應答ス 正午休憩

午後一時再開 松村農務局長議長席ニ着キ諮問事項耕地ノ擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル

指導獎勵方針ニ對シ議長指名ヲ以テ秋田、埼玉、岐阜、兵庫、鳥取、廣島、福岡、佐賀、熊本ノ各縣順次答申シ之ニ付テ係官ヨリ質問スル所アリ

第二日 (五月十五日)

午前九時開會 松村農務局長議長席ニ着キ前日ニ引續キ議長指名ヲ以テ京都、岩手、愛知、高知、新潟、茨城、千葉、山形ノ各府縣ヨリ順次諮問事項ノ答申アリ 午後零時半休憩

午後一時再開 農林省可知技師「歐米並埃及ニ於ケル灌漑及開墾事業ニ就テ」ト題シ一時間余ノ講演ヲナシ續イテ有働耕地課長議長席ニ着キ協議ニ入ル第一大規模開墾計畫ニ關スル件ニ付福島縣ヨリ意見ヲ陳述スル所アリ 午後四時散會

第三日 (五月十六日)

午前九時開會 松村農務局長議長席ニ着キ前日ニ引續キ大規模開墾計畫ニ關スル件ニ付地方提出事項ノ提出者茨城、宮崎兩縣ノ説明、續イテ福島、石川、長崎、愛媛各縣ヨリ意見並希望ヲ陳述スル所アリ松村農務局長、有働耕地課長以下係官夫々之ニ答フ 午後一時休憩

午後二時再開 松村農務局長議長席ニ着キ協議事項第二開墾助成ニ關スル件ニ付地方提出事項ノ提出者山形、茨城、富山、石川、長野、福岡、佐賀各縣ノ説明並宮崎、福島、岐阜各縣ノ希望アリ係官夫々之ニ答フ次ニ第三土地利用計畫ニ關スル件、第四開墾地移住及經營ニ關スル件ニ付同様地方提出者ノ説明希望等アリ局長以下係官夫々之ニ答フ

最後ニ有働耕地課長ヨリ肥料土壤ニ關シ農學博士麻生慶次郎氏、農業水利法ニ關シ野間海造氏及爆發

開墾、ボーリングノ機械ニ關シ専門家ノ囑託アル旨紹介スル所アリ 午後四時散會

第四日 (五月十七日)

午前九時開會 松村農務局長議長席ニ着キ第五用排水幹線改良事業ニ關スル件ニ付前日同様協議ス
午前十時山本農林大臣ノ訓示アリ 午後一時休憩

午後二時再開 松村農務局長議長席ニ着キ第六農業水利改良計畫ニ關スル件、第七耕地整理ニ關スル
件、第八事業資金ニ關スル件、第九農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件、第十其ノ他ノ事項ニ付順次協議
ス野間海造氏ヨリ水利法制定ニ關シ意見ヲ陳ヘ希望スル所アリタリ
最後ニ松村農務局長閉會ノ辭ヲ述ヘ午後四時散會

第五日 (五月十八日)

隨時事務上ノ打合ヲ爲ス

諮問事項答申

耕地擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針

全國概況

各地方ニ於ケル答申ヲ通覽スルニ各其ノ事情ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ約言スルコト困難ナリト雖其ノ總
括的傾向ヲ窺フ爲茲ニ之ヲ概説セントス

現況

耕地ノ擴張事業ハ即チ開墾、埋立干拓、地目變換、荒地復舊等ニシテ耕地整理法ニ依リ耕地ノ改良事
業ト併セ又ハ單獨ニ行ハルルモノ多シ大正八年開墾助成法ノ發布ト共ニ各府縣ニ於テモ一層之カ獎勵
ニ努メツツアリト雖猶耕地擴張ノ見込面積全國ヲ通シテ約二百萬町歩ニ上ル
耕地ノ改良事業ハ即チ現耕地ノ灌溉設備ノ改良、排水不良地ノ改良、水害復舊及之ニ伴フ區劃ノ整理
等ニシテ耕地整理法施行以來(明治卅三年)各府縣共銳意之カ獎勵ニ努メツツアリト雖猶灌溉水不足
セルモノ五十七萬八千町歩平時排水不良ナルモノ五十六萬九千町歩洪水ノ場合ニ於テ一時的浸水ノ被
害アルモノ五十一萬四千町歩アリ尙此ノ外畑地ニシテ改良及整理ヲ必要トスルモノ尠カラス

今耕地ノ擴張改良事業ノ主ナルモノニ付順次現況ヲ示サントス但シ北海道ニハ開墾助成法ノ適用ナク
拓殖計畫ニ依リ之ヲ行ヘルヲ以テ茲ニハ便宜上示ササルコトトセリ

一、耕地整理事業

耕地整理法ノ施行セラレタル明治三十三年ヨリ昭和三年四月末迄ニ認可セラレタル地區數一萬七千
四百二、面積八十三萬一千七百町歩整理費四億一千五百萬圓ニ及ヒ其ノ面積多キ地方ハ新潟、宮
城、福島、山形、福岡、鹿兒島ニシテ各三萬町歩以上ヲ占メ其少キハ沖繩、和歌山、徳島、山梨、
長崎、香川ニシテ各六千町歩以下ナリ而シテ此ノ認可セラレタルモノノ内工事完了セルモノハ九千
七百七十一地區、面積三十九萬七千二百町歩換地處分認可済ノモノ八千八十地區三十四萬八千四百
町歩事業終了セルモノ四千二百六地區十七萬七千七百町歩ヲ算ス

二、開墾助成事業

開墾助成法ノ施行セラレタル大正八年六月ヨリ昭和三年四月末迄ノ出願狀況ハ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行スルモノ二千六百八十四地區面積七萬六千七百七十町步、地租條令ニヨルモノ百五十九地區面積一萬二千七百二十八町步合計二千八百四十三地區面積八萬八千八百町步ヲ算シ開田八割ヲ占メ開畑二割ナリ其ノ面積多キ地方ハ神奈川、岡山、岩手、青森、宮城、熊本、山形、栃木、福岡、宮崎ニシテ各三千町步以上ヲ占メ其ノ少キハ大阪、奈良、徳島、埼玉ニシテ各二百町步以下ナリ

三、用排水幹線改良事業

用排水幹線改良事業補助ノ制度ハ農業水利改良ノ必要ニ迫ラレ大正十二年度ヨリ設ケラレタルモノナルカ年々事業擴大セラレ同年度ヨリ昭和二年度迄ニ補助決定セラレタルモノ七十七地區面積十一萬三千二百三十六町步ニ達シ千葉、埼玉、新潟、神奈川ヲ初メトシ外三十七府縣ニ亘レリ

四、耕地整理工事費補助

府縣ニ於ケル耕地整理工事費補助（大分、宮崎ニハ補助規程ナシ）ハ耕地整理事業獎勵ノ爲豫算ノ範圍内ニ於テ交付シ府縣ニ依リ其ノ交付標準及交付歩合ヲ異ニスレ共昭和二年度ニ於テハ其ノ豫算額百九十九萬九千二百六十圓ニ及ヒ青森、富山、愛知、福島、愛媛、福岡、岡山、三重、高知、山形、茨城、山梨ハ何レモ六萬圓以上ヲ計上セリ

五、開墾地移住獎勵補助

大正九年度以來府縣ニ開墾地移住獎勵規程ヲ設ケテ開墾地移住家屋ノ建築ニ對シ獎勵金ヲ交付シ來

リタルモノ宮崎、岡山、福島、長野、青森等ヲ初メトシ其ノ外三十七府縣ニ及ヒ昭和二年度迄ニ國庫補助ヲ受ケタルモノ六十二萬二千圓移住戶數四千四百十八戸ニ達シタリ

尙本施設ニ伴ヒテ開墾地移住紹介及開墾地移住者ニ對スル汽車、電車、汽船ノ運賃割引ヲ行ヒ府縣ハ本省ト協力シテ獎勵ニ努メツツアリ

六、農用機械貸與

本省ニ於テ農用機械ノ貸與ヲ開始シタル大正八年以降之カ貸與ヲ受ケタルモノ福島、愛知、山形、岩手、外十八縣ニ達セリ

七、其ノ他ノ指導獎勵

各府縣ニ於テハ事實ノ指導獎勵ノ爲設計調査、工事監督ヲ行ヒ又常ニ講習講話ヲ開催シツツアルモ殊ニ近年耕地ノ擴張改良事業ニ關スル私的團體（協會等）ヲ設ケテ之等ノ指導ヲ委託シ講習講話、印刷物ノ配布等ヲ行ヒツツアルモノ尠カラス

趨勢

耕地ノ擴張改良事業ハ經濟界ノ影響ヲ受クルコト甚大ニシテ殊ニ各地方ノ事情ニ依リ其ノ消長常ナラズ耕地ノ擴張事業ニ於テハ大正八年開墾助成法發布當時ハ事業ヲ企畫スルモノ各地方ニ續出シタルモ近時米價ニ比シ勞力賃銀及諸物價ノ高價ナル爲企業益之ニ伴ハサルト金融梗塞ノ爲資金ヲ得ルコト困難ナル等ニ起因シ新事業ヲ躊躇スルノ狀態ニシテ一方ニ於テ耕地ノ潰廢セララルモノ多カリシカ最近人口問題ニ伴フ食糧増殖ノ必要ニ迫ラレ稍開墾事業進捗ノ氣運ニアリ殊ニ大規模開墾事業ハ地方民一

般ノ必要ト認ムル所ナルヲ以テ今後益進捗スルニ至ルヘシ
用排水幹線改良事業ニ於テハ大正十二年之カ創始以來年々企業盛ニシテ地方廳及本省ハ忙殺セラレツ
ツアル狀況ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

將來ニ對スル本事業ニ對スル道府縣ノ指導獎勵方針ハ各地方ノ事情同シカラサルニ依リ極メテ多岐ニ
亘ルト雖其ノ大體ノ傾向ヨリ之ヲ類別スレハ左ノ如シ

一、從來ノ通設計調査、工事監督、事務指導ヲ十分ナラシムルコト

道府縣全部

二、基本調査殊ニ農業水利調査ヲ行ヒ各地方ニ於ケル事實ノ年度割計畫ヲ立案スルコト

岩手 秋田 山形 茨城 栃木 群馬 千葉 神奈川 新潟 福井 山梨 長野 京都 廣島 徳島 香川 高知 福岡
佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎等

三、事業容易ニシテ有利ナルモノヲ先ニシ大規模ナルモノ殊ニ用排水幹線改良事業ハ之ヲ府縣營トシ
テ促進スルコト

青森 岩手 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 千葉 神奈川 富山 長野 岐阜 静岡 愛知 滋賀 兵庫 岡山
山口 香川 高知 熊本等

四、開墾地移住經營施設ヲ完成セシムルタメニ獎勵費ヲ多額ニ計上スルコト

岩手 山形 福島 栃木 富山 山梨 長野 愛知 兵庫 鳥根 岡山 廣島 山口 宮崎 沖繩等

五、事業資金ノ供給斡旋ニ努メ又借入資金ノ輕減ヲ圖ルコト

北海道 岩手 山形 茨城 千葉 神奈川 岐阜 石川 兵庫 奈良 廣島 大分 宮崎等
六、事業ノ財政及工事後ノ經營ニ付周到ナル指導ヲ爲シ且現在事業困難ニ陥レルモノニ付テハ救濟計
畫ヲ樹ツルコト

岩手 山形 福島 茨城 栃木 群馬 千葉 新潟 岐阜 愛知 兵庫 大分 宮崎等
七、事業費輕減ノ爲機械類ヲ貸與シテ其ノ普及ヲ圖ルコト

山形 茨城 栃木 千葉 富山 福井 愛知 岡山 廣島 大分等

八、技術ノ研究ハ勿論事業者ニ對スル技術的知識ノ普及ヲ圖リ同時ニ事業宣傳ノ爲隨時講習講話、印
刷物ノ配布等ヲ行フコト

北海道 青森 岩手 埼玉 静岡 福井 愛知 和歌山 兵庫 鳥根 佐賀 長崎 熊本等

九、工事後事務ノ完了ヲ迅速ナラシムル爲協會等ノ私的團體ニ之ヲ委託スルコト

岩手 埼玉 神奈川 静岡 愛知 石川 兵庫 鳥根 長崎 高知等

一〇、農會農事試驗場等ト連絡ヲ採リ事業上ノ便宜ヲ計ルコト

茨城 山梨 石川 愛知 静岡 大分 宮崎等

一一、地方廳ノ設備ヲ擴張シテ事業ノ進歩發達ヲ期スルコト

青森 岩手 茨城 山梨 長野 兵庫 鳥根 福岡 熊本等

北海道

現況並趨勢 本道ニ於ケル昭和三年一月一日現在ノ耕地面積ハ七十八萬九千四百二十九町歩ニシテ内

田面積十五萬八千九百十四町歩畑面積六十三萬五百十五町歩ニシテ農家一戸當平均約四町五反歩ナリ

一、耕地擴張事業

(一) 本道ニ於ケル水田造成ハ主トシテ北海道拓殖計畫ニ基キ灌溉溝ノ基本調査、設計調査、灌溉溝工事及造田ノ補助金交付ヲ行ヒ獎勵シ他方北海道土功組合法ニヨリ大規模灌溉施設ヲ助長シタル結果逐年進展シ最近七、八年間ハ平均一箇年ノ増加面積壹萬町歩以上ニシテ三府四十三縣一箇年田擴張總面積ニ匹敵スルノ盛況ヲ呈シ刻下我カ國人口食糧問題ノ論議セラルル際國民食糧ノ充實増殖ト内國殖民ニ依ル人口調節ノ爲多大ノ貢獻ヲ爲シツツアルハ朝野世論ノ一致スル所ナリ本道ノ水田可能地ハ約四十五萬町歩ト調査セラルルヲ以テ尙今後ニ於テ約二十九萬一千町歩ノ未成水田適地ヲ存ス

今後ノ造田事業ハ地勢水利ノ關係上水源費及造田費ニ多額ノ勞費ヲ要スルヲ以テ當業者ノ起業亦困難ナルモノアリシモ最近造田費ニ對スル國庫補助ノ途開カレテヨリ急激ナル補助申請ノ増加ヲ見タル事情ヨリ考察セハ四十五萬町歩ノ水田開發ヲ達成シ産米七百萬石ヲ擧ケンコト遠キ將來ニアラサルヘシ

昭和三年一月一日現在ニ於ケル本道土功組合ノ灌溉ヲ目的トスルモノ百九十八組合ニシテ其許可反別十五萬三千八百四十五町歩内造田完了セルモノ九萬六千七百九十三町歩未造田反別五萬七千五十二町歩ニシテ水田開發ニ資スル所尠カラス之等土功組合ニ對シテハ低利資金ヲ配給シテ高利債ノ借替ヲ計リ負擔ノ軽減ヲ圖リツツアリ

(二) 本道ニ於ケル開墾事業ハ主トシテ北海道國有未開地處分法ニ依リ無償貸付又ハ賣拂處分ヲ爲シ府縣ノ新來移民ニヨリ行ハレ拓殖計畫ニ基キ移住獎勵ヲ行ヒ又一般未墾地ノ開墾ニ對シ補助金ヲ交付シ水田造成ニ對スル灌溉施設及造田ノ補助ト相俟テ畑開墾ノ促進ヲ企圖シツツアリ本道開墾事業ハ獨リ國有未開地ノミナラス民有未墾地ニ對シテモ施設スルニアラサレハ其目的ヲ達シ能ハサルヲ以テ大地主ノ占有ニ係ル民有未墾地ノ分割利用ヲ促進セシメ自作開墾ヲ助成スル爲土地購入資金ニ對シ利子ノ一部ヲ補給ス

二、耕地改良事業

(一) 本道ニ於ケル耕地整理法ニ據ル整理事業ハ現在荒廢地復舊ヲ目的トスル一組合ヲ存スルノミニシテ未タ一般ニ各種整理事業ヲ施行スルニ到ラサルモ將來水利改良舊田整理等ノ施設ヲ行ヒ以テ土地ノ立體的生産力増加ニ努メントス

(二) 本道ニ於ケル土地改良事業ハ泥炭濕地ニ對スル排水及客土事業ト礦質酸土壤ニ對スル改良事業ヲ主タルモノトス排水事業ハ道内各地ニ分布スル二十五萬町歩ノ泥炭濕地ノ内交通ノ便ニ富ミ適當ノ施設ヲ行ヘハ容易ニ水田又ハ畑作ニ利用シ得ヘキ利用可能ノ泥炭濕地二十三萬町歩ニ對スル改良事業ニシテ昭和三年一月一日現在改良面積七萬六千餘町歩ニ達シ將來改良ヲ要スル十七萬三千餘町歩ニ對シテハ拓殖計畫ニ基キ國費幹線排水掘鑿排水溝工事費補助等ニヨリ改良ヲ計ラントス客土事業ハ排水溝掘鑿ニ依ル乾燥ノミニテハ改良困難ナル泥炭地ニ對スル施設ニシテ其事業費ニ

補助金ヲ交付シ排水施設ト相俟テ其改良ノ效果顯著ナルモノアリ

酸性土壤改良事業ハ道内ニ散在スル礦質酸性土壤地積十七萬五千餘町步中酸度強烈ナル一萬九千餘町步ニ對シ石灰ヲ加用シ改良ヲ爲サントスルモノニシテ其事業費ニ對シ補助ス

本道ニ於ケル耕地擴張改良事業ノ現況ハ上述ノ如シ斯種事業ハ經濟界ノ盛衰ニヨリ消長ヲ來スモノニシテ水田ノ増加ハ畑作經營ニ比シ水田經營ノ有利ナルコト補助恩典ノ厚キコト等ニ基ク結果ナリト雖亦起業者ノ自覺ニ由來スル所多ク昭和三年度造田補助申請反別ハ一萬六千餘町步ニ達シ既往記録ヲ破リ逐年進展ノ趨勢ニ在リ

然ルニ畑現在面積ハ最近五六年間ノ狀態ハ年々減少ヲ見ツツアルハ主トシテ畑ノ水田ニ地目變換セララルニ由ルモノニシテ新墾面積ハ年々増加シツツアルヲ以テ元ヨリ一時的變態現象ニ過キス近ク舊時ノ狀態ニ復歸スヘキヲ疑ハス只畑地ノ水田ニ變換セララル面積著シク大ナル爲原野新墾面積カ之ニ伴ヒ得サル爲ナリ

改良事業ニアリテモ擴張事業ニ伴ヒ逐年發達ヲ見ツツアルモ開拓中途ニ在ル本道ハ耕地ノ擴張増加ニ主力ヲ傾注スルノ必要大ナルヲ以テ耕地ノ整理事業ハ未タ盛ニ起ルニ到ラス

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地擴張改良事業ニ對スル本廳ノ規定獎勵施設ハ主トシテ國費ヲ以テ調査設計工事並事務指導國庫補助等ヲ爲シ地方費施設トシテハ土地改良工事ノ測量設計ヲ爲シ着々所期ノ目的ヲ達成シツツアリ本年度ヨリハ更ニ獎勵講話ヲ爲シ又活動寫眞ヲ利用シ一層事業ノ勃興ヲ計ラントス將來時運ノ進歩事業ノ發展ニ鑑ミ事業計畫ノ改廢補助率ノ増加低利ナル事業資金ノ供給斡旋等

ニヨリ事業ノ促進ヲ圖リ經營ヲ有利ナラシメ有終ノ成績ヲ收メンコトヲ期ス

青 森 縣

現況並趨勢

一、耕地擴張

耕地擴張事業ハ本縣產業政策上最モ重要ナル事項ニシテ主トシテ耕地整理法並開墾助成法ニ依リテ其促進ヲ計リ銳意之カ獎勵ニ努メ測量設計工事監督事務指導等ヲナシ且工事費ニ對シテハ三分ノ一ノ補助金ヲ交付シツツアル結果斯業漸次勃興スルニ至レリ現在ニ於ケル耕地擴張ノ狀況ハ最近ノ統計ニ見ルモ一箇年平均約一千町步擴張シツツアリ

開墾助成ノ出願狀況ハ大正八年助成法實施以來昭和三年三月末日現在マテ出願地區數一一〇面積三五八三町步ニシテ一箇年平均約五百町步ニ達ス然レトモ縣下ニハ將來耕地トナルヘキ見込面積五萬町步ニシテ内開田見込面積二萬町步開畑見込面積三萬町步ヲ算シ頗ル有利ナレトモ之レト所期ノ目的ヲ達スルニハ尙數十箇年ヲ要シ未タ豫期ノ成績ヲ舉クルコト能ハサルモ近時米價ノ下落シ農家ノ經濟狀態豐ナラサルモ之カ爲事業ノ進展ニ殆ント影響ヲ及ホスコトナク逐年其ノ面積ノ増加ヲ見ルノ趨勢ニアルモ大面積ノ開墾事業ハ近時水利關係複雜トナルト共ニ水源施設費多額ヲ要シ加フルニ事業資金ノ供給十分ナラサル等ニヨリ漸ク企業躊躇ノ傾向アリ故ニ政府ニ於テ目下調査中ノ本縣上北郡三本木原大規模開墾計畫完成實施スルニ於テハ事業益々發展ヲ見ルニ至ルヘシ

二、耕地ノ改良

耕地ノ改良ヲ要スル見込面積ハ灌溉水供給ノ不足ナルモノ一、二、五七〇町歩排水不良ナルモノ一、四、四七八町歩其他三〇、〇〇〇町歩ハ區畫形質ノ變更ヲ要スルモノニシテ大部分ハ耕地整理ノ施行ヲ必要トスルモノナレトモ從來水利關係複雜ナルタメ關係者ノ利害關係問題ヨリ協調困難ナルノミナラス農家ノ富ノ程度低ク氣候寒冷ニシテ土地ノ利用價值少キタメ耕地擴張事業ト相俟テ指導獎勵ノ施設ヲナシ工事費ノ三分ノ一ノ補助金ヲ交付シツツアルモ未タ充分ナル成績ヲ舉クルニ至ラサルハ遺憾トスル所ナリ農業水利改良事業ハ關係地域廣汎ニ亘リ適切ナル計畫ヲ樹ツルノ必要ヲ認ムルモノハ之ヲ調査シ年々急施ヲ要スルモノヨリ實施セントス目下縣營事業施行中ノモノハ淺瀬石川筋用水改良事業ト山田川沿岸排水改良事業ハ事業終了シタル馬淵川沿岸用水改良事業トアリ
耕地ノ改良事業ハ農民ノ負擔比較的重キモ縣營事業施行セルヤ地方要望多ク本事業ハ耕地改良根本的施設ニシテ從來ノ實績大ナルモノアルカ故ニ縣ニ於テモ更ニ企畫シ倍々事業ノ促進ヲ圖ラントス

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ハ耕地整理法ニ依リ施行反別五町歩以上ニ對シ工事費ノ三分ノ一ノ補助金ヲ交付シツツアル結果實地踏査設計調査等ノ申請續出シ現在ノ設備ニテハ其ノ要求ニ應ジ難キ狀況ニアルヲ以テ財政ノ許ス限リ設備ヲモ一層擴張シ調査ヲ精密ニシ事業ノ成功確實ナルモノヨリ實施セシメ規模ノ大ナルモノハ縣營又ハ國營事業ト爲スノ外從來ノ指導獎勵方針ヲ普及徹底セシム本年産業調査會設置ノ豫定ナルヲ以テ具體的ニ調査シ斯業ノ發展ニ努力致サントス

岩手縣

現況及趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ノ約七割ハ開田畑ニ屬シ本年四月末日現在施行認可地區二百六十面積一萬五千七百五十三町ニシテ之ヲ事業進捗ノ程度ニ依リ區分セハ工事未著手十九地區一千九十七町、工事中百四十六地區一萬二千三百四十二町、工事完了五十九地區二千三百四十四町、其ノ中換地處分終了三十六地區二千八十三町、事業終了十一地區六百五十町ニシテ一方開墾助成法ニ依リ助成ヲ受クルモノ八十五地區四千九百九十三町、縣營農業水利改良事業施行中ノモノ一箇所受益面積二千四百町ヲ算ス

- 一、地形上小面積ノ企業多キコト
 - 二、事業ノ中心人物ト資金トニ乏シキコト
 - 三、工事期間短時日ナルコト
 - 四、縣ハ財政ノ都合ニ依リ本事業ノ爲ニ一時ニ多額ノ豫算ヲ計上シ難キコト
- 將來ニ對スル指導獎勵方針

- 一、五百町以上ノ耕地ノ用排水改良事業ヲ縣營トシ一方其以下ノ工事ノ促進ヲ圖ル目的ヲ以テ豫定地ノ調査ヲ續行スルコト
- 二、五百町以上ノ耕地擴張水源工事國營ノ實現ヲ期スル爲豫定地ノ調査ヲ續行スルコト
- 三、事業ノ達成ヲ期スル爲必要ニ應シ技術員及事務員ヲ地方ニ駐在セシムルコト
- 四、事業獎勵及指導並監督ノ施設ヲ充實スル爲漸次豫算ヲ増額スルコト
- 五、耕地整理法及開墾助成法諸手續ノ普及ヲ圖ル爲講習講話ヲ行フコト
- 六、事業經營難ヲ除去スル目的ヲ以テ年次計畫及財務計畫ノ確立並其ノ實施ニ關シ徹底的ノ指導ヲ行フコト
- 七、整理施行ノ効果ヲ良好ナラシムル爲整理施行地ノ利用並維持管理組合ノ設置ヲ獎勵スルコト
- 八、事業ノ遂行ヲ容易ナラシムル爲用排水改良及耕地擴張主要工事、埋立、干拓並荒地復舊工事ニ對シ可成多額ノ補助金ヲ交付スルコト
- 九、開墾地ノ經營施設ヲ可成完成セシムル爲移住獎勵費ヲ可成多額ニ計上スルコト
- 十、工事完了後ノ事務促進ヲ目的トスル團體設置ヲ獎勵及助長スル爲耕地事業獎勵費ヲ可成多額ニ計上スルコト

宮城縣

耕地ノ擴張改良事業ハ食糧及人口問題ノ解決上國家重要ノ問題ナルヲ以テ本縣ニ於テハ從來政府ノ方

針ニ基キ諸般ノ施設ヲ爲シ斯業ノ普及發達ヲ策シタル結果左記ノ成績ヲ舉クルニ至リタルモ尙ホ所期ノ目的ヲ達成スルニハ前途遼遠ナルニ依リ今後益々指導獎勵ヲ加ヘ以テ之カ完成ヲ期セントス

記

- 一、耕地整理認可地區數五〇六面積四八、二六〇町
 - 二、開墾助成指令地區數四四面積一、七〇二町
 - 三、用排水改良事業施行箇所三面積四、七三五町事業費豫算金百四十五萬餘圓
- 以上ノ現況ヲ觀ルニ耕地整理事業ニアリテハ耕地面積(田畑)十三萬二千餘町歩ノ約三割七分開墾事業ニ於テハ開墾助成法發布當時ノ山林原野水面等ノ開發見込地區數二九〇其ノ面積一七、二〇〇町歩ノ約一割用排水改良事業豫定地區一五其ノ面積一七、七〇〇町歩ノ約三分ニ達セリ然ルニ漸次普及發達ノ趨勢ニアルヲ以テ設計調査工事監督及事務指導ヲ周到ニシ且ツ工事施行後ニ於ケル耕地ノ利用ヲ全カラシムル等縣經濟ノ許ス範圍ニ於テ指導獎勵ニ遺憾ナキヲ期セムトスル方針ナリ

秋田縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張見込地總面積約十萬三千四百八十町ニシテ本州中第一位ヲ占メ又耕地ノ總面積十三萬六千七百三十二町歩合計二十四萬二千二百十二町歩ニ達シ本邦屈指ノ農業國タリ故ニ耕地ノ擴張改良事業ノ消長ハ直ニ産業ノ消長ニ重大ナル影響アルヲ以テ本縣ニ於テハ財政ノ許ス範圍ニ於テ極力其ノ指導獎勵ニ努メタル結果設備ノ擴張ニ次クニ擴張ヲ爲スモ尙企業者ノ要望ヲ充タ

スコト能ハサル如キ盛況ヲ呈スルニ至レリ而シテ本縣ノ産米總額ハ常ニ二百萬石内外ヲ往來スト雖モ更ニ或ル程度ノ耕地ヲ擴張スルト共ニ耕地ノ改良ヲ爲スニ於テハ近キ將來ニ於テ其ノ數割ヲ増殖スルコト容易ナルヲ認メ急速之カ達成ヲ圖ル目的ヲ以テ國庫補助ヲ受クルコト可能ナル用排水幹線改良事業ハ出來得ル丈ケ之ヲ縣營トシテ施行シ又其ノ恩典ヲ受クルコト能ハサル用排水改良工事費ニ對シ本年度ヨリ新ニ三割以内ノ縣費補助ヲ交付スルコトトシ尙全縣ニ亘リ耕地ノ改良及擴張計畫ニ對シ本本的調査ヲ爲ス目的ヲ以テ更ニ農業水利改良調査班ヲ新設スル等銳意之カ指導獎勵ニ努メツアルヲ以テ國ノ指導獎勵ト相俟テ今後一層順調ナル發達ヲ爲スノ趨勢ニアリ而シテ斯業ノ現況ヲ表示スレハ左ノ如シ

耕地ノ擴張 (昭和三年四月末日現在)

種 目	地區數	開田面積	開畑面積	合 計
開 墾 助 成 指 令 濟	六四	一、五四五・八〇〇	二五八・三〇〇	一、八〇四・一〇〇
同上願書ヲ本省ニ進達シタルモノ	一二	五九〇・二〇〇	一五八・一二九	六〇六・〇二九
同上出願シタル願書ヲ本省ニ進達セサルモノ	五	一一八・三三二七	一・四二二	一一九・七六〇九
今後出願セントスルモノ	一三	三七〇・九八一	一八・三一〇一	三八九・二九一三
昭和四年度ニ於テ出願見込ノモノ	一六	四八二・四五〇〇	二・五〇〇〇	四八四・九五〇〇
合 計	一一〇	三、一〇七・七七〇九	二九六・三五二二	三、四〇四・一二二一

耕地整理 (昭和三年四月末日現在)

種 別	地 區 數	面 積
施 行 認 可 濟	三五九	三一、七四二
認 可 申 請 中 ノ モ ノ	四	七八九
今後認可申請セントスルモノ	二七	四、七三一
合 計	三九〇	三七、二六二

前表ニ依レハ耕地ノ擴張事業ハ之ヲ改良事業ニ比シ稍不振ノ状態ニアルカ如シト雖本縣ノ實情ハ過去數年間ニ涉リ激甚ナル旱害ヲ受ケ其ノ救濟一刻モ緩フスル能ハサル關係上耕地ノ擴張事業ハ用水問題ヲ容易ニ解決シ得ラルル區域ニ對シテノミ指導獎勵ヲ爲スノ已ムヲ得サル狀況ニアリ

將來ニ對ル指導獎勵方針 前項ニ於テ説明シタル如ク本縣ノ斯業ハ頗ル順調ニ發達シツツアリト雖之ヲ以テ満足スヘキニアラス故ニ從來ノ施設ヲ踏襲シテ着々進行スルノ外時勢ノ進運ト相俟テ新ナル施設ヲ爲シ以テ一層本縣ノ富源ヲ開發スル豫定ナリト雖差當リ縣財政ノ許ス範圍ニ於テ左記事項ヲ遂行シタキ希望ナリ

一、耕地ノ擴張改良計畫ノ基礎ト爲ルヘキ農業水利改良調査ヲ急速完成スルコト

- 二、耕地ノ改良ヲ爲スニ付最緊要ナル用排水改良事業ヲ可成急速ニ完成セシムルコト
- 三、開墾地ノ利用ニ關シ充分ナル指導ヲ爲ス施設ヲ爲スコト
- 四、水源工事施行上水力工業ト共同經營シテ利便ヲ受クルモノアルトキハ努メテ其ノ協調ヲ計リ以テ事業ヲ確實有利ニ遂行セシムルコト

山形縣

一、耕地ノ改良

現況並趨勢 本縣耕地ノ改良事業ハ明治四十一年ニ端ヲ發シ耕地整理ニ關スル職員設置規程並事業實施規程ヲ發布シ縣費ヲ以テ基本調査實施設計調査土地改良調査並工事及事務ノ指導監督等ヲ行ヒ專ラ斯業ノ獎勵ヲ計リ更ニ大正六年ニ於テ水源並排水口及幹線水路等多額ノ費用ヲ要スル工事費ニ對シ耕地整理工事費補助規程ヲ設ケテ之カ促進ヲ計リ又昭和二年度ニ土地改良補助規程ヲ設ケテ暗渠排水工事ヲ行フ者ニ對シ補助金ヲ交付シテ斯業ノ實行ヲ獎勵セリ更ニ同年度ヨリ灌溉水源調査係ヲ設置シテ縣下一萬八千町歩ノ用水不足地ヲ三箇年繼續事業トシテ之レヲ調査シ以テ之カ對策ヲ立案シテ將來ノ方針ヲ指示シ之カ實行ヲ促進セシムルニ努力シツツアリ今昭和二年度末ニ於ケル成績ヲ示セハ次ノ如シ

種別	地區數	面積其ノ他	附記
基本計畫調査	二五	七三、六〇〇・〇〇〇町	既成耕地及未墾地開發共
同上水利調査	一六	一〇、三九五・〇〇〇町	同上
實施設計調査	二五九	三八、〇〇二・八五一七	内十地區五、五五〇町ハ灌溉水源調査
(一) 發起施行又ハ組合設立認可	一三七	二四、三五四・五九二五	分區ノ分加算セス
(二) 工事完了	一三四	二四、〇五〇・九八二四	同上
(三) 換地處分認可	九七	一〇、八五二・一〇〇四	同上
(四) 事業終了	一一五	三四八・一六〇〇	耕地整理法ニ依ラスシテ濕田地下排水ヲナスモノ
土地改良調査	五八	六二九、四七二・〇〇〇町	工事費決算額ニ對シ二割五分乃至五割ヲ交付セリ
耕地整理工事費補助交付	二四	九七、四〇〇町	昭和二年度ヨリ面積五反歩以上ノ地區ニシテ縣設計ニ依ル暗渠排水工事ヲ行フモノニ對シ一反歩ニツキ五割ヲ交付ス
土地改良補助交付		二、〇九〇・〇〇〇町	縣下耕地整理開墾事業者ノ團體ニ對シ大正十三年度ヨリ補助交付セリ

又國庫補助ニ依ル縣管排水幹線改良事業ハ左ノ如クニシテ何レモ良好ナル成績ヲ以テ事業進行中ニ屬ス

現在事業中ノ用排水改良事業調

地區名	費用	受益面積	附記
吉田堰	二五四、〇〇〇円	一、二五三・八〇町	揚水機設置ニ依ル用水補給 大正十三年度着手昭和三年度竣工

最上堰	三二五、〇〇〇 ^町	一、〇〇一・四〇〇	幹線改良ニ依リ用水量増加シテ用水補給大正十四年度着手昭和三年度竣工
大町溝	二一七、〇〇〇	一、六二〇・二四	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給
笹川堰	二四一、六〇〇	八二七・〇〇	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給昭和二年度着手昭和四年度竣工豫定

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣耕地ノ改良事業ハ前項ノ如ク進展シツツアリト雖今後更ニ調査指導獎勵ヲ要スルモノ亦少シトセス今之ヲ表示スレハ左ノ如シ

種別	面積	附記
基本調査ヲ要スルモノ	一〇、四〇〇・〇〇 ^町	一市五郡地内
實施設計及土地改良調査ヲ要スルモノ	六〇、〇〇〇・〇〇	縣下一圓
工事指導監督ヲ要スルモノ	七五、二六五・〇〇	同上
工事完了後ノ事務並ニ其他ノ事務指導ヲ要スルモノ	九四、八七九・〇〇	同上
用排水幹線改良調査並ニ實施ヲ要スルモノ	二三、七〇九・〇〇	三百町歩以上五百町歩未満一〇個所三、七一〇町歩 五百町歩以上 二〇個所一九、九九〇町歩

刻下財政整理緊縮ヲ要スルノ秋ナリト雖耕地ノ改良事業ハ實ニ農村ノ基礎ヲ強固安定ナラシムル重大使命ナルカ故ニ現在ニ於ケル縣ノ設備ヲ以テシテハ今後五十年以上ノ長星霜ヲ閱スルニ非サレハ到底ノカ解決ヲ遂クルニ難キヲ以テ昭和三年度以降極力設備並補助金交付額ノ増加ヲ計リ指導獎勵ニ一段ノ努力ヲ加ヘ一面政府ノ補助金並低利資金ノ増額配給ヲ受ケ極力短年期限内ニ於テ豫期ノ事業ヲ遂行

セントス

二、耕地ノ擴張

現況並趨勢 本縣耕地ノ擴張事業ハ明治四十一年東田川郡吉田堰ノ開鑿ニ伴フ一千二百町歩ノ開田耕地整理及同四十二年飽海郡耕地整理組合ノ設立ニ伴フ六百町歩ノ開田事業ニ依リテ著シク開墾思想ヲ喚起シタルニ始マリ爾來縣内各所ニ開墾ヲ企圖スルモノ漸次其ノ數ヲ加フルニ至レリ爰ニ於テ縣ハ此ノ種ノ事業ヲ堅實有利ニ指導獎勵スルノ必要ヲ認メ大正二年度ニ於テ同縣下ヲ三區ニ分チ夫々吏員ヲ派シ耕地擴張調査ヲ施行シ約一萬五千町歩ノ開墾適地ヲ得タルヲ以テ其ノ調査成績ヲ發表シ企業獎勵ニ努メタリ超ヘテ大正三年四年十年ノ三箇年ニ涉リ土工用レール及拔根機ヲ備付ケ開墾者ニ無償貸付ノ途ヲ開キ大正六年開田事業中最モ多額ノ費用ヲ要スル水源設備補助規程ヲ制定シ其ノ助長ヲ計リ更ニ大正七年開畑事業經營ヲ目的トスル試驗場ヲ最上郡戸澤村字鞭打野國有林野内ニ設置シ當業者ニ其ノ指針ヲ授クル等大ニ獎勵ノ實ヲ示セリ遇々大正八年開墾助成法發布セラルルヤ開墾事業亦勃然トシテ起リ助成金ノ交付ヲ受ケントスルモノ續出シ昭和二年度末ニ於テ左ノ如キ狀況ヲ示スニ至レリ

種別	地區數	面積		
		開田	開畑	計
助成指令濟	七九	二、四九九・七五一〇	三五三・八九二四	二、八五三・六五〇四
同上末指令ノモノ	一〇	一五八・七七〇六	一九・三四〇四	一七八・一一一〇
將來出願セントスル見込		一〇、〇〇五・〇〇〇〇	五、〇一六・〇〇〇〇	一五、〇二一・〇〇〇〇

計

八九

一二、六六三・五二二六

五、三八九・二二二八

一八、〇五二・七六一四

又開墾事業ノ勃興ニ伴ヒ開墾地耕作經營上移住農家ヲ建設セシムルノ必要上大正九年開墾地移住獎勵規程制定以來一戸ニ付建設費八百圓以上ノモノニ對シ四百圓以内ヲ補助スルコトニセリ尙大正十五年其ノ一部ヲ改正シ移住者ノ共同建造物ニシテ其ノ建築費八百圓以上ヲ要セシモノニ對シ建築費總額ノ四割以内ヲ補助スルコトナリシ結果大正九年ヨリ大正十五年ニ至ル七箇年間ニ於テ新農家戸數一二六戸ニ對シ四萬六千五百圓ヲ交付シ昭和二年年度ニ於テ十五戸ニ對シ六千圓ヲ交付セリ更ニ昭和三年年度以降前記開墾事業ノ進展ニ伴ヒ約一千戸ノ移住農家ヲ收容シ同様補助金ヲ交付スヘキ豫定ナリ

以上ノ外特記スヘキハ本縣々營ヲ以テ最上郡萩野村ニ於テ元軍馬補充部萩野支部用地七百八十六町七反九畝二十二步並建物其ノ他ヲ十八萬六百餘圓ヲ以テ拂下ヲ受ケ昭和二年年度ヨリ同六年度ニ至ル五箇年間ニ十三萬四千圓ノ事業費ヲ投資シ三百九十町一反八畝歩ノ畑地ヲ得之ニ七十七戸ノ農家ヲ移住セシメ左ノ年度割ヲ以テ事業ヲ開始シ自作農ヲ創設シ理想的農村ヲ建設セントセリ而シテ昭和二年年度ニ於テハ四十町歩ノ共同經營地及八十町歩ノ豫定開墾ヲ理想通完了シ第一年度豫定移住者タル十六名ハ將來ノ希望ニ燃ヘツツアリ

而シテ第二年度ノ豫定ナル十五名ノ移住者モ既ニ移住シ終リ目下開墾事業ニ着手中ナリ

移住者及開墾地年度割豫定

年 度	戸	數	面	積
-----	---	---	---	---

第 一 年 度	十 六 戸	八〇・〇〇		
第 二 年 度	十 五 戸	七五・〇〇		
第 三 年 度	十 六 戸	八〇・〇〇		
第 四 年 度	十 五 戸	七五・〇〇		
第 五 年 度	十 五 戸	八〇・一八		
計	七十七戸	三九一・一八		

以上開墾助成金及移住獎勵金交付ノ特典ニ關シテハ機會アル毎ニ其ノ普及ヲ期セシムヘク周知ノ方法ヲ講シタル結果民有地ノ開墾ノミナラス國有林野ノ貸付ヲ受ケ此ノ恩典ニ浴シ開墾地ノ經營ヲ企圖スルモノ漸次其ノ數ヲ増加シツツアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣耕地ノ擴張事業ハ前項表示ノ狀勢ニシテ今後更ニ擴張ヲ要スルモノ一萬五千町歩ヲ以テ算スヘシ而シテ是等開墾事業ノ如キハ水源設備其ノ他ニ於テ何レモ多額ノ費用ヲ要スルカ故ニ工事費補助金ノ増額交付優秀ナル開墾用器具機械ヲ設備シテ普ク之ヲ貸付シ事業ノ助長ニ努ムルト共ニ堅實ナル發達ヲ期セシムル爲一層縣ノ設備ヲ増シ周到ナル調査ト確實ナル財政計畫等ニ關シ詳細ナル指導ヲ加ヘ可成の速ニ全事業ノ遂行促進ヲ圖ラムトス然レトモ本事業ハ其ノ當初ニ於テ多額ノ資金ヲ固定スルカ故ニ何レモ其ノ資金ノ調達ニ困難スルノ實情ナルカ故ニ此ノ際特ニ開墾助成金ノ増額交付並多額ノ低利資金ヲ配給セラレ大ニ地方斯業ノ助長發達ヲ促サンコトヲ併而要望スルモノトス

福島縣

現況 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十五年度ヨリ縣農會事業トシテ耕地整理事業ノ獎勵ヲ爲シ明治三十九年度ヨリ縣事業ニ移シタリ其ノ後開墾干拓等ノ事業モ相當設備ノ許ニ事業ノ指導獎勵ニ努メタル結果左ノ如キ現況ヲ見ルニ到レリ

耕地整理現況

地區數	面積	工事完了		換地處分		事業完了	
		地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
八二九	三七、二八五町	六〇三	二四、九五〇町	五六二	二四、〇二三町	二五九	一一、三三二町

開墾助成現況

地區數	面積	施行		計
		開	畑	
八四	一、五九七町	九二九町	二、五二六町	

又國庫補助ニ依ル石城郡愛谷堰農業水利改良事業ハ支配反別約千町歩ヲ有シ既ニ昭和元年度ヨリ着手シ同四年度ニ於テ完成ノ見込ニシテ尙相馬郡石神村外二箇村(支配反別六百町歩)及西白河郡關平村外二箇村(支配反別千町歩)農業水利改良事業ハ昭和三年度ヨリ着手スヘキ計畫ニテ先年縣會ノ議決ヲ經テ目下其ノ手續中ニ

屬ス

趨勢 以上ノ現況ヲ見ルニ至レリト雖財界ノ不況ハ延テ事業上ニ及ホシタルモ水田ニ乏シキ山間ノ地ニアリテハ食糧自然ノ必要ヨリ小面積ノ開墾事業續出シ殊ニ耕地改良ニ付テハ大正十三年以來地方稀有ノ旱魃ノ爲水路、溜池、揚水機等所謂水源工事ノ勃興ヲ來シタリ亦極メテ小規模ノ事業ニシテ開墾助成法ノ恩典ニ浴シ得サルモノ即チ一町歩以上五町歩未滿ノ開墾事業ニ對シテハ大正十三年縣令ヲ以テ簡易土地改良獎勵規程ヲ發布シ獎勵ニ努メ同時ニ濕田改良ヲ目的トシ單ニ暗渠排水ヲ行フ小規模ノ事業ニ付テモ同獎勵規程ニ依リ勸奨ニ努メタル結果其ノ成績良好ニシテ之等ノ事業出願多數ニ上リツツアリ

- 將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地ノ改良ヲ助成促進セシムヘク用排水幹線ノ不良ナルモノニ對シ農林省ノ獎勵施設ト相俟テ調査ヲ實施シ縣營トシテ事業ヲ施行スル計畫ヲ以テ之カ實行ニ努メツツアリ其ノ他耕地改良擴張事業ハ前述ノ狀況ナルヲ以テ從來ノ方針ヲ踏襲シ一層獎勵ニ努メ生産力ノ増進ヲ圖ランカ爲左ノ方法ヲ以テ勸奨セムトス
- 一、設計調査ヲ行ヒ設計書ヲ交付スルコト
 - 二、工事指導監督ヲナスコト
 - 三、工事費又ハ事業費ノ補助ヲ爲スコト
 - 四、事務指導ヲ爲シ耕地整理組合設立又ハ施行認可申請及開墾助成出願手續等ヲ完全ナラシムルコト
 - 五、開墾地ノ利用ヲ完全ナラシムル爲移住獎勵ヲナスコト

六、事業不振ノ地區ニ對シテハ特ニ指導督勵ヲ爲スコト
更ニ大規模開墾ニ付テハ多年縣民ノ熱望セル所ナルニ先年農林省ニ於テ矢吹町外十箇町村內約六千町歩ノ大集團地ノ開墾調査ニ着手セラレタルヲ以テ縣ニ於テモ相當經費ヲ計上シ國ノ施設ト相俟テ速ニ實現ヲ期セントス尙開發實施ノ方法ニ付テハ關係町村ヲ區域トスル聯合耕地整理組合ヲ組織セシムルヲ最適當ト認メ目下計畫中ニ屬ス

茨城縣

現況 本縣ノ地勢ハ北部ハ概シテ山嶽多ク耕地少ク南部ハ一般ニ平地ニシテ其ノ中央部ハ水源ニ乏シク隨テ畑其ノ大部分ヲ占ム更ニ其ノ南部第四紀古層ニ屬スル丘陵部ハ是亦用水潤澤ナラス畑地大ニ開發セラレ第四紀新層ニ屬スル河川沿岸一帶ハ一般ニ低濕ニシテ水田普及スルト雖既整理地ヲ除キ殆ト乾田ト稱スヘキモノナク加フルニ河川ノ汎濫ニ遭遇シ水害ヲ受クル所亦少カラサル状態ナリ
今本縣ニ於ケル耕地ノ狀況ヲ見ルニ田九三、三九八町歩畑二二八、〇二六町歩ニシテ農家戸數一七五、九八二戸ニ對比スレハ農家一戸當田五反三畝步畑約七反二畝步強ニシテ年々多少ノ耕地増加スルト雖一戸當耕地面積甚タ僅少ナルノミナラス畑地ニ比シ田地割合過少ナルヲ以テ農業經營上妥當トセサルナリ加フルニ二毛作ニ適スル田地僅々九、五〇五町歩ニシテ田面積ノ約一割ニ過キス且反當收穫一石七斗二升ナルヲ以テ尙相當增收ノ餘地アルヲ見ル而シテ從來耕地整理ノ實施獎勵ニ努メ漸次之カ發達ヲ見ルニ至リ一方大正九年制定セラレタル第二次產業實施要項ノ方針ニ基キ適當ナル水源ヲ求メ以テ

林野ノ開墾地目變換埋立干拓等ヲ行ハシムルト同時ニ既成田ニ對シ水害豫防ノ設備ヲナサシメ或ハ灌水ノ除去ヲ計リ用水補給ノ計畫ヲ樹テ將又道路ノ改廢ニヨリ交通運搬ノ便、勞力節減ヲ圖ル等其ノ獎勵ニ努メタル結果耕地整理法ニ依リ認可ヲ與ヘタルモノ二五、三六四町歩此ノ地區數二〇九ニシテ内工事ノ完了セルモノ一九、九九二町歩地區數一七九ニ及ヘリ而シテ耕地ノ擴張ハ開墾助成法發布以來之カ企畫ヲナスモノ歲ト共ニ増加シ其ノ地區數五八出願面積二、八三五町歩ヲ算スルニ至リタリト雖開墾可能面積三一、〇九五町歩ノ多キヲ有スルヲ以テ之カ開發ハ猶前途遼遠ナリト謂ハサルヘカラス又耕地ノ改良ニ關シテハ政府ハ大正十二年度ヨリ用排水不良ノ耕地一團地面積五百町歩以上ニシテ土地ニツキ其ノ用排水幹線改良事業ヲ府縣ニ於テ施行スルモノニ對シ事業費ノ半額ニ當ル補助金ヲ交付スルノ制度ヲ設ケ專ラ之カ改良ヲ獎勵セラルルニ及ヒ本縣ニ於テ右補助ニ該當スル集團地二十一箇所其ノ面積二八、三〇〇町歩ノ内之カ事業熱勃興シ急速ニ各地ヨリ畫策ヲ要求スル趨勢ヲ示スニ至リタルヲ以テ縣ハ大正十一年度ヨリ之カ調査費ヲ置キテ調査ヲ進メ既ニ設計濟ノモノ三箇所(三、八五〇町)現ニ工事中ノモノ一箇所(四、五〇〇町)本年度ヨリ工事着手ニ準備中ノモノ一箇所ニ及ヘリ又一面之等改良事業ニ隨伴シ一層耕地ノ利用ヲ徹底セシムカ爲施行中ノ地域ニ涉リ既ニ細微ナル調査ヲ開始シタルモノアリ益耕地改良ノ實ヲ舉ケムトスルニ至レリ
現在本縣ノ施設漸次擴張セラレ農林技師三名、農林技手四十三名、農林主事一名、屬一名、主事補四名、書記二名、技手補二十四名、雇二名、計八十名ニシテ技師、主事、課長ヲ以テ之ヲ統卒シ實地踏査、水利調査ハ勿論耕地整理設計計畫、工事監督事務指導其ノ他開墾調査等懇切丁寧ナル指導誘掖ヲ

爲スコト敢テ從來ト異ルコトナシト雖銳意之カ獎勵指導能率増進ヲ圖リツツアリ
 右ノ外特別會計ヲ設定シ稻敷、北相馬二郡ニ亘リ一萬一千町歩ノ新利根川沿岸農業水利改良事業ハ縣
 營ヲ以テ事業費百四十五萬圓ヲ豫算シ大正十五年度ヨリ八箇年ノ繼續事業トシテ目下工事施行中ニア
 リ尙昭和三年度ニ於テハ結城、北相馬二郡ニ亘ル八間堀沿岸四千餘町歩ノ農業水利改良事業ニ着手
 スヘク事業費五十六萬三千圓ヲ豫算シ四箇年ノ繼續事業トシテ施行スヘキ計畫成リ既ニ縣會ノ議決ヲ
 經テ目下農林省ニ對シ國庫補助申請ノ手續中ニアリテ右補助指令ヲ待テ直ニ事業ニ着手スヘク準備中
 ニ屬ス

趨勢 抑モ耕地ノ擴張及改良ノ事業タルヤ金融界ノ盛衰ニ依テ其ノ消長ヲ來スモノアリト雖縣ノ指
 導ハ企業者ノ信念ヲ確定セシメ延テハ企業者ノ自覺トナリ逐年事業ノ發展ヲ見ツツアリト雖近時財界
 不振ノ爲企業並工事ノ進行意ノ如クナラス加フルニ穀價ノ暴落ニ依リ事業ノ振興ヲ阻害スルヤノ感ナ
 キ能ハサルモ要スルニ今後一層低利資金ノ供給ヲ仰キ而シテ企業者ニ資金ノ充實ヲ圖リ以テ此ノ種事
 業ノ安定ヲ企圖スルノ外他ニ良途ナキニ依リ當業者ハ等シク之カ實顯ヲ渴望シツツアリ
將來ニ對スル指導獎勵方針 以上述ヘタル現況及趨勢ヨリ見ルニ本縣ハ適當ナル水源ヲ求メ開墾地目
 變換埋立干拓事業ヲ獎勵スルノ外水害ノ豫防旱害ニ對スル設備計畫ヲ樹ツルヲ以テ急務中ノ急務トナ
 スヘシ尤モ大正十年度ヨリ實行ニ着手シタル産業實施要項ノ方針ニ準據シ之カ遂行ニ努力スルハ勿論
 ノ事ナリトス即チ大正十年度以降ノ耕地整理實行豫定面積ハ五萬五千八百餘町歩開墾實行豫定面積ハ
 三萬千餘町歩（内田成面積一萬四千二百餘町歩畑成面積一萬六千八百餘町歩）ナリ之カ實施獎勵ニ

關シテハ大體左ノ方法ニ依ルモノトス

- 一、縣下全般ニ涉リ水利ニ關スル根本調査ヲ施行シ農業水利改良ノ基礎ヲ確立シ實施獎勵ニ努メ愈實
 施スルモノニ對シテハ政府ヨリ充分ナル補助金ノ交付ヲ受ケ縣ハ亦可及的多額ノ費用ヲ支出シテ之
 ヲ縣營事業トシテ施行シ事業ノ促進ニ努ムルコト
- 二、設計調査工事監督等ヲ一層周到ナラシメ事業ノ遂行ヲ確實ナラシムルコト
- 三、縣經濟ノ許ス限リ本縣補助規程ニ定ムル金額ノ補助ヲ爲シ事業ノ確實及促進ニ資セシムルコト
- 四、水源工事施行上水力工事ト共同シ依テ利便ヲ受クルモノアルトキハ努メテ其ノ協調ヲ圖リ事業ヲ
 確實有利ニ遂行セシムルコト
- 五、工事施行後ノ耕地利用ヲ完カラシムル爲縣農事試驗場、縣農會、郡町村農會ト連繫ヲ保チ耕種法
 並品種ノ改善及農業經營ノ改善等ニ專ラ留意シ耕地改良ノ實績ヲ舉クルニ遺憾ナカラシムルコト

栃木縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地面積ハ水田七萬一千二百二十町歩畑六萬五千三百二十二町歩ニシテ此ノ外
 山林原野等ニシテ開墾可能地約六萬町歩アルヲ以テ耕地整理法ノ發布ト共ニ銳意耕地ノ整理並耕地ノ
 擴張ニ努メ大正八年開墾助成法ノ發布以來開墾事業頓ニ増加セシヲ以テ大正九年新ニ土地改良費ヲ計
 上シ專任職員ヲ置キ同法ニ依ル事業ノ指導監督並耕地整理ニ依ラサル土地改良事業ノ設計監督ヲ爲シ
 以テ斯業ノ普及ニ努メタル外面積五反歩以上五町歩未滿ノ耕地擴張ニ付テハ工事費ノ一部ヲ補助シ尙

開墾助成地區ニシテ相等耕作者ヲ招致スルニアラサレハ其ノ目的ヲ達成シ難キモノニアリテハ移住家屋建設者ニ對シ補助金ヲ交付スル等大ニ之カ勸奨ニ努メタル結果昭和二年度末ニ於ケル耕地整理地區數五百八十四其ノ面積二萬六千町步ヲ算スルニ至リ尙渡良瀨川改修ニ伴フ排水事業等アルモ農村ノ不況並多額ノ費用ヲ要シ地方關係者ノ負擔ニ堪ヘサル等ノタメ未タ實現スルニ至ラサル状態ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 從來ノ方針ニ基キ事業ノ發展並地方農村ノ狀況ニ鑑ミ相等設備ヲ擴張シ事業施行上ニ對スル指導監督ヲ爲スノ外耕地整理特殊工事費補助、開墾地ニ於ケル移住家屋建設ニ對スル補助獎勵又ハ小面積ノ開墾費補助等ヲナシ之カ促進ノ途ヲ講スルト共ニ農業水利調査ヲ施行シ用排水事業ノ基本的計畫ヲ確立シ尙竣成地ニ對シテハ成ル可ク農事ノ共同耕作改良農具ノ使用ヲ獎勵シ整理地ノ利用ヲ完全ナラシムル等夫々助成獎勵ノ方法ヲ講シ一層事業ノ發達ヲ期セントス

群馬縣

現況 本縣ニ於テ耕地整理法ニ依リ耕地擴張改良事業ヲ施行シタルモノ及現ニ行ヒツツアルモノハ別表ニ示スカ如ク二百二十三箇地區其ノ面積一萬四千五百三十三町步ニシテ開墾事業ヲ施行シタルモノ三十二箇地區其ノ面積千五百六十三町步縣營事業トシテ用排水改良ヲ施行シタルモノ四箇地區其ノ面積四千六百五十六町步ナリ

趨勢 本縣耕地現在總面積十一萬五千五百八十六町步ニ對シ耕地改良ヲ施行シタル面積一割三分ニ相

當シ斯業ノ前途遼遠タルモノアリ由來本縣耕地ハ農業水利組織ニ缺陷多ク其ノ改良ヲ要スル面積九千三百町步ニ達シ早魃被害逐年増加シ爲ニ農村ノ疲弊困憊甚シク之カ改善焦眉ノ急務ナルヲ感シ事業ヲ企畫スルモノ簇出シ倍々發展ノ趨勢ニアリ耕地擴張事業ニ在リテハ將來其ノ擴張見込地二萬四百町步ニ達スルモ近時農村經濟不況ノ影響ヲ受ケ大規模ノ事業ハ幾分ノ企畫ヲ躊躇スル傾向アルモ現在水田ニ乏シキ利根、吾妻兩郡山間部地方ニ於テハ企業熱漸ク勃興シ實施逐年増加ノ趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 開墾事業獎勵ノ爲本年度ニ於テ吾妻郡六里ヶ原摸範圍墾ノ經營ニ着手セリ既耕地改良事業ノ獎勵ニ於テハ本年度水利調査ノ設備充實ヲ圖リ速ニ縣下ニ於ケル農業水利改良ノ基本計畫ヲ樹立セムトス五百町步未滿ノ用排水改良事業ノ主要工事ニ對シ本年度新ニ縣費補助金交付ノ途ヲ開キ五百町步以上ノ改良事業ニ對スル國庫補助ト相俟テ其ノ獎勵ノ徹底ヲ圖ラムトス尙將來縣經濟ノ許ス限リ諸般ノ設備ノ充實ヲ圖リ特ニ刻下ノ急務タル農業水利ノ改善ニ一般ノ努力ヲ致シ以テ斯業ノ堅實ナル發展ヲ期セムトス

耕地整理現況調

施行認可又ハ組合設立認可	工事	換地處分認可	事業完了				
				内	中	四七	八四
面積	積數	町	町	町	町	町	町
一四、五三二・五〇二二	二二三	四、五一〇・四三二九	四七	六、六一三・四八〇〇	八四	三、四〇八・五八二三	九二

郡市別現況

郡市別	施行認可又ハ		工事中		換地處分認可		事業完了	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
勢多郡	5	7,743	1	3,819	8	28,096	3	27,170
群馬郡	20	55,878	1	9,324	7	28,356	3	26,396
多野郡	27	74,849	4	16,635	6	50,992	7	88,625
北甘樂郡	2	8,556	1	6,668	1	1,588	3	29,295
碓氷郡	2	15,000	1	6,668	8	28,874	3	29,295
吾妻郡	4	26,485	2	3,734	1	12,613	1	16,948
利根郡	3	37,133	7	16,069	5	18,039	10	83,115
佐波郡	3	27,006	1	7,434	2	1,928	10	37,025
新田郡	5	37,607	4	7,434	2	2,740	3	12,849
山田郡	2	7,434	1	3,081	1	3,363	1	3,707
邑樂郡	2	4,073	5	11,521	1	3,363	2	1,104
前橋市	7	74,849	3	7,600	3	3,101	1	6,111
高崎市	1	5,757	1	5,757	3	10,106	1	6,111
桐生市	1	14,503	4	15,000	4	6,634	3	3,408
計	133	1,453,033	47	4,510,439	84	6,634,800	93	3,408,583

開墾助成地區調

郡市別	年度別		郡市別	年度別	
	地區數	面積		地區數	面積
勢多郡	1	1,600	勢多郡	1	1,600
群馬郡	1	1,600	群馬郡	1	1,600
多野郡	1	1,600	多野郡	1	1,600
北甘樂郡	1	1,600	北甘樂郡	1	1,600
碓氷郡	1	1,600	碓氷郡	1	1,600
吾妻郡	1	1,600	吾妻郡	1	1,600
利根郡	1	1,600	利根郡	1	1,600
佐波郡	1	1,600	佐波郡	1	1,600
新田郡	1	1,600	新田郡	1	1,600
山田郡	1	1,600	山田郡	1	1,600
邑樂郡	1	1,600	邑樂郡	1	1,600
前橋市	1	1,600	前橋市	1	1,600
高崎市	1	1,600	高崎市	1	1,600
桐生市	1	1,600	桐生市	1	1,600
計	13	16,000	計	13	16,000

埼玉縣

一、耕地擴張事業

現況並趨勢 本縣ハ耕地擴張適地面積二萬九千町歩ヲ有シ今後開拓スヘキ餘地尠カラサルカ如シト雖

從來耕地ノ開發程度ハ全國中ノ首位ヲ占メ山林原野ノ適地集團地方ニ於テハ現在ノ耕地面積ト人口トヲ比較スルニ差向キ耕地ノ不足ヲ感セサル狀況ナルト且其ノ所有者カ中産階級以上ノ者ナルヲ以テ僅少ナル小作料ヲ以テ而カモ小作問題ニ苦シマンヨリハ寧ロ公租課少額ナル山林原野其ノ儘ニ存置セシメントスル傾向アリテ大規模ナル耕地擴張ハ見込渺シ

然レトモ小規模ノ開墾ハ所々ニ行ハレテ年々百町歩餘ノ耕地増加ヲ見ツツアリ之等ノ開墾地カ開墾助成法ノ恩典ニ浴セサリシハ一面ニハ從來縣ニ於テ耕地課ノ主力ヲ排水方面ニ注クノ止ムヲ得サリシ結果法ノ精神カ地方民ニ徹底セサリシモ其ノ一因ト考ヘラル

今其ノ實績及見込ヲ擧クレハ左ノ如シ

開墾助成出願地區調

年次	面積	積
大正十年		五二、三四二三
同十一年		三七、九六一六
同十二年		二五、八八〇〇
同十三年		一六、七九〇九
同十四年		四一、八六〇〇
同十五年		二三、一二二二
昭和二年		

開墾見込地調

面積別	地區數	面積	積
五町以上五〇町未満	四一三		六、六七八
百町未満	三七		二、七六〇
五百町未満	四一		八、四六一
五百町以上	七		六、六五四
計			三、三〇七
			二七、八六〇

將來ニ對スル指導獎勵方針

- (一) 耕地擴張ノ必要ヲ周知セシム
 - (二) 國及縣ノ獎勵補助方針ヲ周知セシム
 - (三) 開墾機械具ヲ利用シテ其ノ費用ヲ輕減シ得ルコトヲ周知セシム
 - (四) 耕地協會ノ事業タル視察講演等ヲ利用スルコト
- 二、耕地改良事業

現況並趨勢 本縣ノ耕地改良事業ハ明治三十四年創始以來設備ノ擴張ト指導獎勵ニ努力シタル結果年ト共ニ漸次發展ヲ加ヘ其ノ成績大ニ見ルヘキモノアリ今ヤ全縣下ニ亘リ耕地整理施行ヲ見サルノ地ナ

キニ至レリ而シテ大正八年ヨリ用排水幹線改良事業ノ調査施行ニ着手シ縣營事業トシテ改良工事ノ施行ヲ議決シタル豫算總額千七百九十萬圓受益面積二萬七千二百町歩ニ達シ尙本年度ヨリ縣ハ特ニ豫算ヲ計上シテ縣下旱魃地救済ノ方策ヲ確立スヘキ調査ヲナスコトトシタルニ關係地方舉ツテ之カ救済事業ノ實現ノ一日モ速カナランコトヲ競ヒツツアル狀況ナリ從テ之等改良事業ノ進行ニ伴ヒ其改良効果ヲ一層大ナラシムヘキ部分的ノ耕地整理事業モ大ニ勃興セントシ更ニ昭和二年埼玉縣耕地協會ヲ設立シテ此種事業ノ獎勵援助ヲ計リタルヲ以テ最近倍々其ノ發達ヲ見ントスルノ趨勢ヲ示ス

又都市附近ニ於テハ多少市街地整理ト見誤ラルル耕地改良事業モ盛ニ起リツツアルカ縣ハ時代ノ推移ト地理的環境ヲ無視シテ農事ノ改良ヲ論スヘキモノニ非スト認メ耕地整理法ノ根本方針ニ悖ラサル限リ此種事業ヲモ獎勵シツツアリ而シテ一方ニハ又之ニ對立スル地方改良計畫若クハ農村計畫ヲ加味シタル耕地整理事業モ漸ク擡頭シ來リ近クハ入間郡北部ニ於テ一市二十八箇町村面積二萬町歩ヲ包容スル大規模ノ地方改良計畫の耕地整理事業ヲ企圖シタルカ如キ趨勢ナリ

今縣下ニ於ケル耕地改良事業ノ實績及見込ヲ舉クレハ左ノ如シ

年 度	設 立 認 可		工 事 着 手		工 事 完 了		換 地 濟		事 業 終 了	
	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計
明治三四年	六三、二	六三、二	六三、二	六三、二						
同 三五年	四九、三	四九、三	四九、三	四九、三						

年 度	設 立 認 可		工 事 着 手		工 事 完 了		換 地 濟		事 業 終 了	
	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計	年 計 果	計 計
同 三六年	一五、七	一五、七	一五、七	一五、七						
同 三七年	六七、二	六七、二	六七、二	六七、二						
同 三八年	三六、七	三六、七	三六、七	三六、七						
同 三九年	一〇、七	一〇、七	一〇、七	一〇、七						
同 四〇年	二、六五、一	二、六五、一	二、六五、一	二、六五、一						
同 四一年	七、九六、一	七、九六、一	七、九六、一	七、九六、一						
同 四二年	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇						
同 四三年	一一、三	一一、三	一一、三	一一、三						
同 四四年	四、六三、九	四、六三、九	四、六三、九	四、六三、九						
大正元年	二、五四、五	二、五四、五	二、五四、五	二、五四、五						
同 二年	—	—	—	—						
同 三年	一、五九、六	一、五九、六	一、五九、六	一、五九、六						
同 四年	一、五九、一	一、五九、一	一、五九、一	一、五九、一						
同 五年	四、三三、二	四、三三、二	四、三三、二	四、三三、二						
同 六年	一、六七、三	一、六七、三	一、六七、三	一、六七、三						
同 七年	三、四九、九	三、四九、九	三、四九、九	三、四九、九						
同 八年	四、五八、七	四、五八、七	四、五八、七	四、五八、七						
同 九年	六〇、二	六〇、二	六〇、二	六〇、二						
同 一〇年	一、四九、八	一、四九、八	一、四九、八	一、四九、八						

埼玉縣

五一

年 度	設 立 認 可		工 事 着 手		工 事 完 了		換 地 濟		事 業 終 了	
	年 計	累 計	年 計	累 計	年 計	累 計	年 計	累 計	年 計	累 計
同 一 一 年	八五三、三	三、一六九、一	三〇九、二	三、一六九、一	一八、六七九、九	二、三六二、二	一七、二九六、八	七五四、四	六、八九一、七	
同 一 二 年	四四、九	三、二一四、〇	五七、七	三、二一四、〇	一八、八五三、〇	三、四六、五	一七、六四三、三	三、四六七、四	一〇、三五九、一	
同 一 三 年	一五四、九	三、三六八、九	一四、四	三、三六八、九	一八、八九六、六	五、六三、五	一八、二〇五、三	一、二五、四	一〇、四七四、五	
同 一 四 年	五七、五	三、三八六、四	五七、五	三、三八六、四	一八、九三三、七	二、八〇〇	一八、一三三、三	八三〇、四	一一、三〇四、九	
同 一 五 年	二八四、七	三、六七一、一	二八五、七	三、六七一、一	一八、五九一、一	一、五五、八	一八、一三五、九	三、二一、三	一一、六六六、二	
昭 和 元 年	一、九一九、〇	五、六〇〇、一	八七四、〇	四、五〇〇、〇	二、三五九、〇	三、一八八、一	二、〇〇〇、〇	一八、五九一、一	九、四四、〇	二、六〇〇、二

耕地整理施行見込地調

面 積 別	地 區 數	面 積
五〇町以上 未 滿	八	四、三九七町
五〇町以上 百町未 滿	九	一六〇町
百町以上 五百町未 滿	三	三、五七〇町
五百町 以 上	一	四三、五七〇町
計	一三	五一、六九七町

將來二對スル指導獎勵方針 耕地ノ改良ハ農村開發農事改良ノ根本ナルコトヲ周知セシメ現在ノ施設

ニ一層ノ力ヲ注キテ指導獎勵ニ當ラントス

千 葉 縣

一、耕地改良事業

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ爾來勸奨ニ力メ大正十二年初秋ノ大震災後ハ災害地ノ復舊ヲ目的トセル新規事業倍加シ昭和三年四月現在ノ組合設立認可總數ハ三百十一地區面積三萬二千九百二十五町ニ達シ内用水源設備並ニ用排水路等ノ改良ヲ目的トセル數二百十九地區面積二萬三千四百四十二町歩、用排水路ノ改良並ニ耕地擴張ヲ目的トセル開墾助成法ニ依ル開墾事業兼設地區數九十二地區面積九千四百八十三町歩ヲ算ス其ノ事業ノ狀況ヲ掲クレハ左ノ如シ

區 別	用水源並用排水路改良ノ目的		同上ノ外開墾事業施行ノ目的		計		記 事
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	
工 事 中	一一〇	一三、一四九町	六八	八、五六七町	一七八	二一、七一六町	開墾事業地區内開墾擴張面積一、四三二町
工 事 完 了	二〇	九七九	一六	七三六	三六	一、七一五	二五八町
換地處分濟	六五	七、四七七	八	一七九	七三	七、六五六	同
事業終了	二四	一、八三八	一	一	二四	一、八三八	同
計	二一九	二二、四四三	九二	九、四八二	三一一	三二、九二五	開墾擴張面積計 一、七四六町

蘇テ本縣ノ地勢ハ南房總ヲ除クノ外ハ概ネ土地平坦ニシテ用水及排水共ニ水利不良ニシテ縣下水田十

萬五千餘町步中比較的生産力ニ富メル乾田ハ僅カニ二萬八千六百餘町步ニ過キス其他ハ何レモ惡水停滯又ハ用水不足地等ニ依リ生産力極メテ劣等タルノミナラスニ毛作ニ適セス其面積左ノ如シ

惡水停滯地水田六萬二千四百七十三町步 反當生産量 一石五斗三升
用水不足地水田二萬四千五十四町步 同 一石七斗三升

用水不足地帶中安房、市原、君津、夷隅、方面ハ關東大震災害ニ基ク地層變化ノ結果用水源ノ涸渴甚シク九十九里濱沿岸地一帶ハ用水源ノ適地ナキ爲メ何レモ旱魃被害激甚ヲ極ムルノ狀況ナリ
斯ノ如キ狀態ナルヲ以テ惡水被害地帶ニシテ耕地五百町步以上ヲ支配スル區域ニ對シテハ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ縣營農業水利改良事業ヲ施行シ根本的改良ヲ期スヘク別記十河川沿岸用排水改良事業ニ付繼續事業トシテ縣會ノ協賛ヲ經目下五箇川沿岸改良事業ハ實施中ニ屬セリ又用水不足地ニアリテモ被害耕地五百町步以上ヲ支配スヘキ地域ニ對シテハ縣營用水改良事業ヲ施行スルト共ニ一面耕地整理組合ノ設置ヲ圖リ耕地ノ擴張並改良事業ヲ期スヘク別記二箇所ニ付繼續事業トシテ縣會ノ協賛ヲ經目下實施ノ準備中ニアリ而シテ旱害地帶中小區域ニ對シテハ用水源設備ノ改良ヲ目的トシテ四分ノ一以內ノ補助金ヲ增加交付シ之カ改善ノ促進ヲ圖リツツアリ

一、用排水改良事業地區

事業地區	事業費	關係面積	記	事
栗山川沿岸用排水改良事業	六一八、〇〇〇円	一、三九七町	大正十二年度ヨリ着手八ヶ年繼續	

南白龜川	同	上	五三〇、〇〇〇	三、〇二七	同	
新川	同	上	四五〇、〇〇〇	二、〇〇八	同	
小槻川	同	上	九〇〇、〇〇〇	二、五〇一	大正十三年度ヨリ着手九ヶ年繼續	
養老川	同	上	七〇〇、〇〇〇	一、七六八	同	
大須賀川	同	上	三五〇、〇〇〇	八七八	目下調査中	
根本名川	同	上	六五〇、〇〇〇	七〇〇	同	
鹿島川	同	上	二五〇、〇〇〇	六〇二		
眞龜川	同	上	二〇〇、〇〇〇	五九五		
夷隅川	同	上	三〇〇、〇〇〇	七〇八		
十河川	同	上	四、九四八、〇〇〇	一四、一八四		

二、用水改良事業地區

事業地區	事業費	關係面積	記	事
長生郡八積村外六箇町村用水改良事業	七九八、〇〇〇円	一、八三五町		
山氏郡東金町外五箇町村 同	五〇〇、〇〇〇	一、五三〇		
二箇所	一、二九八、〇〇〇	三、三六五		

將來ニ對スル指導獎勵方針

惡水停滯地帶ニ對シテハ各河川沿岸用排水改良事業ノ完成ヲ待チ順次支

派線ニ屬スヘキ用排水路ノ改善ヲ期スヘク用水不足地帯ニ對シテハ旱害地五百町歩以上ニ達スル集團地ニ在リテハ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ縣營農業水利改良事業ノ實施ニ努メ其ノ他ノ旱害地ニ付テハ根本的水源ノ設備改善ヲ目的トシ一、溜池ノ新設又ハ改良 二、揚水機ノ新設 三、堰ノ改良 四、地下水ノ利用 五、用水路ノ改良等急速實施ノ豫定ヲ以テ指導獎勵ニ力メントス

開墾助成事業 縣下開墾見込地面積ハ六萬三千八百餘町歩ヲ算シ大正八年開墾助成法發布以來助成事業ニ依リ施行シタルモノ地區數九十二、開墾面積千七百四十六町歩ニシテ前途大ニ獎勵實施ノ要ヲ認ムト雖モ目下農村經濟不振ニ伴ヒ開墾地利用ニ對スル適當ナル移住者ヲ得サル結果新規事業ノ企圖渺キハ甚タ遺憾トスル所ナリ將來之カ指導獎勵ニ付テハ可及的事業ノ經營ヲ容易ナラシムル方針ヲ以テ開墾用器具機械ノ使用獎勵ヲ爲シ事業費ノ輕減節約ヲ圖ルト共ニ移住家屋ノ建設獎勵補助金ノ増額並移住者招致ヲ計リ他面事業資金ノ低利配給ヲ爲シ以テ事業ノ促進ヲ期セント欲ス

東京府

一、耕地ノ擴張

本府ニ於ケル五町歩以上ノ開墾助成地區ハ殆ント小笠原島ニシテ其他ノ郡部ハ五町歩以上集團ノ耕地擴張ヲ行フ機運ニ到達セス先年府ハ開墾助成規程ヲ發布シ之カ獎勵ヲ行ヒタル處一反歩内外ノ開墾助成出願續出シ爲ニ補助率ハ著シク低下シ却テ交付金額ヨリ出願手續ニ多額ノ費用ヲ要スル結果ヲ招キタルモ尙逐年出願數ヲ増加スル傾向アリテ到底之カ要求ニ應シ難キ狀態ナルヲ以テ本年四月一日ヨリ

同規程ヲ廢止スルノ止ムヲ得サルニ至レリ要スルニ本府ノ耕地擴張ハ個人ニ於テ農閑ヲ利用シ少面積ノ開墾ヲ行ヒ以テ桑及蔬菜、花卉ノ栽培ヲ目的トスルモノニシテ共同の大規模ノ耕地擴張ハ勞資ノ關係上當分實現シ得サル趨勢ニアルヲ以テ府ハ主トシテ耕地狹少ナル島嶼部ニ向テ指導獎勵ヲ行ハムトス

二、耕地ノ改良

本府ニ於ケル耕地改良地區ハ主ニ東京市ヲ中心トスル隣接町村ニシテ事業ハ殆ト道路ノ新設區劃ノ整理ヲ目的トスルモ工事施行ノ結果ハ自然郊外住宅地ト變化スルノ止ムヲ得サル狀況ニシテ耕地整理事業トシテ遺憾トスル所ナルモ市街ノ膨脹發展ニ伴フ趨勢ニシテ如何トモスル事能ハス故ニ將來ハ市街ニ隣接シテ住宅地トナルヘキ見込地ハ之ヲ都市計畫法ニ依ル區劃整理事業ニ據ラシメ農耕地ノ改良ニ向テ指導獎勵ヲ加ヘムトス

神奈川縣

現況並趨勢

一、耕地整理事業

本縣ノ耕地整理事業ハ震災耕地ノ復舊ニ起因シテ勃興セシ以來頗ル順調ニ發達シ正ニ縣下耕地面積ノ二割三分ニ達セントス而シテ當初震災ノ復舊ヲ目的トシテ起レル事業モ當業者ノ自覺ニ依リ積極的改良ノ度ヲ加ヘ縣下一般耕地整理事業ノ促進ヲ容易ナラシムル氣運ニ向ヘリ然レトモ地域廣範ニ亘ル事

業ニ在リテハ其ノ幹線等基本工事ノ施行容易ナラサルタメ一般當業者ノ事業ヲ躊躇スルモノ少ナカラサルハ頗ル遺憾トスル所ナリ之カ遂行ニ關シテハ今後一層ノ援助ヲ要スヘシ

事業ノ經營ハ資金ノ供給ヲ以テ第一義トスルカ本縣ニ於テハ震災後經濟界ノ最モ不況ナル時期ニ際シ一時ニ多額ノ事業費ヲ要スルヲ以テ之カ資源ニハ少ナカラス困惑シ一時事業ノ進行ヲ妨ケ又ハ高利債ニ苦シメラルル等ノ困難ヲ經タリ斯ル窮乏ニ際シ前年度ニ於テ低利資金ノ供給稍緩和セラレ又高利債借替資金ノ供給ヲ得タルコトハ事業ノ進行上多大ノ効果ヲ到セリ今後一層資金ノ配給ヲ豊富ナラシメ又借替資金ノ利率ヲ低下スルコトハ現況ニ照シ最モ必要ナリト認メラル

本縣ノ事業ハ最近五ケ年間ニ一萬三千町歩ノ組合設立ヲ見比較的短期間ニ起リ工事モ亦急速ニ施行セラレタルヲ以テ工事施行ノ分量ニ比シ工事後ノ事務ハ著シク推積セル現狀ニシテ差當リ殘務整理ヲ必要トスルモノ三千町歩ヲ有ス目下主トシテ帝國耕地協會支會ニ委託整理中ナルカ今後一層ノ努力ヲ要ス

組合設立施行認可地區數面積及事業費

地區數	面積	事業費
二六八	一九、四八九町	一、〇九二六、〇一〇円

工事完了換地處分認可濟事業終了地區數及面積

區別	地區數	面積	積
工事完了	九四	五、〇一二町	
換地處分認可濟	七六	三、九〇八町	
事業終了	一七	四三八町	

二、耕地擴張事業

開墾助成出願

地區數	開田面積	開畑面積	合計	事業費	摘	要
普通助成地區	一〇九、九町	八一七町	一九一、六町	六〇五、五四九円	内指令濟一	二
震災助成地區	三、三二〇、七町	二、六六五、二町	五、九八五、九六、八〇一、一七一	全部指令濟		
計	三、四三〇、六町	二、七四六、九町	六、一七七、五七、四〇六、七二〇町			

移住獎勵金交付

地區數	面積	戶數	獎勵金	摘	要
普通助成地區	一〇八、三町	二七	五、二〇〇円	獎勵金ハ震災前二戸ニ對シ二〇〇圓交	
震災助成地區	一、五三三、一町	一九六	三九、二〇〇円	付其他ハ全部一戸當二〇〇圓	
計	一、六四〇、四町	二二三	四四、四〇〇円		

本縣ノ開墾事業ハ震災前ニ於ケル開墾助成出願面積ハ一八四町歩ニ過キサリシモ震災復舊地區ニシテ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノハ開墾助成法ヲ適用セラルル事トナリ政府ニ於テハ本縣ニ對シテ特ニ震災復舊助成金トシテ六一五、四七九圓ヲ割當ラレ此恩典ニ浴シ得ル見込ノモノ地區數九四、其面積五、九八六町歩而シテ現在

出願總地區數 (震災復舊ノモノ九四(面積五、九八六町)ヲ算スルニ至レリ)
(普通ノモノ 一三(面積 一九一町)ヲ算スルニ至レリ)

尙本縣ニ於テ年々住宅、工場、道路、軌道等ノ敷地トシテ耕地ノ潰廢ニ歸スル面積多大ニシテ大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三ケ年間ニ於ケル潰廢面積ハ田六二五町五畑九二八町二計一五、五三七町ニ達シ農耕地ハ逐次未墾地ニ及フヘキ必要ニ迫マラル依テ今後開墾事業ノ獎勵ハ益重要ナル事項タルヘシ

開墾地移住獎勵事業ハ震災前二地區移住家屋二戸ニ對シ獎勵金二〇〇圓ヲ交付シタルニ過キサリシモ震災後助成地區ノ激増ニ伴ヒ現在縣カ交付シタル移住獎勵金ハ二二三戸(昭和二年度豫算ニテ交付)セントスルモノヲ含ムニ對シ四四、四〇〇圓ヲ算スルニ至レリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、企業獎勵ニ關スルモノ

(一) 水利不完全ナル大集團地ニ對シテハ其水利根幹ノ改良ハ之ヲ縣營トシ縣營ヲ以テ施行シ能ハサル事情アルモノニ對シテハ特別ノ援助ヲ與ヘ斯業ノ促進ヲ圖ルコト

(二) 縣下ヲ統一シテ灌溉排水ニ關スル調査ヲ行フコト

二、事業資金ニ關スルモノ

特種ノ耕地整理組合ヲシテ債券ヲ發行セシムルコト

三、工事後ノ事務整理ニ關スルモノ

(一) 工事後ノ事務ヲ指導スルタメ縣ニ事務員ヲ増置スルコト

(二) 工事後ノ事務ヲ委託處理スルタメ帝國耕地協會支會ニ職員ヲ増置セシムルコト

三、開墾事業ニ關スルモノ

(一) 開墾ニ關スル水利調査ヲ行フコト

(二) 相摸原國營開墾ノ實現ニ向ツテ努力スル事

(三) 耕地擴張ニ關スル縣補助金ヲ増加スル事

新 潟 縣

本縣ノ耕地整理事業ハ明治三十四年創始以來測量設計工事監督、事務指導、事務助成並工事費補助等ノ獎勵施設ニ依リ漸次隆盛ニ赴キ昭和三年三月末現在ニ於テ認可ヲ受ケタルモノ四百九十九箇所施行面積四萬六千五百余町歩ニ達スルノ狀況ニシテ其ノ内工事完了セルモノ三百二十七箇所二萬四千六百餘町歩、換地處分ヲナセルモノ三百十六箇所二萬六千四百餘町歩、事業終了セルモノ二百二十四箇所一萬九千六百餘町歩ナリ又開墾助成事業ハ開墾助成法施行以來企業者漸次増加シ昭和三年三月末日現

在ニ於テ出願地區數八十箇所施行面積開田二千七百餘町步開畑百餘町步合計二千九百餘町步ニ達スルノ狀況ナリト雖縣下ノ耕地改良及擴張見込地ハ耕地ノ改良ヲ要スルモノ十九萬六千九百餘町步（耕地整理認可面積ヲ含ム）耕地ノ擴張ヲナシ得ルモノ六萬九千餘町步合計二十六萬六千餘町步ニシテ前途未タ遼遠ナリトス

本縣耕地整理事業ハ耕地整理法實施當時ニ於テハ單ニ區劃ノ整理道水路ノ變更廢置ヲ行フニ過キサリシカ其ノ後法規ノ改正ニ伴ヒ灌溉排水ニ關スル改良ヲ主トシ併セテ開墾地目變換ヲ行フモノアリシカ開墾助成法實施後ハ耕地ノ擴張ヲ目的トスル企業者漸次増加シ殊ニ佐渡郡ノ如キハ漁業不振ノ爲メ多額ノ資金ヲ投シ溜池ヲ築造シテ開田ヲ行フモノ續出シ魚沼地方ニ於テハ發電事業ト鐵道開通ノ結果多大ノ耕地ヲ失ヒ急速開田事業ノ進捗ヲ圖ルモノアリ此北蒲原郡南部耕地整理組合總面積約三千町步ノ開田及用水補給事業モ漸ク工事實施ノ機運ニ向ヒ既ニ用水幹線ノ第一期工事ヲ略完了シ第二期工事着手準備中ニシテ之ニ伴フ開田事業モ逐次起工シ得ルノ程度ニ進行セリ

次ニ灌溉排水ノ欠陥ヲ根本的ニ改善スル用排水幹線改良事業ハ其ノ利益多大ナルト縣營トシテ施行セラレ土地所有者ニ於テ事業費ノ負擔ヲ輕減セラルルノ關係上之レカ實施ヲ出願スルモノ増加シ中蒲原郡、白根郷ノ如キ先年既ニ用水幹線改良工事ヲ竣功シ排水幹線改良工事モ亦近ク着手ノ運ヒニ至ルヲ以テ有終ノ美ヲ收ムヘク更ニ進ンテ該地域内約七千五百町步ノ耕地整理ヲ施行スヘク目下計畫中ニシテ近ク實現スルニ至ルヘク現ニ工事中ニ屬スル南蒲原郡中之島村用排水幹線改良事業區域二千六百餘町步ノ耕地整理事業モ縣營工事ノ竣功ト共ニ完成ノ域ニ達スヘク尙本年度ヨリ工事着手豫定ノ山東郷

用水幹線改良事業完成ノ曉ニハ其ノ地域約一千八百町步ノ耕地整理ヲ施行スルノ計畫アリ又近年縣下到處用水ノ缺乏救濟策トシテ或ハ湛水排除ノ目的ヲ以テ揚水機ノ設置ヲ企圖スルモノ既設揚水機ノ動力ヲ電化シ又ハ之ヲ改造セムトスルモノ尠カラズ今後機械力ニヨル用排水改良事業モ亦益々勃興セムトスル趨勢ナリトス

以上ノ如ク縣下ノ耕地改良及擴張事業ノ前途ハ極メテ有望ニシテ本縣産業振興上最モ重要ナル事項ナルヲ以テ將來ニ於テモ尙從來ノ指導獎勵方針ヲ踏襲シ既耕地ノ改良ニ付テハ先以テ用排水幹線改良事業ヲ實施シテ灌溉排水ノ根本改良ヲ圖リ引續キ内部耕地ノ整理ヲ施行セシムルノ方針ヲ執リ耕地擴張ノ企業者ニ對シテハ特ニ資金ノ供給ヲ潤澤ニシ工事費補助ノ恩典ヲ厚クシ工事完了後ノ事務澁滞セシ整理施行者ニ付テハ極力督勵ヲ加ヘ諸般ノ手續ヲ助成シ終了事務ノ促進ヲ圖リ以テ斯業ノ進展ヲ期セムトス

富山縣

現況並趨勢

一、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ主トシテ耕地整理法ニ基キ施行セラルルモノ多ク極小面積ノモノニ限リ地租條例ニ依リ施行セラルルモノトス而シテ本縣ニ於ケル耕地擴張見込地面積ハ壹萬壹千餘町步ヲ有シ其箇所數三千九百餘地區ニシテ内五町步以上ノ地區數六百七十餘此面積八千七百餘町步五町步未滿

ノ地區數三千二百三十此面積二千八百餘町歩ナリトス大正八年開墾助成法實施以來昭和三年三月末日迄ニ助成出願件數ハ六十四其面積壹千二百三十七町歩ニシテ事業費三百四十二萬三千九百五十二圓ニ達シ居レリ而シテ之等開墾事業ノ實施ニ伴ヒ移住者招致ノ必要ヲ認メ縣令ヲ以テ大正九年度開墾地移住獎勵規程ヲ發布シ爾來開墾地移住家屋一戸ニ對シ建築費八百圓以上ニシテ建坪二十坪以上ノ者ニ對シ四百圓ノ獎勵金ヲ交付シ來リ昭和三年度迄ノ獎勵金交付額三萬六千六百圓移住戸數七十八戸ニ達シタリ然レトモ近時米價ノ下落ト勞賃ノ比較的高キ等ニ依リ事業ハ著シク不振ノ状態ニシテ新シク企業計畫ヲ躊躇シ亦現ニ開墾事業開始中ノモノト雖モ豫定ノ如ク進捗ヲ見サルノ状態ナルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ

二、耕地改良事業

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ主トシテ耕地整理事業及用排水幹線改良事業トシテ施行セラル即チ耕地整理事業ニアリテハ耕地整理法ノ實施セラレタル明治三十三年ヨリ昭和三年三月末迄ニ認可セラレタル地區數四百四十一面積壹萬八千七百三十三町歩此事業費豫算壹千九百三十三萬三千三百六十四圓ニ達スルト雖本縣耕地田八萬四千二百二十七町歩畑壹萬四千八百九町歩ノ内耕地整理施行見込地面積七萬八千八百町歩ニ對シテハ僅ニ貳割六分ニ相當シ前途尙遠遠ノ情勢ニアリ而シテ之等耕地整理ノ認可セラレタル事業ノ進捗狀況ヲ見ルニ工事完了セルモノハ百二十地區面積三千四百七十七町歩換地處分認可済ノモノ百二地區面積三千二百町歩事業終了セルモノ五十六地區面積壹千五百五十七町歩ヲ算ス次ニ本縣水田ノ水利狀況ヲ見ルニ用水不足セルモノ約八千五百町歩平時排水不良ナルモノ約壹萬八千町歩洪水ノ場合

一時的浸水被害アルモノ約一萬二千町歩存シ年々ノ被害實ニ莫大ナルモノアリ殊ニ大正十三年及大正十五年ノ大旱魃ハ本縣稀有ノコトニ屬シ其ノ被害誠ニ慘狀ヲ呈シタリ即チ大正十五年ニアリテハ植付不能反別三百町歩ニ達シ植付後枯死ノ状態ニアルモノ九百五十町歩田面ニ龜裂及灌水ナキモノ約六千町歩ニ達シ之カ産米減收額四萬六千餘石ニテ其ノ他勞力ノ消費用水ノ臨時設備費等ヲ加算セハ其ノ損害高實ニ貳百萬圓以上ニ達シタルヲ以テ之カ救済スヘク用水充實ヲ計ル爲溜池ノ新築、増築又ハ用水路ノ改修、揚水機ノ設置地下水ノ利用等極力勸奨シ縣ニ臨時職員トシテ技師以下二十五名ヲ特設シ早害地耕地整理補助規程ヲ發布シ補助費十三萬九千九百五十圓ヲ計上シ昭和三年一月末迄ニ早害地耕地整理事業トシテ認可シタル地區數百五十四面積二千四百七十町歩事業費百四十二萬九千四百三十三圓ニ達シ之カ工事完成ハ昭和五年三月末迄ノ豫定ナリトス尙大規模ノ農業水利改良事業ニ對シテハ大正十二年度ヨリ國庫補助ノ途ヲ開始セラレタルヲ以テ本縣ハ卒先シテ上新川郡廣田用水補給水路開墾事業ヲ大正十二、十三ノ兩年度繼續事業トシテ施行セリ該事業ハ三千八百九十一間ノ新水路ヲ開墾シ約千四百町歩ニ灌溉スルモノニシテ事業費二十五萬七千圓ヲ要セリ本用水ハ大正十三年ノ大旱魃ニ利用スルコトヲ得同年ニ於テ産米增收一萬二千三百四十七石七斗四升ヲ得誠ニ好成績ヲ舉ケタリ亦射水郡下條川沿岸排水事業ハ大正十四年度ヨリ八箇年繼續ニテ施行スヘク事業費百三十五萬圓ニテ二千六百町歩ノ排水不良地ヲ改良セムトスルモノニシテ目下工事中ニ屬ス又黒部川用水合口事業ハ昭和二年度ヨリ三箇年繼續ニテ施行スヘク事業費二百五十萬圓ニテ一千九百八十五町歩ノ用水ヲ改良セムトスルニアリ又庄川用水合口事業ハ昭和二年度ヨリ五箇年繼續ニテ施行スヘク事業費二百九十六萬圓ニテ九千七百

十三町歩ノ用水ヲ改良セムトスルニアリ其ノ他水見郡佛生寺川沿岸排水事業七百町歩(事業費五十萬圓)射水郡婦負郡ニ亘ル鍛治川沿岸排水事業一千七百町歩(事業費六十萬圓)西礪波郡東礪波郡ニ灌溉スル小矢部川沿岸用水補給事業一千町歩(事業費二十五萬圓)ノ如キ何レモ國庫ノ補助アレハ昭和三年度ヨリ事業ヲ開始セムトスルモノナリ尙其ノ他本縣ニ於ケル此ノ種事業ハ非常ニ多ク民間當業者モ熱望シ縣モ極力實行スル豫定ナリトス今昭和三年度ニ於ケル耕地整理及用排水幹線改良事業等ノ豫定事業經費豫算ヲ示セハ次ノ如シ

一、豫定事業

イ、設計調査

ロ、用排水改良調査 (神通川左岸 常願寺川右岸)

ハ、工事監督

ニ、確定測量

ホ、施行認可書類指導

ヘ、用排水幹線改良事業

(1) 下條川沿岸排水事業

(2) 黒部川用水合口事業

(3) 庄川用水合口事業

(4) 佛生寺川沿岸排水事業

一千八百町歩

一千八百町歩

六百五十町歩

二百町歩

一千八百町歩

二千八百町歩

一千九百八十五町歩

九千七百七十三町歩

七百町歩

一千七百町歩

一千町歩

二、設備豫定

(5) 鍛治川沿岸排水事業

(6) 小矢部川用水補給事業

職名 普通整理

農林主事 一

農林技師 三

屬 一

農林主事補 五

農林技師 二

農林技師 三

耕地整理技師 二

耕地整理技師 五

耕地整理技師 七

計 六八

用排水幹線改良事業

一

六

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

計

一

九

一

六

四

二

四

〇

四

七

一

九

三、經費豫算

イ、耕地整理費

ロ、耕地整理補助費

ハ、開墾地移住奨励費

總額百八十一萬四千四百四十六圓

九萬二千四百四十六圓

二萬圓

二千圓

- ニ、下條川沿岸排水事業費 二十三萬圓
- ホ、黒部川用水合口事業費 八十五萬圓
- ヘ、庄川用水合口事業費 四十萬圓
- ト、佛生寺川沿岸排水事業費 十二萬圓
- チ、鍛冶川沿岸排水事業費 七萬圓
- リ、小矢部川用水補給事業費 三萬圓

將來ニ對スル指導獎勵方針 將來ニ對スル指導獎勵方針トシテハ現在施行セル如ク農閑期ニ於テ耕地整理法及開墾助成法ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲ニ事業見込地ニ於テ協議會ヲ開催シ企畫ノ促進ヲ計リ測量設計工事ノ指導監督ハ勿論事務ノ指導ヲ行ヒ工事費ニ對シテハ補助金ヲ交付シ一面輕便鐵軌拔根機等ノ無償貸付ヲ爲シ負擔ノ輕減ヲ計リ開墾地移住獎勵ノ爲移住家屋一戸建築費八百圓以上ニシテ建坪二十坪以上ノモノニハ四百圓ノ獎勵金ヲ交付スル等耕地ノ改良及擴張事業ニ對シテハ一層獎勵ニ勉メムトス亦將來用排水幹線改良事業ニ就キテハ政府ノ半額補助ヲ仰キ縣ハ事業費ノ二割ヲ負擔シ地元ニ三割ヲ負擔セシメ着々實行スル方針ナリトス

石川縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ノ現況左ノ如シ

郡市名	種別	施行認可		換地處分		事業終了		開墾助成	
		地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
江沼郡		七〇	三、七六〇	四七	二、四一二	三七	一、九〇二	六	七二
能美郡		一四六	五、三五四	九五	三、三七〇	五九	二、四二五	一四	二一五
石川郡		二一一	一、二、四二九	一五七	八、六三七	一一六	七、一〇五	四	一〇〇
河北郡		八六	三、五五一	三一	一、七六七	一九	一、一三三	七	八二
羽咋郡		五二	二、〇一五	二七	四七五	一四	一九八	七	八二
鹿島郡		三〇	一、一五二	一四	六二九	九	五五二	二	一一
鳳至郡		二八	四三八	五	四八	一	五	一	一〇
珠洲郡		一三	四一一	九	二七六	七	二二六	一	一〇
金澤市		一二	三六九	八	二三二	四	一二八	一	一〇
計		六四八	二九、四七九	三九三	一七、八四六	二六六	一三、六七四	四一	五七三

趨勢 由來本縣ノ耕地改良ハ加賀地方比較的旺盛ヲ極メツアリト雖能登地方ハ不振ノ状態ニアリ就中能登方面ニ對スル濕田排水ノ普及ハ本縣耕地整理ノ主要事項ナリトス耕地擴張ニ至リテハ近時國有林ノ拂下ヲ受ケ開墾ヲ行フモノ稍多シト雖水源施設ニ巨額ノ費用ヲ要スルモノ多キヲ以テ施行躊躇ノ状態ニアルモノ多キヲ遺憾トス目下農林省ヨリ土地利用班ノ一行來縣シ能美郡根上村一帶畑地約六百町歩ノ開田計畫ヲ樹立中ニテ尙一面河北郡一千町歩ノ干拓調査モ行ハルル豫定ニシテ國營開墾ノ前

提ナリトス
今將來ニ於ケル耕地改良擴張豫定面積ヲ示セハ次ノ如シ

郡名	耕地改良		地		計
	豫定面積	耕	五十町歩未滿	五十町歩以上	
江沼郡	九二六	五八七	七〇	二二〇	八七七
能美郡	一九二四	三七五	七八	一、七七〇	二、二二三
石川郡	一、一〇九	五〇七	五〇	一、五〇〇	五〇七
河北郡	一九八六	五〇八	二八五	一、五〇〇	二、〇五八
羽咋郡	三、一一一	一九三三	五〇	二、二一八	二、二一八
廉島郡	四、〇八六	七六五	七六五	七六五	七六五
鳳至郡	一、二四七	一、七六五	一、七六五	一、七六五	一、七六五
珠洲郡	八五〇	五六六	五六六	五六六	五六六
金澤市	一五、二三五	七、〇〇六	四八三	三、四九〇	一〇、九七九

將來ニ對スル指導獎勵方針 惟フニ耕地改良擴張ノ事タル食糧自給ノ確立上實ニ當面ノ急務ナリト雖往々之カ促進ニノミ偏スルトキハ過誤ヲ生シ易ク却テ事業ノ發達ヲ阻害スルノ恐レアルヲ以テ堅念不拔一定ノ方針ヲ樹立シ指導上ニ付テハ吏員ノ技術ヲ向上セシムルト共ニ特殊工事ノ如キハ其ノ指導監

督ヲ最モ嚴密ナラシムルヲ要ス

獎勵ニ付テハ從來ト異ナル所ナク幸ニ本年度ハ既往要望セル低利資金モ更ニ高利債ノ借替、簡易生命保險積立金ノ運用等潤澤ニ割當ヲ得タルヲ以テ獎勵上多大ノ便益ヲ得タリ當縣ハ其ノ經濟ノ許ス限リ補助金ノ交付ヲ増額シ農會及町村技術員ト連繫ヲ保テ斯業ノ普及發達ニ資セントス

福井縣

現況並趨勢 耕地ノ擴張改良事業ハ主トシテ耕地整理法ニ依ラシムルノ方針ヲ採リ今ヤ整理ノ認可ヲ受ケタルモノ二百四十地區此ノ面積八千四百六十二町歩ニ達ス大正八年開墾助成法施行以來助成出願ヲ爲シタルモノ五十四地區此ノ面積六百三十一町歩（開田六百十四町歩、開畑十七町歩）ニシテ昭和二年八月迄ノ事業ニ對シ既ニ助成金ノ交付ヲ受ケタル金額實ニ二十二萬六千六百圓ノ多キニ及ヘリ而シテ開墾助成法ノ適用ヲ受ケサル小面積ノ事業ニシテ五反歩以上ノ面積ヲ施行スルモノニ對シテハ別ニ縣費補助ノ規程ヲ設ケ大正九年四月以來縣ニ於テ補助シタル面積八十二町歩此ノ補助金二萬百五十八圓ニ達セリ又本年度ニ於ケル耕地整理工事施行豫定面積ハ五百町歩ニシテ不日開墾助成ノ出願ヲナサムトスルモノ九地區此ノ面積百七十町歩ヲ算ス

近時政府ハ用排水ノ不良面積五百町歩以上ノ被害地域ニ對シ用排水幹線改良事業ヲ補助獎勵セララルニ至ルヤ之カ事業熱勃興シ縣ハ大正十四年度ヨリ排水不良ニシテ被害最モ甚大ナル兵庫川改良事業ノ調査ニ着手シ昭和二年度ヨリ四箇年繼續事業トシテ既ニ農林大臣ノ補助指令ヲ受ケタリ然レトモ未タ

内務省ノ認可ヲ受ケサル爲其ノ起工ニ到ラサル状態ニアルヲ遺憾トス尙將來之カ見込地域ハ荒川竹田ノ兩惡水幹線川筋及十郷大堰所ノ改良事業ニシテ此ノ事業ノ完成ヲ見ルニ於テハ受益面積約七千町歩ニ達セムトス

本縣耕地ノ面積ハ田四萬九千三百餘町步畑一萬二千五百餘町步合計六萬一千八百餘町步ニシテ内用水不足ノモノ田七千餘町步平時排水不良ナルモノ田六千餘町步一時的浸水ノ被害アルモノ田六千七百町步ニシテ農業經營上不利ノ状態ニアルモノ尠ナカラス將來有利ニ耕地整理ヲ施行シ得ヘキ面積約三萬一千町步ヲ算ス又耕地ノ擴張見込面積ハ大正八年ノ調査ニ依レハ總計七千二百八十餘町步ニシテ之カ耕地ノ改良ニ付テハ地勢及舊來ノ慣習タル部落觀念ヲ有スル地方多キ等ニ依リ大規模ノ事業ヲ見ルニ至リ難ク又耕地擴張見込地ハ大集團ノモノ稀ニシテ漸ク助成法ノ適用ヲ受ケ得ルモノ多ク其ノ事業ハ概ネ費用多額ヲ要シ且水利上ノ解決容易ナラサルモノ尠ナカラサルノ狀況ニアリテ急速ナル進展ヲ見ルニ至ラサルモ一般農家ノ意嚮ハ開田ノ希望ニ富ミ且近時農業經營ノ改善ニ付自覺スル所アルト茲數年間ニ於ケル早魃ニ鑑ミ本事業ノ速進ヲ促スモノアルニ至レリ從テ今後ノ米價ニシテ相當ノ價額ニ達シ且低利ナル資金ノ供給潤澤ナルニ於テハ漸ヲ遂フテ本事業ノ進展ヲ見ルノ趨勢ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地ノ擴張及改良指導獎勵ニ付テハ從來廣ク基本調査ヲ施行シ事業ノ計畫及收支ヲ示シ之カ實施ヲ爲スモノニ對シテハ設計、工事監督及事務指導等當事者ニ於テ容易ニ處理シ得サル事項ニ付テハ周到ナル指導援助ヲ與ヘ又林地ノ開墾ニ使用セムカ爲K型拔根機ヲ購入シテ之ヲ施行者ニ貸與シ尙耕地整理法ニ依リ事業ヲ爲スモノニ對シテハ之カ工事費ノ三割以內ヲ補助シ且斯

山梨縣

業獎勵ノ徹底ヲ期セムカ爲廣ク印刷物ヲ配布スルノ計畫ニ出タル等之カ指導援助ニ努メ以テ現在ノ成績ヲ見ルニ至レリ依テ將來ニ於テモ大體現行ノ指導獎勵方針ヲ採リ殊ニ開墾事業ノ進展發達ヲ期スヘク一層此ノ方面ノ調査ヲ行ヒ一面縣經濟ノ狀況ニ鑑ミ時宜ニ適スル施設ヲ爲シ益健實順調ナル發達ヲ期セムトス

現況

一、耕地ノ擴張

現在迄開墾助成出願地區數及面積ヲ表示スレハ左ノ如シ

地區數	開田面積	開畑面積	計
四一	一、〇八九、五三〇九	二八三、一三二一五	一、三七二、七六二四

既ニ開墾事業施行セルモノ及施行中ノ各地區ハ一二ヲ除キ成績良好ニシテ地區民熱心ニ事業ニ從事シ開墾事業ノ如キ難工事ヲモ好ク遂行シ居リ且償還金ノ未納等モ少ナク開墾事業ヲ實施セルヲ喜ヒ居ル状態ナリ

本縣ニ於テ施行セル面積割合ニ少ナキハ地勢急峻ナルヲ以テ大規模ノモノ少ナク且工事困難ナルニ歸因ス

二、耕地改良

明治四十一年度ヨリ昭和二年度迄ニ耕地整理施行認可地區數一〇七、面積五、四四九町五四〇五ニ達ス最近五箇年ノ認可數及面積ヲ掲記スレハ左ノ如シ

年 度	認 可 地 區 數	同 上 總 面 積
大正十二年度	五	一六〇、一一一八
大正十三年度	四	六八一、一五二七
大正十四年度	一三	一、二二七、九九二五
昭和元年度	六	二四八、七二二七
昭和二年度	六	一八三、九三二六

尙事業別ニ分類スレハ左ノ如シ

種 目	地區數	面 積	備 考
事業完了セルモノ	二五	七八四、八二二六	
換地認可済ノモノ	九	一八三、六〇〇八	
工事完了セルモノ	一三	四三五、九三二二	
工事施行中ノモノ	六〇	四、〇四五、一七〇九	工事完了セルモノモ工事完了届未提出ノモノヲ含ム
計	一〇七	五、四四九、五四〇五	

耕地整理事業ノ大部分ハ開墾及明治四十年ノ大水害ノ荒地復舊ニシテ平坦部少ナキヲ以テ普通舊田ノ整理面積ハ僅少ナリ

趨勢

一、耕地擴張

本縣ハ山岳重疊地勢從テ峻險ニシテ中央部所謂甲府盆地ノ平坦地ヲ有スルニ過キス從テ耕作反別少ナク田面積二萬九百二十七町步畑面積四萬五千五百四十九町步計六萬二千四百七十六町步ニシテ農家一戸當耕作反別田二反八畝步畑五反五畝步計八反三畝步ニ過キス此ヲ全國平均農家一戸當耕作反別一町一反步ニ比スレハ過少ナリ養蠶業ハ比較的隆盛ナリト雖米穀ニ於テハ年々十數萬石ノ不足ヲ告ケ移入スルノ状態ナルヲ以テ農家經濟豊カナラサルカ故ニ耕地ノ擴張ハ本縣産業政策上緊要ナルノミナラス農民一般ニ熱望シ居ルヲ以テ開墾事業モ漸次進展スルノ状態ナリ

二、耕地改良

本縣ニ於ケル耕地改良ハ甲府盆地ニ於ケル用排水不良地ノ改良及區劃整理等ノ工事ハ被害多額ニシテ一般ニ改良ヲ希望スルハ勿論ナリト雖農村ノ費用負擔及小作爭議激甚ナル爲地主ニ於テ改良ヲ躊躇スル傾向ナリト雖震災後水源年々枯渴シ旱魃ノ被害甚大ナルヲ以テ溜池頭首工、幹線水路等ノ水源設備ノ新設及改築等ヲ實施セントスル個所増加セントスル趨勢ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、耕地擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張面積ヲ表示セハ左ノ如シ

種別	面積		計
	田トナルヘキ面積	畑トナルヘキ面積	
開墾	一、二三七町步	六、三七四町步	七、六一一
地目變換	二、九一三		二、九一三
計	四、一五〇	六、三七四	一、〇五二四

即チ今後開發スヘキ面積田畑ヲ合シ一萬餘町步ヲ算ス

尙農林省ニ於テ土地利用計畫トシテ調査セラレタルモノハ地區數六、面積二、三〇七町步ニシテ此ノ中施行セルハ二百十九町步ニ過キス

本縣ノ開田事業ハ

- (一)、水力發電事業等ノ爲水源ヲ求ムル事困難ナルコト
 - (二)、資金ノ調達意ノ如クナラサルコト
 - (三)、農業勞力不足ナルコト
- 等ノ諸因ニ依リテ支障ヲ來スコト少ナカラサルヲ以テ此等ニ就テハ充分講究シ適當ナル方策ヲ樹テントス

開田事業ノ爲溜池等ノ用水源ヲ設置スル際ハ地勢ノ關係上漸次多額ノ工事費ヲ要スルノ傾向アルヲ以テ普通ノ方法ニ於テハ到底事業遂行シ得サルヲ以テ夫役其ノ他適當ナル方法ニ依リ借入金ヲ少ナカラ

シムル様組合ノ財務計畫ヲ樹テ指導スルハ今後最モ緊要ナリ

明治四十年ニ於ケル本縣大水害ニ際シ氾濫荒廢セル約二千町步ハ現在迄利益採算上不利ナルモノトシテ放棄セラレタリシモ現在迄ニ實施セル數箇組合ノ成績ニ依レハ良好ナルヲ以テ漸次荒廢地ノ復舊ヲ企圖スルモノ激増ノ傾向ナルヲ以テ此等ニ就テハ治水上支障ヲ來ササル範圍内ニ於テ極力指導獎勵スルノ必要アリ

本縣ハ他府縣ニ比シ交通不便ナル地方少ナカラサルヲ以テ耕地整理ナルモノヲ解セス種々ナル特典ニ浴セスシテ開墾事業等ヲ實施スル地方アルヲ以テ此等ニ就テハ文書等適當ナル方法ノ下ニ周知セシムル必要アリ

本縣トシテハ前述ノ如ク開墾事業ハ産業政策上最モ緊要ニシテ極力獎勵ヲ要スルハ勿論ナルヲ以テ從來ノ如キ基本調査ノミニテハ急速ニ調査ヲ了スル事不可能ナルヲ以テ職員ヲ増置シ調査ノ上地方民ノ自覺ヲ促シ事業ヲ促進セシムル方針ナリ

二、耕地改良

本縣ニ於ケル用水不足地三千四百町步排水不良地約七千町步ヲ算シ用排水幹線改良事業トシテ實施シ得ヘキ地區數十三面積ハ八千町步内外ニシテ中縣ニ於テ調査済ノモノハ地區數三、面積二千九百町步事業施行中ノモノハ一地區ナリ以外ノモノニ付テハ漸次調査ノ上獎勵セシムル方針ナリ其ノ他用悪水路、農道、區劃等ノ改造設置ヲ要スヘキ面積約二萬町步アルヲ以テ漸次改良セシメントス

昭和二年ノ調査ニ依レハ地下水利用可能地約六百町步アリ而シテ地下水利用ハ試験ノ上實施スヘキモ

ノナルヲ以テ將來縣ニ於テ試驗シ確實ナルモノヲ漸次獎勵セシムル方針ナリ
尙本縣ニ於テハ大正十二年度ヨリ簡易土地改良補助ノ途ヲ設ケ以テ小面積ノ濕田改良及開墾事業ヲ獎
勵シツツアリテ年々約五六十町歩ヲ實施スル状態ニシテ本縣ノ實情ニ鑑ミ益指導獎勵セシムル必要アリ

長野縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地改良見込地面積ハ二萬町歩耕地擴張見込地面積ハ約三萬町歩合計五萬町歩ニシテ昭和三年三月末日現在ニ於ケル耕地整理施行認可面積一萬二千五百六町歩地區數三百三十六箇所開墾助成出願面積二千七百三町歩地區數四十二箇所ニシテ右ノ内耕地整理完了面積五千四百五十五町歩地區數二百五十五箇所換地處分認可面積五千三百七十四町歩地區數二百五十三箇所事業完了面積三千七百六十三町歩地區數百七十七箇所ナリ又開墾助成地區ニシテ既ニ工事完了セルモノ三百十五町歩地區數二十箇所ナリトス本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ企業以來逐年發達ノ域ニ進ミ開墾助成法ノ實施ニ依リ開墾事業一層勃興セシモ近年米價下落並財界一般ノ不況ニ伴ヒ開墾事業不振ノ狀況ナルモ昨春ニ於ケル縣下全般ニ亘ル大霜害並繭價下落ニヨリ養蠶不況ノ爲昨秋以來開墾事業漸次増加スルノ傾向トナレリ之ニ反シ大正十三年ノ大旱魃以來年々ノ旱害ニ鑑ミ水源設備ヲ目的トスル溜池ノ新設變更用水路ノ改修及揚水機設置等ノ如キ既耕地改良事業頓ニ勃興セリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況如斯ニシテ耕地改良並擴張見込面積五萬町歩ニ對シ事業施行面積ハ

僅ニ四分ノ一ニ過キササルヲ以テ將來ハ既耕地改良事業ノ如ク多額ノ費用ヲ要セス而モ利益顯著ナル事業ニ一層力ヲ加フルト共ニ大正十三年ニ於ケル大旱害地區ニシテ水利調査ノ結果有望ト認メタルモノニシテ未タ實現セサル地區ニ向テハ極力獎勵ヲ爲シ又耕地改良見込中一團地三百町以上ノ地區ニシテ未タ水利調査ヲ爲ササルモノ約六千町歩ニ對シテハ昭和三年度ヨリ三箇年繼續ヲ以テ之カ水利調査ヲ行ヒ實施計畫ヲ樹テ用排水幹線改良事業補助要項ニ依リ國庫ノ補助金ヲ得テ事業ノ實現ヲ期セムトス又一面開墾助成事業ニ對シテハ從來ノ方針ニ依リ利益顯著ナル個所ヲ撰ヒ耕地整理法ニ依リ事業ヲ行ハシメ開墾助成法ノ恩典ニ浴セシムトス耕地整理事業中最モ難事トスル工事完了後ノ事務ニ付テハ速ニ手續ヲ完結セシムル様一層適切ナル指導ヲ加ヘムトス之等總テノ指導獎勵ニ付テハ縣經濟ノ許ス限リ設備ヲ擴張スルト共ニ耕地整理獎勵費及開墾地移住獎勵費補助ヲ増額交付シ斯業ノ獎勵ヲ爲サムトス

岐阜縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ從來ノ方針ニ基キ指導獎勵並補助金ノ交付ヲ行ヒ勸奨ニ勉メタル結果年々逐ヒ發展シ現今認可地區數百九十八此ノ面積一萬千六百六十八町歩ニ達セリ近時ノ耕地整理ハ大部分平坦部ニ於ケル古田整理ニシテ主トシテ灌漑、排水組織ノ改善、交通設備ノ完備ヲ計ルヲ目的トスルモノニシテ農業經營改善上必要ヲ自覺スルモノ漸次多キヲ加ヘツツアルト一面用排水幹線改良事業ノ進展ニ連レ本事業ノ促進ヲ一層大ナラシムルモノアルヲ以テ向後倍々發展ノ傾向アリ

工事施行後ニ於ケル完了事務ニアリテハ確定測量ヲ初メ換地處分、地價配賦及登記其ノ他之ニ屬スル事務一切ヲ指導補助シツツアリ爲之目下工事完了地區數百三此ノ面積五千九百四十八町歩ノ内換地處分濟地區數百二此ノ面積五千九百四十六町歩地價配賦濟地區數九十二面積五千二百七十三町歩登記濟地區數九十六面積五千九百十八町歩ヲ算スルニ至レリ

耕地擴張事業ハ耕地整理事業トシテ行フヘク獎勵シ移住家屋補助並拔根機貸與ヲ行ヒツツアリ現今開墾成地區數五十七此ノ面積千六百三十四町歩ニシテ此ノ外出願中ニアルモノ三地區面積八十四町歩アリ此等ノ開墾地區ハ概ネ山岳部ニ散在シ水源工事ヲ初メ開墾ニ多大ノ勞費ヲ要スルト經濟界ノ影響トニ依リ頓ニ沈滞シ新規企業ノ減退セルハ遺憾トスル所ナリ然レ共西濃低濕部ニハ池沼及堀潰多キカ故ニ用排水幹線改良事業施行ノ曉ハ之ヲ埋立テ開田セラルルニ至ルヘキ傾向アリ既ニ安八郡福東輪中内ニ於テモ排水改良工事施行ノ結果堀潰埋立ニ依ル開墾成地區四組合出現シ尙近ク出願セムトスルモノアルカ如キ狀態ナリ猶開墾成地區中工事ノ成績不良ニシテ經營困難ナルモノニ關シテハ前年答申セルカ如ク銳意救濟並經營指導ニ努メツツアルモ財界不況等ノ爲未タ容易ニ緩和ノ域ニ達セス目下積極的善後策講究中ナリ

開墾獎勵上本年度ヨリ新ニ開田整地費ニ補助金ヲ交付スルコトトシ尙開墾豫定地ニ付キ現況及水源費用豫算並利益ノ程度等基本的調査ヲ施行スルコトトナシタリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地ノ改良ヲ必要トスル土地ハ木曾、長良、揖斐ノ三大川ニ介在スル平坦部ニ多ク存在シ何レモ灌溉又ハ排水不良ニ屬スルモノナルヲ以テ用排水幹線改良事業ト相俟テ關係

區域ノ改良ヲ施行セシメ又耕地擴張事業ニ在リテハ食糧自給其他可成有利ノモノニ獎勵ヲ加ヘ之カ指導獎勵ノ設備及補助金ハ縣經濟上出來得ル限り擴張、増加ヲ行ヒ一層本事業ノ發展ヲ期セムトス、

靜岡縣

現況

一、耕地ノ擴張

本縣ノ耕地田ハ六萬三千四百一十一町歩、畑七萬五千百十八町歩合計十三萬八千二百五十九町歩ニシテ之ヨリ生産スル米ハ平年作ニ於テ百三十萬石、人口百六十七萬ニ對シ年々三、四十萬石ノ不足ヲ生シ爲ニ移入ヲ仰クノ現況ニシテ縣ハ耕地殊ニ米作地ノ擴張ノ急務ヲ認メ努力ヲ怠ラサリシカ大正八年開墾助成法發布以來本省ノ助成ト相俟テ一般ノ獎勵ヲ加ヘ當業者亦助成ノ恩典ニ浴シテ之ニ努メタル結果擴張見込面積三萬町歩ニ對シ大正五年度以來開墾セルモノ實ニ一萬六千九百九十八町二反歩ニシテ見込地ノ約五割四分ニ當ル成績ヲ納メタルモ内開田ハ其ノ二割三分ニ達セス且近年田ノ擴張ハ潰廢ニ伴ハサルノ現況ニアルヲ遺憾トス今大正五年度以降耕地ノ擴張潰廢ノ狀況ヲ表示スレハ左ノ如シ

年次	種別		潰	廢	差引		摘	要
	田	畑			田	畑		
大正五年	1,045町	1,010町	0町	5,183町	1,331町	5,101町		

種別	地區數	面積	債務ノ爲存續		完了事務手續		工事中		工事未着手	
			地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
聯合會	一	一、六八〇	一	一、六八〇	一	一、六八〇	一	一、六八〇	一	一、六八〇
計	四〇五	二二、二七二	九五	五、二七五	三〇	二、七八二	一六	六、一七五	一七	三、二〇七

趨勢

一、耕地ノ擴張

勞働賃金ノ騰貴ト生産物價格ノ低下、地主小作ノ紛争等既耕地ノ維持ヲ脅カサルモノナキニ非スト雖モ概シテ耕地ノ不足セル本縣ニ於テハ特殊作物ニ適スル地方農業經營ノ基礎タル水田ノ不足ナル地方ニ於テハ擴張ノ氣運旺盛ニシテ助成金ノ歩合向上ト大規模開墾ノ實現ヲ望ムヤ切ナルモノアリ

二、耕地ノ改良

前述ノ如ク本縣ニ於ケル耕地總面積ハ十三萬八千二百五十九町步ニシテ之ヨリ生スル米穀ハ常ニ縣民ノ需要ヲ滿タスニ足ラス、近時市街地ノ膨張ハ之等耕地ノ潰廢ヲ餘儀ナクセシメ擴張ノ之ニ伴ハサルノ狀況ニアリ依テ政府ノ獎勵ト相應呼シテ既耕地ノ改良ト未墾地ノ開發ニ付常ニ努力シツツアルモ近時米價ノ低落ハ地方農民ノ疲弊ヲ著クシ爲ニ耕地改良ノ必要ヲ認メツツアルモ之カ工事費ノ調達ニ憂慮シ低資ニ仰カムトスルモ所要額ノ十分ノ一ニ達セス、地主小作ノ關係モ亦從來ト趣ヲ異ニシ之等長期永遠ノ計畫ハ國、縣等ノ尙厚キ保護アルニアラサレハ進テ之ニ當ラムトスル地主等ノ漸減ノ微アルヲ遺憾トス

ルヲ遺憾トス

前述ノ傾向アリト雖集約的農業ヲ行フ地方及用排水ノ困難ナル地方ニ於テハ補助金ト低利資金ノ關係ヲ考慮シ計畫ヲ樹立施行セムトスルノ趨勢ニアリ

尙近時農村當局カ爲政者及先覺者ノ唱導スル所謂農村計畫ノ急務ナルヲ認ムルニ至リ耕地整理法ニ依リ之カ實現ヲ期セムトスル傾向アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況及趨勢前述ノ如クナルヲ以テ耕地ノ改良擴張ハ食糧政策上ヨリ看ルモ農村振興上ヨリ考フルモ其ノ基調タルヘキ重要問題ナルヲ以テ縣財政ノ許ス範圍ニ於テ政府ノ援助ヲ得順次五百町步以上ヲ支配スル用排水十八幹線ノ縣營事業ヲ起シ併テ耕地整理ヲ獎勵シ以テ改良ノ實ヲ舉クルニ努メ一面三方原五千町步大規模開墾ノ實現ヲ計リ尙普通開墾ニ付テハ開墾助成法ノ普及ニ努メ以テ徹底的ニ耕地擴張ノ實施ヲ獎勵セムトス

更ニ後援團體タル耕地協會ニ補助金ヲ交付シ思想ノ普及獎勵指導ニ當ラシメ會員中ノ功勞者ハ長ク會ニ止ムル方法ヲ講シテ後進者ノ指導ニ當ラシメ農會等ノ關係團體ト相聯絡ヲ圖ル等之カ促進ニ努メ以テ土地生産力ノ増加基礎タル農村計畫ヲ確立シ農村振興ノ實ヲ舉クルニ努メムトス

愛知縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ創始以來年ニ依リ多少一進一退ノ跡アリト雖モ本事業ノ有利ナルコト次第ニ一般ニ認知セラレタル爲逐年進展シ來リ今ヤ栗原西加茂北設樂ノ三郡ヲ除キ一般ニ

普及勃興シ本年三月末日現在ニ依レハ認可地區數二七七箇所此ノ面積二六、五四六町歩ヲ計上スルニ至レリ而シテ近時農村ニ於ケル經濟狀態不況ナルニ拘ラス申請續出スルハ去ル十三年ノ早魃ニ遭遇シ用水不足ニ泣キタル爲之レカ対策トシテ整理ヲ施行セムトスルモノ農村主要道路ノ貫通ヲ目的トスルモノ之等ヲ以テ其ノ原因ト見ルコトヲ得ヘシ然レ共工事完了後ノ事務ニ至リテハ設立ニ對シ成績甚タ遜色アルヲ以テ今後此方面ニ對シ特ニ留意シ督勵ヲ加ヘ以テ豫期ノ成績ヲ舉ケムトス

耕地擴張事業ハ開墾助成法發布以來之亦政府ノ施設ニ基キ獎勵ノ結果未タ大面積ノ事業起ラサルモ本年三月末日現在ニ依レハ出願地區數四五箇所此面積二、九四八町歩ヲ計上スルニ至リ今後ニ於テモ續々出願ノ見込ナリ

耕地擴張並改良事業ノ獎勵ニ當リ常ニ困難ヲ感スルハ事業資金ノ供給不足ニアルヲ以テ今後出來得ル限リ豊富ナル低利資金ノ供給アランコト希望ニ堪ヘサルナリ

耕地ノ改良ニ密接ナル關係アル用排水幹線改良事業ハ地方ニ於テ痛切ニ其ノ改良ノ必要ヲ認め且ツ經費二分ノ一ノ國庫補助アルヲ以テ希望多キモ縣トシテハ可能性アルモノヨリ順次實行セムトス而シテ本事業ノ現況ハ工事終了セルモノ一箇所、縣會ノ決議ヲ經テ七箇年繼續事業トシテ實行セムトスルモノニ奥村用水外六箇所アリ此中假ニ工事着手セルモノ二箇所、着手セムトスルモノ二箇所アリ

參考ノ爲本年三月末日ニ於ケル前記事業ノ成績及見込面積ヲ舉クレハ左ノ如シ

成	見
地區數	地區數
面積	面積
積	積
込	込

發起設立施行認可	二七七	二六、五四六	一〇三、八〇〇
開墾助成出願	四五	二、九四八	二二、一四六
用排水幹線改良事業	一	七二九	八六、九五七
			三三

將來ニ對スル指導獎勵方針 急速ニ事業ノ成績ヲ舉ケムトセハ先ツ豊富ナル獎勵費ノ計上ニ俟タサルヘカラス然レ共如斯ハ他ノ事業ニ關係シ難事ナルヲ以テ縣經濟ノ許ス範圍内ニ於テ大體從前ノ通り左ノ方針ニ依ラムトス

耕地整理

- イ、調査設計工事監督及事務指導等ハ獎勵規程ニ依リ補助獎勵シ工事費ニ對シテハ補助規則ニ依リ補助金ヲ交付セムトス
- ロ、必要ニ應ジ講習講話等ヲ催シ印刷物ヲ刊行シ又ハ耕地整理ニ關スル特種團體タル耕地協會ノ如キニ對シテ補助後援ヲ爲シ或ハ農會ノ如キト提携シテ益々斯業ノ普及發達ヲ期セムトス
- ハ、用排水幹線改良事業ニ對シテハ縣費ヲ以テ其ノ區域ノ調査計畫ヲ施シ又本省並地方ト互ニ連絡ヲ保チ極力事業ノ遂行ヲ圖リ之ニ關聯シテ耕地整理事業ヲ促進セシメムトス

開墾事業

- イ、開墾事業助成法ノ普及徹底ヲ圖ルト共ニ耕地整理法ニ基クモノノ特種工事ニ對シテハ縣費補助金ヲ交付セムトス

ロ、開墾地ニシテ勞力不足ノ地區ニ對シテハ移住獎勵ノ爲移住家屋ニ對シ補助金ヲ交付ス
 ハ、開墾地ニ於テハ自作農ヲ創成スルヲ以テ經營上適當ナリト信スルヲ以テ之カ遂行ノ爲必要ナル方
 法ヲ講セシムル事

ニ、農事試驗場機械農場等ト連絡ヲ保チ機械農具動力農具等ノ普及利用ノ途ヲ講スルコト

三 重 縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地ノ改良及擴張事業ハ從來政府ノ方針ニ基キ常ニ督勵ヲ加ヘ逐年向上發
 展ノ成績ヲ示シ己ニ認可セラレタルモノ耕地整理ニ在リテハ其ノ面積一萬八千九百八十餘町步地區數
 二九四開墾助成法ニ依ルモノ一千六百八十七町步餘地區數三五開墾助成法ニ依ラサル耕地擴張補助金
 交付ノ面積三百二十餘町步ニシテ農村振興上益進展ノ域ニアルハ實ニ欣快トスル所ナリ夫レ耕地ノ改
 良及擴張事業ハ國民食糧増殖ノ根本方策ニシテ國家的ノ要務ニ屬シ永遠ニ亘リテ其ノ効果ヲ收ムヘキ
 モノナルカ故ニ一時ノ事情ニ制セラレ其ノ方針ヲ變スルカ如キハ嚴ニ之ヲ警ムヘク宜シク不斷ノ努力
 ヲ以テ其ノ堅實ナル發展ヲ期シ時代ノ要求ニ策應セサル可カラス然ルニ近時一般經濟界不振ノ結果此
 等ノ事業モ亦其ノ影響ヲ受ケ加フルニ小作爭議ノ頻發ニ依リ農業ノ前途ヲ悲觀シテ之カ企圖ヲ躊躇ス
 ルモノナキヲ保セス然レトモ本事業ノ目的ハ農業上利益ノ増大ヲ計リ以テ農民生活ノ窮迫ヲ救済スル
 主要ナル政策ナルヲ以テ此際更ニ最モ有利ナル獎勵方法ヲ樹立シ農村ノ振興ヲ計リ立國ノ基礎ヲ鞏固
 ニスルハ現下ノ急務ナラン

將來ニ對スル指導獎勵方針 將來ニ對スル指導獎勵上ニ就テハ從來可及的ノ方法ヲ講シ其ノ事業ノ進
 展上ニ極力盡瘁スル所ナリ而シテ指導上ニ付テハ最善ノ方策ヲ盡シツツアルモ近來諸物價高騰及經濟
 的觀念ノ發達ニ伴ヒ普通ノ獎勵方法ニテハ容易ニ企業スルモノ少ナキ状態ナルヲ以テ將來尙一層獎勵
 ヲ加フルト共ニ耕地整理工事費補助金開墾助成金等ノ増加交付スルコトヲ得ハ自然ニ農民ノ自覺ヲ喚
 起シテ斯業ノ普及發達ハ期待シ得ヘキニ依リ爾今此ノ趣旨ニ基キ督勵ヲ怠ラサル方針ナリ

滋 賀 縣

一、耕地ノ改良事業

本縣ニ於ケル耕地ハ合計七萬七千町步ニシテ用惡水利ノ關係頗ル複雑ヲ極メ農業經營上遺憾トスル點
 尠カラス茲ニ於テ明治三十九年以來銳意耕地整理事業ヲ獎勵シタル結果漸次其ノ面積ヲ増加シ來リ本
 年五月一日迄ノ施行認可地區數二百二十二面積八千八百四十二町步、工事完了地區數九十六面積二千
 九百二十八町步、換地處分地區數七十八面積二千五百四十四町步、事業終了地區數三十面積七百五十七
 町步ニ達セリ而シテ最近ノ調査ニ依ル耕地整理見込面積ハ二萬三千八百町步ニシテ目下測量設計中ニ
 屬スルモノ十三箇所九百十二町步、設計調査ノ豫定地ニシテ未タ着手ノ運ヒニ至ラサルモノ五十箇所
 千六百町步アリ、本縣ハ地勢上夏季ニ於ケル各河川ノ流水ハ著シク減少スルヲ常トシ殊ニ最近ニ至リ
 テ此ノ傾向甚シク爲ニ生産減收、小作問題頻發等ニ刺戟サレ之カ對策トシテ溜池ノ設置、揚水機ニ依
 ル湖水、地下水利用等ヲ企畫スルモノ續出シ本事業ハ益々多忙ヲ來スニ至レリ、然レ共排水不良地ノ

改良ハ既ニ其ノ効果相當ト認ムルモノアリト雖地勢、氣候其ノ他ノ事情ニ依リテ容易ニ改善ノ運ヒニ至ラサルモノアリ故ニ今後ハ用水不足地ニ對シテハ從前通り溜池、揚水機等ニ依リ一層水源ノ充實ヲ圖リ他方排水不良地ニ對シテハ一層綿密ナル研究調査ヲ行ヒテ指導獎勵ニ資スルト共ニ從前ノ弊タル一字又ハ一村ヲ單位トシテ事業ヲ施行スルノ姑息ナル方法ヲ廢シ他町村ト連繫シテ大規模ニ統一アル計劃ニ依リ之カ實行ヲ促サムトス幸ヒ本縣ハ各所ニ相當大ナル河川ヲ有シ用排水共ニ之ニヨリテ支配セラルルノ實狀ナレハ之カ改良計劃ヲ樹立シ關係者ヲ誘發シテ之カ實現ヲ期セムトス

二、耕地ノ擴張事業本縣ハ中央平坦部ヲ七萬町歩ノ太湖ニ依リテ占メラレ周圍山嶽ヲ巡ラシ其ノ間狹小ナル地ヲ耕地トセルモノナレハ適地ハ殆ト開發セラレ僅カニ耕地間ニ介在スル小面積ノ荒蕪地、山間部ノ局部的小地及琵琶湖周邊ニ存在スル内湖竝寄洲ニ過キス而シテ之等ノ見込地ハ多クハ特殊ノ事情ヲ有スルモノニシテ水利及勞力等ノ關係上容易ニ開發セラレサルノ狀況ニアリ目下施行セラレツツアルモノハ多ク耕地整理ニ附隨シテ行ハルルモノニシテ現在ニ於ケル開墾助成地區數二十四、工事後ノ耕地擴張豫定面積ハ二千八百六十町歩ナリ而シテ開墾見込地ハ四千五百町歩ヲ有スト雖前述ノ如キ特殊事情ノ爲開發困難ナルモノアルヲ以テ今後ハ耕地整理ノ普及ト農業經營ノ改善トニ依リ勞力ノ節約ニ努メ一方開發困難ナルモノニ對シテハ可及的相互關係ヲ調査研究シテ漸次耕地ノ擴張ニ努メムトス

京都府

現況 本府ニ於ケル昭和二年一月一日現在耕地面積ハ其ノ總計面積六萬六千八拾町歩ニシテ内田面積四萬七千六百貳拾貳町五反歩畑面積萬八千四百五拾八町五反歩トス而シテ耕地整理施行見込地面積參萬壹千町歩ヲ包含セリ之ニ對シ整理施行認可面積壹萬壹千四百八拾町歩其ノ地區數四百參拾九箇所ニ達セリ (昭和三年一月一日現在調ニ依ル)

趨勢 輓近開墾助成法ノ適用ヲ受ケントスル事業ノ勃興著シキ傾向ヲ呈シ其ノ他ハ舊來ノ區劃整理ニ偏重セス地積經濟ヲ考量セル積極的方針ヲ樹テ灌溉排水ノ設備改善ニ多大ノ效果ヲ擧クヘク計劃ヲ試ミルモノ次第ニ續出シ消極的ニハ勞費ヲ節減シ小作爭議ノ紛擾ヲ防止セントノ希望ヲ喚起シ農業水利ノ完備ヲ實現セントスル企圖増加シツツアリ既ニ施行セルモノニシテ比較的大面積ニ涉リ其ノ效果ノ顯著ナルハ用排水幹線補助要項ニ依リ府ノ施行セル事業ニ隨伴セル紀伊郡(納所)村聯合耕地整理、南桑田郡曾我部村耕地整理、乙訓郡東部聯合耕地整理、綴喜郡八幡町耕地整理ノ各組合地區ニシテ何レモ好成績ヲ以テ農村經營上安定ヲ與ヘ將來ノ發展期シテ待ツヘキハ毫モ疑ヒナキモノト認メラル

更ニ目下國營大規模開墾事業地トシテ調査中ナル巨椋池ヲ中心トスル沿岸耕地ノ改良擴張ニシテ實現セラルルニ至ラハ關係地域ノ面目モ一新シ其ノ利益ハ絶大ナルヘク沿岸各町村ハ頻リニ實現ノ急速ナランコトヲ翹望シ之ニ伴フ耕地整理組合ノ設立ニ付焦慮セリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本府ノ耕地整理ハ事業開始以來其ノ經過ハ順次ニ穩健着實ナル發達ヲ爲シタルモノニシテ今後亦タ其ノ機運ヲ誘導促進シ以テ益々獎勵ニ勗メ目的ヲ遂行セントス

而シテ從來各事項ニ亘リ其ノ方針ト希望ニ關シ屢々陳述セシヲ以テ尙重テ之ヲ縷述セス一二ノ事項ニ

付開陳ス

用排水幹線改良事業ニ對スル採擇面積ヲ現在ノ五百町歩以下ニ低下シ事業ノ内容ヲ考慮シ國庫補助金交付ノ特例ヲ設ケ事業ノ獎勵保護ヲ厚クセラレシコトヲ望ム

耕地整理及土地改良獎勵費規則第二條第一號ニ該當スル補助金ノ率ヲ往年ノ如ク府縣費負擔額ノ百分ノ八十二近似セル程度ニ復活シ成ルヘク府縣費ノ負擔ヲ輕減スルト同時ニ調査、設計、工事監督等ニ要スル費用ヲ適切ニ豫算シ事業施行上遺憾ナキヲ期スヘク相當補助アランコトヲ望ム

要スルニ人件費ノ如キ相當優秀ノ技術員ヲ得ントスルニハ其ノ待遇ニ於テ之ヲ適當ニ考量セル給額ヲ計上セサルヘカラス然ルニ府縣費ハ逐年膨脹シ容易ニ之ヲ認メ難キ爲メ自然其ノ待遇ヲ昂進シ以テ成績ヲ擧ケシムルニ遺憾ナシトセス

大阪府

一、耕地改良事業

本府ニ於テハ明治三十九年度ヨリ專任ノ職員ヲ置キ指導獎勵ニ励メツツアリ逐年増加ノ趨勢ニアリト雖管内耕地田五萬二千七百五十七町步畑一萬二千三百五十八町步計六萬五千五百十五町步中ニハ今尙農業上ノ利用完キヲ得サルモノ頗ル多ク今後ニ於テハ從來ノ指導獎勵方針ニヨリ事業ノ進捗發達ヲ計ルノ外特ニ灌溉排水施設ヲ目的トスル耕地整理事業及用排水幹線改良事業ニ全力ヲ注キ不良耕地ノ改善

ニ努力セムトス今左ニ項ヲ分テテ現況趨勢ヲ記述スレハ左ノ如シ

耕地整理事業 設計調査ヲ了シタルモノ二萬百餘町歩ノ内約九千町歩ハ耕地整理トシテ既ニ施行ノ認可ヲ與ヘタリ此ノ地區數百四十六箇所事業費豫算總額五百四拾七萬八千圓ニ達ス而シテ其ノ工事完了セルモノハ八十四ヶ所此ノ面積三千七百七十町歩ヲ算ス尙目下設計中ノ面積三百五十町歩設計調査申請中ノモノ二千町歩アリ主トシテ用水設備ヲ希望スルモノ多數ヲ占メ道水路ノ改修區劃ノ整理ヲ目的トスルモノ之ニ亞ク因ニ本事業ノ施行ハ農業能率増進上ノ根本方策ナルヲ以テ漸次其ノ實施ヲ促サレツツアリ將來一層進展スルモノト認ム

土地改良事業 灌溉排水ニ關スル設備又ハ工事ヲ行フ土地改良事業ニシテ利益ヲ受クヘキ面積十町歩以上ノモノニ對シ調査設計工事監督ヲ行フ外工費三千圓以上ノモノニシ對テハ其ノ費用十分ノ一以内ノ補助金ヲ交付シ獎勵ニ資シツツアリ既ニ二十三ヶ所此ノ受益面積四千二百二十六町歩ノ施行ヲ見ルニ至レリ然レトモ本事業ハ其ノ健實ヲ期スルタメナルヘク耕地整理トシテ實現ヲ勸奨シツツアルヲ以テ不振ノ状態ニアリ

用排水幹線改良事業 一團地五百町歩以上ノ地域ニシテ用排水幹線改良事業補助要項ニ該當スル耕地改良事業ハ大正十二年度以來府營ヲ以テ施行ノ方針ヲ採リ既ニ事業ヲ終リタルモノ一ヶ所目下事業中ノモノ二ヶ所事業準備中ノモノ二ヶ所アリ其ノ狀況左ノ如シ

地區名	受益面積	事業費	施行年度	目的
中河内郡拾六箇井路用水改良事業	八〇〇町	五〇、六六〇五七	自大正十二年	揚水裝置
南河内郡			自大正十三年	溜地新築改良
狹山地支配地域用水改良事業	二、五〇〇	四九二、四六七〇〇	自大正十四年	溜地新築改良
大阪市淀川右岸用水改良事業	一、三四二	一〇、〇〇〇〇〇	自昭和三年	揚水裝置
中河内郡			自昭和二年	揚水裝置
思智川沿岸排水改良事業	六七六	一六三、〇〇〇〇〇	至昭和三年	思智川改修
泉北郡北池田村外十三ヶ村用水改良事業	二、〇〇〇	一、四九六、〇〇〇〇〇	同	溜池新築 用水幹線新設

因ニ本事業施行ノ結果ハ地主ニ於ケル負擔金ハ多大ニ輕減サレ加フルニ何レモ受益面積ハ廣大ナルヲ以テ耕地改良方策トシテハ最モ適當ナルモノト認ムルカ故ニ今後ニ於テハ見込地ノ調査ヲ進行ゼシムルト共ニ極力其ノ實況ヲ期サムトス

二、耕地擴張事業

最近調査シタル耕地擴張見込地面積ハ千三百町步ニシテ年ニ八十町步内外ノ耕地擴張ヲ見ルト雖多クハ小規模ノモノニシテ近年小作問題ノ喧シキ折柄本事業ハ一般ニ躊躇スルノ現状ニアリ而シテ開墾助成法發布以來同法ノ適用ヲ受ケ施行セルモノ九ヶ所此ノ面積百二十三町一反步ニシテ何レモ耕地整理ノ一部トシテ施行ヲ見集團セル耕地擴張ハ本府ニテハ實現困難ノ状態ニアリ將來ニ於テハ耕地整理事業ト併テ之レカ施行ヲ指導獎勵シ小面積ノ擴張ヲ期スルヨリ途ナシ

兵庫縣

現況 本縣ニ於ケル土地總面積ハ六拾壹萬七千四百四拾八町步(昭和元年十二月末現在)ニシテ耕地面積ハ田拾壹萬貳千〇貳拾四町步、畑貳萬六千六百五拾八町步合計拾參萬八千六百八拾貳町步(昭和二年十二月末現在)ナリ而シテ改良事業ノ爲メ既ニ認可ヲ與ヘタル地區數四百三十五、面積壹萬五千九百〇八町步ニシテ事業ノ成績ハ概シテ良好ナリ今事業開始以來ノ成績ヲ舉クルハ左ノ如シ

年次	發起設立施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
明治三六年	三	五五町						
同 三七年	二	四三						
同 三八年	三	一四三						
同 三九年	六	一〇七						
同 四〇年	五	八八						
同 四一年	二	三四一	一	二一	一	三五		三五
同 四二年	七	三九二						
同 四三年	一〇	一〇四二						
同 四四年	一	一、〇四二						
同 四五年	四	一、六二四	七	二四九	二	四三		三七
同 四六年	四	二五〇	九	一四九	六	一一〇		
同 四七年	四		一五	四〇一	三	二六八		六二
大正元年	一							

年次	發起設立施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
同 二	九	四五二町	六	九九町	六	一六六町	二	二六町
同 三	一七	五九五	七	五五七	四	三一三	六	一五四
同 四	二〇	七八九	六	三五四	八	五五二	二	二九
同 五	一四	六二九	一〇	一四三	六	一九八	二	三九
同 六	七	二二二	一二	一九九	〇	一三二	四	九四
同 七	九	二八六	八	二〇七	七	九七	五	一一三
同 八	五	一、一六三	一	二七	二	三二	三	二五三
同 九	四	一、〇〇六	一六	四六九	一四	一六	八	一八七
同 〇	二〇	四二一	一二	三四二	〇	四九四	一五	三二五
同 一	一五	一、一八〇	一六	二五九	〇	三〇三	四	七
同 二	一三	三二〇	一四	五六五	一	四六五	七	二五四
同 三	一六	六二三	二	四五八	一	三六八	〇	一三六
同 四	六	二、六一〇	二	二三四	九	一五三	六	一三〇
同 五	一六	二三五	八	一七二	五	一七二	六	一三二
同 六	一〇	一、一二〇	四	二〇八	四	三四	九	二五三
同 七	一	一五、九〇八	三	二〇三	五	四、二五七	八	二、七一五
合計	四三五	一五、九〇八	二〇三	五、二四三	一四五	四、二五七	九八	二、七一五

又本縣ニ於ケル耕地獎勵事業ハ開墾見込地貳萬六千五百六拾四町步余ニシテ内田ト爲シ得ヘキ見込面積壹萬六千六百五拾貳町六反步、畑ト爲シ得ヘキ見込面積九千九百拾壹町八反步アリ而シテ田ト爲シ得ヘキモノ内第一適地六千七百四拾五町八反步、第二適地四千八百八拾參町六反步第三適地五千七百貳拾四町步弱ノ豫定ニシテ最モ有望ナルモノヨリ漸次施行セントス而シテ昭和二年十二月末現在耕地擴張ノ爲メ開墾助成出頭セル地區數九十五面積貳千參百八拾參町步余ニシテ其ノ年度左ノ如シ

年次	地區數	開田	開畑	計
大正八年	七	二八六、五町	三二、六町	三一九、一町
同 九年	四九	一、〇九三、七	五四、一	一、一四七、八
同 〇年	一八	三三〇、一	二〇、三	三五〇、四
同 一年	九	二三六、六	四一、七	二七八、三
同 二年	一	五、二	二、〇	七、二
同 三年	一	二三三、八	九、五	二四三、三
同 四年	二	二〇、二	四	二〇、六
同 五年	三	一〇、七	一〇、七	一六、四
同 六年	二	二、二一、八	一七一、三	二、三八三、一
合計	九五	二、二一、八	一七一、三	二、三八三、一

趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ近年稍發展ノ機運ニ向ヒツツアリシニ一般經濟界ノ不振ト小作問題等ノ爲メニ阻止セラレル傾向アルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ然レトモ大正十三年ニ於ケル縣下ノ大旱魃ト小作問題緩和ノ爲メ施行スルモノアリ加フルニ本年度ヨリ縣管排水幹線事業ヲ實行スルコトナリタルヲ以テ從前用水ノ不足又ハ排水不良ノ爲施行スルコト能ハサリシ地方ニ於テ漸次企業ヲ爲スモノ現出スルコトト思惟セラレ

將來ニ對スル指導獎勵方針 去ル明治三十二年耕地整理法施行以來縣下全般ニ亘リ耕地改良可能地及大正二年以來耕地擴張見込地ヲ調査セル結果最モ有利ニシテ施行容易ナルモノヨリ順次施行セシメ用排水幹線改良事業ノ如キ大事業ハ縣管トシテ實施スルノ方針ヲ採リ既ニ本年度支配面積八百九十余町步余ヲ有スル三草山溜池工事ニ着手シ同面積約貳千町步ヲ有スル山田池築造事業ハ目下申請中ニシテ猶佐治川沿岸改良事業等調査進行中ナリ其ノ他縣ノ施設トシテ左記方法ヲ實行シツツアリ

- 一、耕地改良事業ニ伴フ特殊工事ニ對シ其ノ工事費十分ノ一以內ノ補助金ヲ交付ス
- 二、開墾及地目變換事業ニ伴フ特殊工事ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ二以內ノ補助金ヲ交付ス
- 三、縣下ノ地勢狀況等ニ因リ四箇所ノ出張所ヲ設置シ設計調査工事監督、事務指導等ノ補助ヲ爲シ事業遂行ノ便ヲ計レリ
- 四、機宜ヲ考察シ講習講話等ヲ爲シ耕地改良及擴張事業ノ企劃實行ヲ獎勵シツツアリ
- 五、事業資金ノ融通ニ就テハ努メテ供給ノ途ヲ講シ事業ノ圓滑ナル進行ヲ計リツツアリ
- 六、前年度ヨリ五ヶ年計畫ニテ地下水ノ調査ヲ爲シ事業施設ノ資料ニ供シツツアリ

- 七、開墾地移住家屋及共同建設物ニ對シ前者ニハ一戸二百圓ツツ後者ニハ建設費ノ二割以內ヲ補助シ開墾地ノ發展ヲ助成シツツアリ
- 八、縣耕地整理協會ヲ設立シ殘務ノ進捗ト事業ノ福利増進ニ努力セシメツツアリ

奈良縣

一、耕地擴張

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張見込地ハ其ノ面積六千五百町步余ヲ算シ昭和二年十二月末現在ニ於テハ開墾助成法ニ依リ工事ヲ完了セルモノ七十一町八反步、工事中ノモノ六十九町二反步ニシテ此外近ク着手セムトシテ企畫中ノモノ約百四十五町步アリトス此等面積見込地ハ多クハ山間部ニ在リシ地勢ノ關係上開畑最モ多ク都市ニ近接セルヲ以テ果樹其ノ他園藝作物ヲ目的トシ將來モ益々之カ發達ヲ見ルノ趨勢ニアリトス

將來ニ對スル指導獎勵方針 現在擴張ニ着手又ハ企畫中ノモノハ前掲ノ如ク縣下全見込地ニ對比シ僅カニ〇、四三割ニ不過斯業ノ前途尙遼遠ノ感アルヲ以テ縣ニ於テハ之レカ獎勵ニ就キ特ニ縣費補助金ヲ普通改良事業ニ比シ倍加交付シ或ハ農事實行組合ト連絡ヲ保チ或ハ移住ノ獎勵或ハ地下水利用ノ助成等ニ力ヲ注キ其實行ヲ容易ナラシメツツアリテ漸次企業熱ヲ高メツツアルノミナラス山間部ニ於テハ林業不振ノ結果失業者救済ニ之ヲ利用スルノ策ヲ樹テ相當效果ヲ擧ケツツアリ又平坦部ニ於テハ耕地改良ノ項ニ述フルカ如ク用水補給策ノ進捗ト共ニ不用溜池ヲ水田ニ開墾セシムル方針ナリトス

參考奈良縣耕地擴張面積

種目	(一) 見込總面積		(二) 同内ノ面積		(三) 工完了又ハ工事中ノ面積		(一)(二) 計
	開田	開畑	企畫中ノ面積	同上ノ内	工完了又ハ工事中ノ面積	同上ノ内	
計	二、五四五	二、〇〇二	六七	一四五	二二三	一一八	二、五六八
			七八		一四一		四、一二〇
							六、六八八

二、耕地ノ改良

現況並趨勢 昭和二年十二月末現在縣下耕地整理施行地區總數二百二十八箇所此面積八千五百五十一町步ニシテ尙將來改良ノ見込地面積貳萬町步ヲ有ス

本縣田地ハ平坦部ナル大和平野其ノ大部分ヲ占メ其ノ所屬河川ノ流域淺ク水量乏シキヲ以テ平坦部ニ水深淺キ貯水池ヲ築造シ灌溉ノ用ニ供スル所多キモ常ニ旱魃ニ苦ミ其ノ受クル損害實ニ莫大ナルヲ以テ或ハ地下水ヲ利用セムトスルモノ或ハ用水堰ノ改良ヲ企圖セムトスルモノ等漸次勃興ノ趨勢ニアリ又近時縣下一般ニ農道ノ新定改修ヲ企ツルモノ頓ニ増助シ現今ノ耕地整理事業ノ八割ハ之レニ屬シ將來モ益々多キヲ加フルノ傾向ニアリ

排水事業ハ山間部ニ於テ發起スルモノ逐次其ノ面積ヲ増シ其ノ効果著シキニ鑑ミ將來益々發達スヘキモ平坦部ニ於テハ前記用水難ノ結果直チニ實行スルモノ少キモ用水補給ノ策樹立スルニ於テハ此ノ種ノ事業又一時ニ擡頭スヘシ

將來ニ對スル指導獎勵方針 平坦部用水補給ハ本縣耕地改良上ノ焦眉ノ急ニシテ此方策確立スルニ於テハ獨リ用水難ヨリ免ルノミナラス之ニ附隨シテ濕田ノ改良道路ノ改修ハ勿論各種土地ノ農業上ノ利用ニ關スル事業ノ逐行容易ナルヘク縣ニ於テハ常ニ之ニ留意シ過去ニ於テモ或ハ溜池ノ統一ニ或ハ地下水ノ利用ニ或ハ河川堰堤ノ改良ニ力ヲ注キツツアリテ既ニ添上郡ノ一部ニハ用水改良事業トシテ縣營溜池ノ築造中ニ屬スルモ又其ノ一ナリトス而シテ之カ根本的ノ補給策トシテ目下吉野川流域利用ノ調査ニ着手中ニシテ其ノ利用見込充分ナルニ於テハ平坦部一萬町步ヲ一丸トシテ改良ノ大計畫ヲナス豫定ナリトス排水ニ就テハ前述ノ如ク専ラ山間部ノ濕田改良ノ爲暗渠排水ヲ獎勵シ各村ニ模範排水地ヲ設ケテ之カ指導勸誘ニ勉メムトス農道ノ改良方面ニ於テハ農家一般ニ其ノ必要ヲ自覺セルヲ機トシ極力之ヲ獎勵シ縣營產業道路計畫ト相俟テ其ノ效果ヲ一層發揮セシメムトス

參考

奈良縣耕地改良見込地調

主目的	見込面積	全田面積トノ百分比	附記
用水補給	九、五〇〇	二八、三五	田面積ハ三萬三千五百町步トス
暗渠排水	五、六〇〇	一六、七一	
明渠排水	一、〇〇〇	八、九五	
區劃及道路改良	四、二〇〇	一二、五四	
計	二〇、三〇〇	六〇、五九	

和歌山縣

本縣ニ於テ耕地ノ擴張及改良事業ニ關シテハ政府ノ方針ニ基キ督勵ヲ怠ラサルモ山岳多ク交通不便加フルニ小作爭議ノ頻發ニ依リ豫期ノ成績ヲ擧ケ得サルハ遺憾トスル所ナルモ既ニ耕地整理ノ施行認可ヲ與ハタルモノ百九十地區其面積三千二百五十町事業費二百十五萬圓開墾助成地區既ニ出願シタルモノ五十五地區其ノ面積六百町事業費百二十五萬圓ニ達セリ

農業水利調査ニアリテハ紀南御坊町外八箇村既ニ調査完了地元ニテハ水利組合設立ヲナシ縣ニ於テハ之カ實行ニ努力中

紀北ニ在リテハ岩出町以西一町二十四ヶ村紀ノ川兩岸其ノ面積三千六百町ニ對シ昭和二年度ヨリ農業水利ノ基本調査ヲ實施中

將來耕地整理其他ノ施行ヲ必要トスル見込地面積參萬二千三百六拾八町歩ニシテ其ノ内容左ノ如クニシテ

用水不足水源特ニ溜池ノ不完全ナルモノ 三、八六六町歩

交通不完全ニシテ道路ノ改修ヲ要スルモノ 一六、〇九一町歩

耕地擴張見込地 四、九〇二町歩

用排水幹線改良並附帶工事ヲ行フヘキモノ 七、五〇九町歩

將來ニ對スル指導獎勵方法トシテハ事業施行必要地ニ對シ各所ニ所有者若ハ町村關係者ノ參集ヲナサ

鳥取縣

シメ講話勸誘ヲナシ設備ノ許ス限リ指導シ以テ國家食糧問題解決ニ努力セントス

本縣ノ耕地擴張改良事業ハ明治三十三年以來年ト共ニ漸次普及發達シ昭和二年末ニ於テ耕地整理法ニヨリ施行認可ヲ與ヘタルモノ二百九十一地區一萬七千五百二十六町歩ニシテ内工事ノ完了セルモノ百四十二地區六千四百七町歩ニ達シ耕地ノ擴張ニアリテハ大正八年開墾助成法發布以來昭和二年末迄ニ出願セルモノ百十七地區二千三百三十町歩ニ及フ

更ニ五百町歩以上ノ集團耕地ニシテ大規模ニ用水又ハ排水ノ改良ヲ要スルモノハ縣營ヲ以テ之ヲ施行シ己ニ事業ニ着手セルモノ二箇所千七百七十三町歩調査終了シ起業準備中ノモノ二箇所五千四百町歩目下調査中ノモノ一箇所千二百七十町歩ニ達ス

右ノ如ク其ノ成績看ルヘキモノ尠カラスト雖モ之ヲ縣全般ヨリ見レハ事業稍々不振ナリト云ハサルヘカラス即チ縣内耕地面積四萬八千六百八十町歩中ノカ改良ニ着手セルモノハ僅カニ其ノ三分ノ一強ニ過キス

今後尙改良ヲ要スヘキ見込地ハ

用水不足田 約六千四百町歩

排水不良田 約一萬三千町歩

道路區劃ノ改正ヲ要スル耕地 約一萬二千町歩

ニ達シ今後縣營ヲ以テ用排水ノ改良工事ヲ施行スヘキモノ五百町歩以上ノ集團地十地區一萬一千六百町歩ノ多キニ及ヒ之カ遂行ハ容易ナラサルモノアリ又耕地ノ擴張見込地ハ

開墾田 九千九百八十二町歩

地目變換田 二千六百八十四町歩

開畑 一萬二千九百五十七町歩

合計 二萬五千六百二十三町歩

ノ廣キニ達シ之カ開發ハ前途尙遼遠ナリト云ハサルヘカラス

斯ク耕地擴張改良事業ノ比較的進マサルハ其ノ原因多々アルヘシト雖思フニ本縣ハ古來有名ナル水害縣ニシテ大正元年同七年ノ大洪水近クハ大正十二年ノ大水害ヲ蒙リ縣民ノ疲弊甚シク右災害地ノ復舊ニ寧日ナク爲ニ普通ノ耕地改良及擴張事業ニ力ヲ盡スノ余力ナキ狀態ニアリシ爲メナルヘシ然レトモ右復舊工事ハ本年ヲ以テ殆ト全部竣功スルヲ以テ今後ハ普通ノ耕地改良及擴張事業ノ勃興ヲ見ルニ至ルヘシ

以上述ヘタル如キ狀況ナルヲ以テ耕地ノ改良ニアリテハ小規模ノ事業ハ之ヲ地元組合ニ施行セシメ集團地ニ於ケル大規模ノ事業ニアリテハ巨費ヲ要シ企業容易ナラサルヲ以テ全部縣營ヲ以テ施行スルノ方針ノ下ニ大正十三年ヨリ農業水利調査費ヲ計上シ着々調査ヲ進メ己ニ事業ニ着手セル二箇所以外ノ十箇所一萬一千六百町歩ヲ順次施行スルノ豫定ナリ

更ニ耕地ノ擴張ニアリテ開墾助成法ノ恩典ニ浴セシメ縣ニ於テ調査設計ハ勿論工事ノ監督指導ヲナスト共ニ縣内開墾見込地ノ大部分ヲ占ムル大山原野ノ開發ニ重キヲ置キ同地ニ六十町歩ノ地ヲトシ本年度ヨリ縣營試驗農場ヲ設置シ栽培作物ノ試驗並農家經營ノ研究ヲ併セ行ヒ同地域開發ニ資セントス而シテ又耕地整理組合ニ於ケル工事終了後ノ殘務ノ整理ハ未濟地區ハ五十九地區五千町歩ニ達シ之カ事務進捗ヲ圖ルハ斯業ノ發達ニ影響スル處少ナカラス依テ大正十五年縣ヲ區域トスル耕地整理協會ヲ設立セシメ縣補助金ノ交付ヲナシ專ラ之ニ當ラシメツ、アルモ未タ十分ナラサルヲ以テ更ニ昭和三年度ヨリ縣ニ專任事務員數名ヲ増置シ協會ト相俟テ之カ指導ニ當タラシメ遺憾ナキヲ期セントス而シテ現在縣ノ交付スル補助金ハ豫算ノ關係上補助規程ノ定ムル最高補助率ト著シキ差違アルヲ以テ今後縣財政ノ許ス限リ補助豫算ノ増額ヲナスト同時ニ耕地整理法ニ依ルトキハ事業施行手續煩雜ノ嫌ヒアリ起業ニ相當ノ期日ヲ要スルヲ以テ同法ニ依ラズシテ灌溉排水ニ關スル設備及工事等ヲ町村其ノ他ノ團體ニ於テ施行スル途ヲ講シ其ノ獎勵並補助規定ヲ新ニ設ケ耕地ノ改良擴張事業ノ普及發達ニ遺漏ナキヲ期セントスルノ方針ナリ

島根縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ耕地整理法並開墾助成法實施以來當局ノ指導獎勵ト縣民ノ自覺ニヨリ爾來順調ナル徑路ヲ辿リ逐年其ノ普及發達ヲ來タシ左表ノ如キ成績ヲ示セリト雖之ヲ縣下ノ擴張改良見込面積三萬八千二百三十五町歩ニ比スレハ其ノ二割八分ニ過キササルノ狀況ニシテ斯業ノ

前途遼遠ナリ

一、耕地整理事業

(昭和二年度末現在)

發起設立施行認可	工事完了	換地處分認可	事業終了
地區數	地區數	地區數	地區數
面積	面積	面積	面積
一、〇七一	四六八	三五〇	一七七
一〇、五五八 _丁	四、七〇〇 _丁	四、一七八 _丁	一、五四〇 _丁

二、開墾助成事業

(昭和二年度末現在)

地區數	耕地擴張面積	
	開田	畑計
二八	三四九 _△	二二 _△
		三七一 _△

三、農業水利改良事業

(昭和二年度末現在)

名稱	支配面積	事業費額	事業期間
神戸川農業水利改良事業	七三四 _町	八八、〇〇〇 _円	自昭和元年度至昭和貳年度

四、調査事業

(昭和二年度末現在)

調査種別	面積	積
基本調査		三七、一四〇 _△
土地利用調査		九、五五一
農業水利調査		一、三二〇
測量設計調査		二一、五一〇

趨勢 本縣ハ地勢概シテ急峻ニシテ耕地ニ乏シク加フルニ時勢ノ進展ニ伴ヒ耕地ハ道路、鐵道、工場宅地等ノ敷地ニ供セラレ年々其ノ潰廢多カラムトスルノ情勢ナルヲ以テ耕地ノ擴張事業ヲ畫策セムトスル者逐年増加スルノ趨勢ニ在リ又耕地ノ改良事業ハ近時農業經營改善ノ必要上斯業ニ對スル縣民ノ自覺ハ國家ノ獎勵施設ト相俟テ斯種事業ノ施行ヲ企畫スル者漸次多キヲ加ヘ從來區劃改正、暗渠排水工事ノ施行ヲ主トセル改良事業ハ最近用排水施設ノ完備又ハ道水路改善ヲ主トスル比較的大面積ノ改良事業漸ク多カラムトシツ、アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

- 一、斯業ノ現況並趨勢ニ鑑ミ左ノ施設ヲ爲シ以テ之カ指導獎勵ノ徹底ヲ期セムトス
- 一、技術員ノ設置
- 一、耕地整理工事費ニ對シ補助金ノ交付
- 一、開墾ニ於ケル移住家屋及共同建造物ノ建築費ニ對シ獎勵金ノ交付

- 二、特別ノ事情アル事業ハ必要ニ應シ縣營事業ト爲シ其ノ完成ヲ期セムトス
- 三、本縣耕地整理協會ト連絡協調ヲ保チ耕地整理工事完了後ニ於ケル事務ノ促進ヲ期セムトス

岡山縣

趨勢 本縣ニ於ケル耕地ハ田八萬八千五百二十町歩畑三萬六千八百三十四町歩ニシテ計十二萬五千三百五十四町歩ナリ内田ニ於テ用水ノ補給並灌溉方法ノ改善ヲ要スルモノ二萬二千六百一町歩排水ヲ要スルモノ二萬五千六百三町歩ニシテ計四萬八千二百四町歩ナリ畑ニ於テ畑地ノ灌溉ヲ必要トズルモノ又ハ開田見込ノ地モ亦尠カラス耕地擴張見込地ハ田ト爲スヘキモノ二萬二千四百七十四町歩（内七千二百二十町歩ハ畑ヲ田ニ變換）畑ト爲スヘキモノ一萬二千二百七十五町歩ヲ算ス

- 一、耕地整理事業トシテ明治三十五年ヨリ昭和三年末迄ニ認可ヲ爲シタルモノハ五百五十七地區面積一萬六千五百十三町歩ニシテ此ノ事業進捗ノ狀況左ノ如シ

事業進捗ノ程度別	地區數	面積	積
工事中ノモノ	二五七		一〇、〇六二
工事完了セルモノ	一一八		一、二一七
換地處分認可済ノモノ	九三		二、四一〇
事業終了セルモノ	八九		二、八二四
計	五五七		一六、五一一

- 二、開墾助成出願ノモノハ大正八年ヨリ昭和三年三月末迄ニ八十五地區面積四千四百九十九町歩ナリ
- 三、縣營用排水改良事業ハ二地區ニシテ此ノ面積千三百三十三町歩ナリ而シテ何レモ目下工事施行中ニシテ之カ事業ノ概要左ノ如シ

地區名	事業ノ目的	關係耕地面積	事業費豫算	附記
鹽平溜池支配地域 用水改良事業	用水補給	五六二町	三九〇、〇〇〇	溜池ノ新設 大正十三年度ヨリ五箇年繼續事業
黒谷溜池支配地域 用水改良事業	同	五七一	四七〇、八〇〇	同
計		一、一三三	八六〇、八〇〇	大正十四年度ヨリ五箇年繼續事業

- 四、土地改良事業（耕地整理法ニ依ラサル小規模ノ暗渠排水事業）施行地ハ大正十年獎勵費補助規則制定以來昭和元年度ニ至ル施行面積二千四百四町歩ニ及ヒ逐年好成绩ヲ擧ケツ、アリ
 - 五、耕地水利事業（町村水利組合等ノ施行スル溜池又ハ堰ノ新設改築事業）ハ大正十一年耕地水利費補助規則制定以來昭和二年度迄ニ施行シタル地區數一六九關係耕地面積四千四百四十二町歩ニ達シ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ
- 趨勢 本縣ニ於ケル事業ノ趨勢ハ其ノ當初ニ於テハ事業成否ノ如何ヲ虞レ遲疑逡巡スル者多ク從ツテ之カ進捗遅々トシテ振ハサリシモ縣ノ指導獎勵ト實施成績ノ良好ナリシ結果トニ依リ當事者漸ク其ノ緊要ナルヲ自覺シ彼我相應シ漸次其ノ發起ヲ見ルニ至リシモノナリ
- 而シテ近年ニ於ケル之カ狀勢ヲ觀ルニ耕地ノ改良事業ニ在リテハ大正十三年ノ旱害ヲ動機トシ主トシ

テ水源工事ノミヲ施行セムトスルモノ多キヲ加ヘ専ラ道路、水路ノ改善、區劃ノ整理等ヲ行ハムトスルモノハ甚タ稀ナリ耕地ノ擴張事業ニ至リテハ依然トシテ比較的小規模ノ開田、開畑事業多數ヲ占メ規模大ナル開墾事業ハ振ハス偶々昭和二年縣下稀ニ見ル開墾事業トシテ眞庭郡蒜野面積五百七十七町歩ノ發起ヲ見ルニ至リシモ工事ニ着手後早々ニシテ之ヲ中止セリ之レ近時財界一般ニ不況ノ爲資金ノ調達困難ナルト米價ニ比シ諸物價及勞銀ノ高價ナルニ起因セルヤ必セリ

然レ共縣下耕地ノ大集團地タル南部平坦地方ニ於テハ交通運輸並灌溉排水上乃至農業經營上ノ見地ヨリ相當道路、水路ノ改善區劃ノ整理等ヲ行ハムト企圖セルモノアリ又豫テ有望視サレ目下企業準備中ナル兒島郡福田村地先面積約六百町歩ノ海面干拓事業及高梁川廢川敷面積二百二十七町歩ノ開墾事業アリ尙又廣汎ナル原野ヲ存スル勝田郡方面ニ於テモ亦相當計畫スルモノアリ之等ハ一般不況等ノ關係上遂カニ實現ヲ見ルハ困難ナラムモ何レモ自發的ノ企畫ナルカ故ニ早晚實現ニ至ルヘク此ノ他縣ノ指導獎勵ノ普及ニ依リ發起ヲ見ルヘキモノ尠シトセス更ニ規模大ナル用排水改良事業ニ在リテハ縣營トシテ之カ實施ヲ希望スルモノ多數ニ上リ目下苦田郡高田村外五箇町村地内受益面積八百六十町歩ノ用水改良事業設計調査中ニ屬ス更ニ又町村水利組合等ニ於テ施行セムトスル溜池及堰ニ關スル工事近年著シク勃興シ毎年度之カ補助金申請額ハ縣豫算ノ數倍ニ達シツ、アルノ狀況ナリ

趨勢右ノ如クナルカ故ニ斯業ノ將來益々進展ノ域ニ達スヘキモノト信ス

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於テハ先ツ從來ノ獎勵施設タル調査設計ノ補助工事ノ指導監督事務ノ指導工事費ノ補助土工用器械ノ無償貸與及開墾地移住ノ補助等ヲシテ縣財政ノ許ス限リ一層之カ

内容ヲ充實セシムルコト、シ尙本縣ニ於ケル開墾事業ハ概シテ其ノ費用負擔額大ナルカ爲現ニ經營ノ困難ニ陥レルモノ尠シトセス依ツテ是等ニ對シ極力救済ノ途ヲ講スルト共ニ今後斯種ノ新規事業ニ對シテハ特ニ財務ノ計畫ニ留意セムトス尙又逐次縣營用排水改良事業ノ實施ニ努メ以テ中央ニ於ケル獎勵方針ト相俟ツテ堅實ナル事業ノ發達ヲ期セムトスルモノナリ

廣 島 縣

現況 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ耕地整理法、開墾助成法或ハ用排水幹線補助其ノ他ノ施設ニ依リ逐年進展ニ向ヒ今ヤ耕地整理施行認可面積一萬六千餘町步此地區數八百八十箇所ニ上リ其ノ成績顯著ナルモノアリト雖其ノ大部分ハ概ネ經營ノ途上ニ在リ而シテ未タ拓クヘキノ餘地改良ヲ要スルノ耕地相當廣汎ニ亘ルモノアリ本事業ノ前途ハ甚遼遠ナリトス

縣ハ時勢ニ鑑ミ之カ大成ヲ期スルノ必要切實ナルヲ認メ銳意斯業ノ實施ヲ勸奨シ該事業ノ普及發達ヲ促シツ、アリ今事業ノ實績並將來開發見込面積等ニ付其ノ概要ヲ表示セラレハ左ノ如シ

(一) 耕地整理事業成績表 (年次ハ歷年ニ依ル)

年 次	組合設立及施行認可		工 事 完 了		換地處分認可		事 業 終 了	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
明治三十七年	三	五四・九	一	町	一	町	一	町

年次	組合設立及施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
明治三十八年	三	八八・二町	一	三・八町				
同三十九年	二	四三・五町	六	一三四・七町				
同四十年	五	七三・九町	二	二二・三町				
同四十一年	四	五八・五町						
同四十二年	六	五二・二町						
同四十三年	七	六四・〇町						
同四十四年	六	三六・六町						
同四十五年	三	三八・二町						
同四十六年	三	九六・七町						
同四十七年	七	六八・〇町						
同四十八年	七	一、五八・七町						
同四十九年	四	一、三六・七町						
同五十年	四	一、四八・〇町						
同五十一年	三	一、〇六・五町						
同五十二年	三	二、〇六・五町						
同五十三年	三	一、四八・〇町						
同五十四年	三	一、七二・六町						
同五十五年	二	四四・九町						
昭和二年	二	七七・二町						
昭和三年	四	八四・五町						
昭和四年	二	一六・四九・三町						
計	八〇	一六、四九・三町	二六	四、〇九・三町	一八	三、五〇・四町	二	四九・八町

(二)開墾助成出願狀況表 (年次ハ歷年ニ依ル)

年次	地區數	開田		開畑		計	
		地區數	面積	地區數	面積		
同十一年	二	二	一八五・四町	七	二二・六町	一	三六・三町
同十二年	二	二	一四七・六町	四	七〇・六町	五	三六・三町
同十三年	三	三	三三・三町	四	七〇・六町	四	一三九・六町
同十四年	三	二	四四・〇町	七	五二・九町	六	二二六・七町
同十五年	二	二	三七一・九町	五	七九・五町	三	三六・四町
昭和二年	二	二	二四・七町	二	三〇・二町	三	三六・四町
昭和三年	四	四	一八八・八町	二	五三・六町	一	四九・八町
昭和四年	二	二	四、〇九・三町	一	一八・六町	三	四九・八町
計	八〇	二六	四、〇九・三町	一八	三、五〇・四町	二	四九・八町

年度	事項	地區數	擴張面積		計
			開田	畑	
同十四年		九	九八町	八・二町	一〇六・七町
大正十五年		六	六四・一町	八・四町	七二・五町
昭和元年		五	四二・七町	一・四町	四四・一町
昭和二年		九	一、〇〇三・九町	二五・四・〇町	一、二五八・〇町
計		九			

(三) 縣營用排水幹線改良事業

名稱	目的	事業	受益面積	事業費	一町步當	增收見込高	事業期間
服部池支配地域	補給	溜池改良及新設	一、〇三三町	五三〇、〇〇〇円	五・一三、〇〇六	二、五五二	自大正十五年 至昭和四年度

(四) 耕地擴張及潰廢面積比較

(每年自一月三十一日事實)

年次	耕地擴張面積		耕地潰廢面積		差引増減(△印、減)	
	田	畑	田	畑	田	畑
大正七年	二六、四〇町	一三、八〇町	三五〇・二〇町	九、三〇町	一七、七〇町	三三・二〇町
同八年	九〇、〇〇町	七四、一四町	一六四、六三町	三九、八四町	二三、三三町	△二〇、三三町
計						

年次	耕地擴張面積		耕地潰廢面積		差引増減(△印、減)	
	田	畑	田	畑	田	畑
同九年	一三、七六町	一一、二六町	二四三・二四町	一三、一三町	一六、九三町	九、六三町
同十年	二六、三三町	一〇、四九町	三六六・二二町	六七、四六町	一九、二六町	三〇、四五町
同十一年	一七、七九町	一三、六三町	三〇八・九二町	八四、〇三町	一八、七七町	一七、〇〇町
同十二年	一四、〇〇町	一一、三三町	二五四・五三町	六三、三六町	八二、一八町	一七、〇〇町
同十三年	三三、〇〇町	二〇、一〇町	四三三・一〇町	一五、一九町	二九、〇〇町	二六、〇〇町
同十四年	二九、三九町	一三、七四町	四四三・三三町	二八、四八町	二二、二五町	三六、〇七町
大正十五年	二四、九〇町	一五、三〇町	四四三・七〇町	四三、二〇町	一七、八〇町	三三、三〇町
昭和元年	一七、〇〇町	一一、二六・九九町	二八七・九四町	一、九三・九五町	一、〇九・三三町	一九・六七町
計						
平均	一六、七三町	一四、三三町	三〇〇・八八町	三三、二七町	二二、三三町	二二、二五町

(五) 耕地擴張改良見込地

イ、耕地ノ現在及改良擴張見込面積

(本調査ハ大正六年施行セル生産調査ノ結果ヲ、基準トシ以テ於ケル擴張改良實施濟ノモノ、及調査漏ノモノヲ相當加除ス)

縣内土地	現耕地		耕地面積		耕地擴張		現耕地改良	
	面積	對土地總面積ニ對スル割合	全國ノ順位	見込面積	將來ノ耕地面積	向上ノ土地面積	耕地整理認可面積	將來改良見込面積
八四〇、一五〇町	一一三、四七町	一割三分四厘	一五	三、五二九町	一三四、九六町	一割六分一厘	一六、四九二町	四〇、九六町

ロ、現地目別耕地擴張見込面積

開墾土及開拓(山林、原野、池沼、其ノ他)		地目變換		新開(海面、湖海、官有水面)		合 計	
田	畑	計	(畑)	田	畑	計	田
二、四三町	一〇、三三〇町	二、六六三町	二、六二二町	四三三町	四三三町	八六六町	二、八三六町
							一〇、六六三町
							二、四三〇町

ハ、目的別耕地改良見込面積

現耕地改良見込	主トシテ排水改良	主トシテ用水改良	主トシテ區劃整理
面積	面積	面積	面積
現耕地ニ對スル割合	現耕地ニ對スル割合	現耕地ニ對スル割合	現耕地ニ對スル割合
四〇、九八九町	三割六分五厘	三一、三一七町	一割九分
		七、五〇七町	六分七厘
		一二、一六五	一割八厘

ニ、農業水利改良ヲ要スル三百町歩以上ノ集團地ノ用排水不良狀況(昭和二年調査)

種 別	用水不良ナルモノ		排水不良ナルモノ		用排水不良ナルモノ		計
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	
三百町歩以上五百町歩未滿ノ集團地	三	一、一九〇町	三	一、〇三七町	一	一町	二、二二七町
五百町歩以上ノ集團地	二	一、六二二	三	二、一三七	二	一、一四〇	四、八九八
計	五	二、八一	六	三、一七四	二	一、一四〇	七、一二五

趨勢 本縣ノ耕地整理ハ其ノ當初ニ於テハ濕田約二萬町歩ヲ乾田ト爲スノ目途ヲ以テ獎勵ニ努メタル結果暗渠排水ヲ主要工事トスルモノ多數ナリシカ其ノ後區劃ノ整理、農業水利ノ改善、農道ノ攻修、

地目變換、開墾及湖海ノ埋立干拓等ヲ主目的トスルモノ漸次増加シ殊ニ大正十三年八月稀有ノ旱魃ニ遭遇シ被害激甚ヲ極メ其ノ地域相當廣汎ニ亘リタル爲之等旱害耕地ノ補水計劃ヲ主目的トスルモノ續出スルノ傾向アリ又大正八年、十二年、十四年、十五年昭和二年ト比年相踵ク洪水ノ爲耕地ノ荒廢ニ歸シタルモノ尠カラス之等ニ對シテハ復舊事業ノ促進ヲ圖リ且計劃ノ完璧ヲ期シ事業ノ効果ヲ永遠ニ收ムルノ趣旨ニ依リ復舊事業ハ總テ耕地整理法ニ依リ之ヲ施行シ可及的開墾助成法ノ適用ヲ受ケシム就中大正十五年ニ於ケル安藝、佐伯、安佐三郡ニ亘ル水害ハ其ノ被害ノ程度甚敷深刻ナリシヲ以テ昭和二年度ヨリ二箇年繼續事業トシテ特別ノ施設ニ依リ補助計劃ヲ樹立シ復舊事業ノ完成ヲ講シ着々進行中ナリ尙目下内務省ノ實施中ニ係ル芦田川改修事業ト相俟テ沿岸用排水不良耕地ニ對スル改良計劃ヲ樹立スルハ治水上ノ萬金ノ效果ヲ收ムル所以ニシテ地方産業上重大ナル關係ヲ有スル緊切ノ事業ト認メ本省施行ノ農業水利調査ヲ申請シ既ニ福山市外二ヶ村(瀬戸池關係)ノ用水改良並深安郡中津原村ヲ中心トスル排水改良ノ二箇所ハ計劃書ノ交付ヲ受ケ之カ實施ニ關シ地元關係市町村ト折衝中ニ屬シ其ノ他ノ地域ハ引續キ急速調査稟請中ナリ

耕地擴張事業ニ關シテハ開墾助成法施行以來一時著シク斯業ノ進展ヲ促シタルモ施行地ノ多クハ備後北部ノ山岳重疊スル谿間ニ介在セルヲ以テ地勢上廣大ノ地域ニ亘ル施行ヲ見ルコト能ハス隨テ其ノ施行面積ニ著シキ増加ヲ擧ゲ得サルノミナラス事業ハ概ネ用水源トシテ溜池工事ヲ伴ヒ工費ハ嵩ミサラヌタニ一般社會ノ不景氣ノ影響ヲ受ケ或ハ經濟界ノ變動其ノ他工事成績不良等ノ事情ノ爲經營困難ニ陥レルモノト認メラル、モノヲ生シ既ニ着手セル事業ヲモ縮少スルノ已ムナキニ至リタルモノアリ一

般ニ開墾事業ニ對スル現下ノ實情ハ甚敷不振ノ情勢ニ在ルモノト被認
將來ニ對スル指導獎勵方針

一、本縣ニ於ケル耕地ノ實情ハ農業水利ノ不良ナルモノ相當廣汎ニ亘リ比年水旱ノ被害甚大ニシテ直
接農作物等ノ損失夥シキハ勿論其ノ復舊ニ莫大ノ費用ヲ要シ農家經濟ヲ極度ニ疲弊セシムルノミナラ
ス延テハ醇朴ナル農民ヲシテ自暴自棄ニ陥ラシムルノ虞ナシトセス縣ノ產米反當收量カ隣接諸縣ニ比
シ遜色アルヲ免レサルハ主トシテ茲ニ基因スルモノト認メラル

農業水利ノ改善ハ耕地整理等ノ施行ニ依リ漸次其ノ實ヲ舉ケツ、アリト雖關係地域稍大ナルモノニ在
リテハ其ノ實行容易ナラス仍テ縣ハ急速ニ縣下ニ亘リ農業水利調査ヲ行ヒ事業ノ方法、計劃ノ綱要ヲ
立案シ以テ關係當事者ノ指針ト爲シ進テ事業實施ノ獎勵ニ關スル施設ニ付考慮中ナリ

二、現在施行シツ、アル實施踏査、設計調査、工事監督、事務指導及確定測量等ノ施設ニ付能率ヲ增
進シ徹底ヲ期スルハ勿論特ニ財政並經濟上ニ付周到ナル指導監督ヲ爲シ一層事業ノ進展充實ヲ圖ルコ
ト

三、工事費補助、災害耕地復舊費補助、開墾地移住獎勵金ヲ交付シ企業者ノ負擔ヲ輕減セシムルコト

四、開墾及耕地整理工事ノ能率ヲ増進セシムル爲拔根機、土締機ノ備付無償貸付スルコト

五、地域廣汎ニ亘リ規模大ナル農業水利改良事業ハ地元ト協力シ縣營ニ依リ之ヲ施行スルコト

六、工事完了後ノ事務ノ進捗ヲ圖ル爲昭和三年度ヨリ該事務ニ關スル一切ノ書類ハ縣ニ於テ作成シ之
ヲ整理施行者ニ交付ス

山口縣

現況趨勢 本縣下ニ於ケル耕地面積ハ田八萬壹千參百六拾壹町餘畑參萬貳拾八町餘ニシテ農家一戸平
均耕作反別田六反五畝歩畑二反四畝歩合計八反九畝歩ニ過キス而モ右耕地中ニハ用水ノ不足ヲ訴フル
モノ排水不良ノモノ道路ノ設備不完全ナルモノ或ハ田區ノ不整ナルモノ等今後耕地ノ擴張ト共ニ既耕
地ノ改良ヲ要スヘキモノ多キ現況ナリ

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ逐年事業勃興シ本年三月末日現在ニ於ケル地區數七百三十九箇所面積貳
萬二千五百拾參町步ニ達シ内工事完了セルモノ地區數五百六十八箇所面積壹萬壹千七百四十八町步ニ
シテ目下工事中ニ屬スルモノ百五十一箇所九千七百四拾壹町步ナリトス而シテ事業ノ内容ハ創業當初
ハ主トシテ暗渠排水區劃整理道路水路ノ變更工事ナリシモ其ノ後耕地整理法ノ改正開墾助成法ノ發布
ニ伴ヒ開墾埋立地目變換等ノ耕地擴張事業漸次増加シ本年三月末日ニ於ケル開墾助成地區六十四箇所
地區總面積參千九百四拾七町步内成功面積開田八百參拾町步開畑二十四町步ニシテ目下出願中ノモノ
及本年度出願見込ノモノ九箇所百七拾四町步ナリトス更ニ最近ニ於テハ耕地改良事業就中溜池揚水機
等ヲ設備シテ用水補給ヲ目的トスルモノ又ハ耕作道路ノ改良等著シク増加シ自發的ニ事業勃興スル趨
勢ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル將來開墾地目變換埋立干拓等耕地ノ擴張見込地ハ四萬四千
貳百町步ニシテ耕地ノ用水補給ヲ要スヘキモノ又ハ排水不良ノモノ貳萬參千餘町步ノ耕作道及水路ノ

改修田區整理ヲ必要トスルモノ壹萬四千八百區步ニ達スル狀況ナルヲ以テ縣ハ此等ノ中ヨリ有利確實ナルモノヲ順次獎勵シ詳細ナル調査設計ヲ爲シ工事中ハ嚴格ナル工事監督事務ノ指導ヲ爲スト共ニ工事費補助事業資金ノ斡旋開墾地移住家屋ノ補助ヲ行ヒ一面ニハ既整理地區ノ利用増進殊ニ經營困難ナルモノ、救濟設備ノ改善ヲ計リ更ニ維持管理ノ周到耕作者ノ向上ヲ圖ル等一段ノ督勵ヲ爲サムトス尙本年度ニ於テハ縣營事業タル小郡灣干拓工事並吉敷郡井關村用水幹線工事ヲ遂行スルノ外調査設計壹千貳百六拾七町步實施設計壹千貳百五拾五町步確定測量六百七拾町步工事監督壹千參拾七町步竣功檢査壹千貳百拾九町步事務指導壹千參百參拾壹町步ノ調査監督ヲ爲ス一面工事費ニ對シ參萬壹千九百六圓ノ獎勵費ヲ交付スル豫定ナリ

徳島縣

現況趨勢 (昭和三年三月末調)

- 一、耕地整理設立施行認可 地區數 一一一
 - 二、同 上 面積 四、二八四町
 - 三、同上内事業終了 地區數 一三
 - 四、同 上 面積 六九五町
- 趨勢 軌近數年ニ亘リ旱害ヲ蒙リタルヲ以テ縣下全體ニ灌溉事業著シク勃興シ殊ニ揚水機ニ依ルモノハ總テ電力ヲ使用スルニ到レリ仍チ耕地ノ擴張改良事業ハ益々發達増加シツ、アル趨勢ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、調査設計豫定

(五〇〇町以上ノモノ)

地區名	面積	備考
北麓用水普通水利組合	五、〇〇〇町	昭和二年度ヨリ着手シ目下調査中
那賀川南岸地區	一、五〇〇	調査設計終了但事業施行ニ到ラス
那賀川北岸地區	二、五〇〇	一部調査終了
吉野川南岸地區	一、二〇〇	用排水改良調査設計大部分終了
小松島町地區	一、〇〇〇	昭和元年度ヨリ着手目下調査中
板野郡川内村地區	五〇〇	一部終了殘部ハ昭和三年度終了豫定
江川廢川地區	五〇〇	昭和二年度ヨリ着手昭和三年度終了豫定
計	一一、二〇〇	

二、耕地擴張見込

七、一四三町ニシテ開墾埋立干拓等ニ依リ内田トナルヘキモノ五、八二八町畑トナルヘキモノ一、三一

- 五町
- 三、耕地改良見込
- 二二、五八二町ニシテ灌漑水不足排水不良ニ依ルモノ及一時的洪水被害ヲモ含ム

香川縣

現況並趨勢 本縣ハ人口ノ割合ニ比シ耕地狹隘ナリ現在農家一戸當リ五反四畝歩ノ小面積ニシテ之カ擴張改良ニ就テハ夙ニ當局及當業者ノ苦心諒カラスト雖モ地形及水利等ノ關係上實行容易ナラス將來開發セムトスル山林ハ比較的傾斜急ニシテ森林法ニ依ル開墾制限地ニ屬シ林務關係トノ交渉極メテ困難ヲ生シ相當開墾ニ適當ナル豫定地ナシトセサルモ之等ノ解決ニ日子ヲ要シ豫定ノ事業遂行困難ナル状態ニアリ

今耕地整理法實施以來施行認可ヲ與ヘタル地區數面積及將來開墾セムトスル豫定面積並用排水ノ改良ヲ必要トスル面積ヲ示セハ左ノ如シ

一、施行認可ヲ與ヘタルモノ

地區數	施行面積	事業費總額
一九一	五、九一七町	三四三、一九九八円

二、將來開墾セムトスル豫定面積

郡別	總面積	内	
		田	畑
大川郡	三七六町	二〇四町	一七二町
木田郡	一八七町	一三九町	四八町
小豆郡	五六三町	二七〇町	二九三町
香川郡	三八九町	二九六町	九三町
綾歌郡	二三四町	二一六町	一八町
仲多度郡	二四九町	一二八町	一二一町
三豐郡	一、六九五町	七三六町	九五九町
計	三、六九三町	一、九八九町	一、七〇四町

三、用排水改良ヲ要スル豫定面積

郡別	用水改良面積	排水改良面積	備考
大川郡	一、五三三町	四一八町	
綾歌郡	一、三二〇町	七四八町	
仲多度郡	一、一三四町	三〇一町	
小豆郡	九〇町	八〇町	

郡別	用水改良面積	排水改良面積	備考
香川郡	一、二〇〇	二五七	
木田郡	一、〇一九	四〇九	
三豐郡	二、〇八〇	五七三	
計	八、三七六	二、七八六	

將來ニ對スル指導獎勵方針 本件ニ關シテハ相當考慮スル處アルモ縣經濟ノ關係上到底理想の方針ヲ樹ツル能ハス從來ノ如ク測量設計、確定調査、工事監督、事務指導等ノ設備ヲ徹底セシメ可成事業ノ堅實ヲ計リ尙用排水改良ノ必要ヲ認ムル地方ハ之カ基本調査ヲ爲シ事業實施ニ努ムトス

愛媛縣

本縣ニ於ケル整理施行地區數二五六ヶ所面積一五一五、三町歩トシ内耕地擴張地區二十三箇所面積六百拾町トス現在ニ於ケル工事中ノモノ六十二箇所トシ普通整理ヲ主トシ水源工事及排水工事之ニ次ク然レトモ近年屢々旱魃ニ遭遇シタルヲ以テ之カ對策トシテ獎勵方針ヲ改正シ用水源工事獎勵ノ結果最近此ノ種ノ事業續出シ將來益々進展ノ趨勢ニアリ又耕地擴張事業ハ地目變換開墾及ヒ水害ニ依ル荒地復舊工事ヲ主トシ干拓ニ關シテモ昨今具體的ニ計劃サレツ、アリ將來ニ對スル指導方針ハ現在ノ狀況ニ鑑ミ先ツ縣下ニ於ケル用水不足地四千五百町歩及ヒ排水不良地四千三百町歩ニ付縣營又ハ地區營ヲ

以テ改良ヲ施シ用水ノ補給並排水ノ改善ヲ計リ生産ヲ増加スルト共ニ併セテ一萬町歩ノ普通整理ヲ獎勵シ勞力ノ節約ヲ計ラシメントス尙又耕地擴張ニ關シテハ將來二千五百町歩ノ地目變換並一千町歩ノ開墾及ヒ干拓ヲ實現セシムル豫定トス

高知縣

現況並趨勢 本縣ハ明治三十九年創メテ耕地ノ擴張改良事業ニ關スル獎勵ノ機關ヲ置キ諸種ノ規程ヲ設ケ爾來政府ノ獎勵ト相俟チテ施設ノ改善ニ努メ殊ニ開墾助成法ノ發布セラル、ヤ開墾地目變換等ノ事業ニ一層ノ力ヲ竭シ着々其ノ實績ヲ收メツ、アリシニ偶々大正九年八月ニ於ケル本縣西部主トシテ幡多郡ノ大風水害ハ耕地ニ千五百餘町歩ヲ荒廢ニ歸シ縣下產業ノ發展ニ一大頓挫ヲ來スニ至レリ之カ復舊ノ爲メニ縣ハ耕地整理設備費九萬二千圓同補助金貳拾四萬四百參拾貳圓ヲ計上シ尙事業資金トシテ國ヨリ無利息資金貳百參拾貳萬九千圓ノ貸付ヲ受ケ据置三箇年賦トシテ組合ニ轉貸シ大正十三年ヲ以テ漸ク復舊ヲ見ルニ至リタルニ大正十四年九年再ヒ本縣中東部香美長岡ニ郡ノ沃野一千町歩ニ涉リ災害ヲ蒙リ次テ大正十五年ニハ本縣東部安藝郡ニ於テ五十一町歩昨年ハ本縣中西部吾川高岡二郡ニ於テハ八百餘町歩ノ災害ヲ連續的ニ蒙リ之レカ復舊ニ更ニ設備費六萬九百十圓補助金參拾貳萬五千九百五拾七圓ヲ計シ事業資金九拾九萬貳千貳百圓ヲ借受ケ組合ニ轉貸中ニテ此間災害地ノ復舊改良ニ没頭セシ爲メ今ヤ其大半ハ復舊ヲ見ルニ至レリト雖之カ爲普通整理ノ事業進捗ヲ不尠阻止サレタルハ甚タ遺憾トスル處ナリ然レトモ斯ク全縣下ニ亘ル年々ノ災害復舊並之カ改良工事ハ一般ニ耕地

整理ノ爲有望ナル點ヲ知悉セシムルノ機會ヲ與ヘタルニヨリ近時耕地整理事業計劃増加ノ趨勢ヲ示ス至レリ開墾助成事業ハ其ノ地區五〇ヲ有スルモ主トシテ災害復舊ニ伴フモノナリシカ指導獎勵ノ結果目下設計又ハ申請中ノモノハ何レモ普通ノ開墾地目變換等ニヨルモノニシテ本縣食糧増殖上貢獻スル處アルヘシ

用排水幹線改良事業ハ安藝郡柵ノ木堰用排水幹線改良事業ヲ大正十四十五年度ノ繼續事業トシテ事業費拾壹萬百參六拾圓ヲ計上シ既ニ實施ヲナシ其成績洵ニ良好ナリ本年度ニ於テハ吾川郡八田堰用水幹線改良事業及高岡郡日下加茂排水幹線改良事業ヲ計畫シ之カ補助申請中ニアリテ幸ヒ之カ實現ヲ見ルニ至ラハ其享クル處ノ利益多大ナルモノアルヲ疑ハス

開墾地移住獎勵ニ關シテハ大正十四年獎勵規程ヲ改正シテ十四年度二十三戸元年度二十五戸二年度ニ五十四戸ノ補助金ヲ交付シ移住ノ獎勵ニ努メツ、アリ

事業資金供給ニツキテハ常ニ其窮迫ヲ訴ヘ高利債資金ニ困ム向多カリシモ昭和二年度ニ於テ借替資金ノ配給ヲ受ケ稍緩和スルヲ得タリ

耕地整理施行面積左表ノ通り

耕地整理施行面積調

(昭和三年四月末現在)

種別	組合數	整理前面積		整理後面積		差引増反別
		民有地	國有地	民有地	國有地	
計						

内 開墾助成地區調

種別	組合數	開田面積		開畑面積		合計
		普通開墾	荒地復舊	普通開墾	荒地復舊	
普通整理	一九三	八、一九五町	八七三町	八、二三七町	九〇五町	七四町
災害復舊	二六九	三、〇〇一	四七二	三、〇六〇	四九二	七九
耕地整理	四六二	一一、一九六	一、三四五	一一、二九七	一、三九七	一五三
計						

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル田地面積ハ三萬七千五百九十餘町步其產米高六七十萬石ニシテ年々十萬乃至十五萬石ヲ他ヨリ移入スルノ状態ニアリ

然ルニ耕地整理施行見込計劃ニ基ク別表產米收益調查書ニヨレハ耕地ノ擴張改良事業ニヨリ十四、五萬石ノ增收ヲ得ヘク之レニヨリ自給自足ノ域ニ達セシムルハ至難ノ業ニ非ルヲ以テ別表計劃調査ニヨリ田畑山林原野等ノ整理見込地二萬餘町步ニ對シ獎勵セントスルモノナルモ就中本縣ノ用排水幹線改良事業施行豫定地八千九百町步ハ水利關係極メテ不良ニシテ不毛ノ地ニ近ク之レカ改良ノ曉ハ產米增收品質ノ向上ニ多大ノ效果アルヲ以テ先ツ用排水幹線事業ノ促進ニ努メ一面山間地方ノ開墾事業ニ特ニ

一段ノ努力ヲ傾注スルノ方針ナリ

耕地整理事業計畫調查書

地目	大正十五年		内整理見込面積	事業内	
	未日現在	未日現在		用排水幹線	開墾助成
田	三七、五九一町	一三、九三二町	七、五六五町	六、三六七町	
畑	三五、四三二町	四、一二五町	一、三三五町	二、一五三町	
山	五二、〇二六町	二、三七四町	八、九〇〇町	一、九一一町	
野林	二、三七四町	二、〇、四三一町	一、一〇〇町	一〇、四三一町	
他ニ伐畑	五二、〇二六町	二、〇、四三一町	八、九〇〇町	一〇、四三一町	

右ニ對スル耕地擴張見込調查書

地目	改良ニヨル擴張		開墾助成		普通整理		合計	施行後耕地面積
	ニ依ル擴張	ニ依ル擴張	ニ依ル擴張	ニ依ル擴張	ニ依ル擴張	ニ依ル擴張		
田	一五一町	八六九町	三、三〇一町	四、三二一町	一、七〇二町	一、七〇二町	四一、九一二町	
畑	二七町	二三一町	一、七六七町	一、七〇二町	一、七〇二町	一、七〇二町	三四、七三九町	
計	一七八町	一、一〇〇町	二、三三〇町	三、六二八町	二、三三〇町	二、三三〇町	七六、六五一町	

耕地整理産米收益調查書

種別	整理前		整理後		收益增加額	一石當單價	收益金額
	面積	反當收量	面積	反當收量			
用排水幹線	六、五六五町	一、七〇石	七、五六五町	二、〇〇石	一、三〇〇石	一、〇〇圓	七、一五〇圓
開墾助成	七、五六五町	一、七〇石	七、五六五町	二、〇〇石	一、三〇〇石	一、〇〇圓	七、一五〇圓
普通整理	二、四八九町	一、七〇石	二、四八九町	二、〇〇石	一、三〇〇石	一、〇〇圓	七、一五〇圓
合計	一、四、八〇二町	一、七〇石	一、四、八〇二町	二、〇〇石	一、三〇〇石	一、〇〇圓	七、一五〇圓

福岡縣

現況並趨勢 福岡縣ニ於ケル耕地ノ改良及擴張事業ハ年ト共ニ進展シツ、アリ最近ノ狀態ハ企業地區數九百九十三其ノ面積三萬七千餘町ニ達シ内工事ノ完了シタルモノ地區數八百七十六其ノ面積二萬三千七百餘町ニシテ事業ヲ完了シ又ハ解散シタルモノハ其内地區數二百六十五其ノ面積五千四百餘町ナリ

是等ノ企業ハ大體ニ於テ秩序の進捗ヲ爲シツ、アルモ事業ヲ完了解散シタルモノ比較的尠キハ債務ノ償還未済ナルモノ多キニ依ル

近年電氣ヲ動力トスル灌漑事業及筑後川改修工事ニ伴ヒ沿岸耕地内ニ介在スル堀ヲ埋立ツル事業ノ企畫セラル、モノアリ又最近地下水ヲ利用シテ開田又ハ用水補給ヲ行フ事業頻リニ企圖セラレツ、アリ大正八年開墾助成法施行セラレテ以來本縣ニ於ケル助成事業ハ逐年増加シ現在企業數百十五其ノ助成承認面積三千百餘町ニ達シ内工事竣成シタルモノ面積千八百餘町助成金ヲ交付セラレタル金額八十七萬千四百餘圓ニ上リ事業ノ成績概シテ良好ナリ而シテ此種開墾助成事業ハ郷土ノ農業勞力ノ餘力ヲ以テ經營セムトスルモノ大部分ニシテ從テ其ノ規模ハ比較的小ナルモノナリ本縣ノ如ク開拓普ク行ハレタル地方ニアリテハ斯ノ如ク開墾ノ規模ノ漸次狭小トナルハ趨勢トシテ已ヲ得サル所ナルヘシ而シテ開墾助成法ノ適用サルル面積ノ制限ヲ更ニ緩ムルヲ得ハ更ニ企業進展シ其ノ實績ヲ大ナラシムルモノアルハ逆睹スルニ難カラス

本縣耕地ノ擴張見込地ヲ見ルニ地目變換又ハ開墾ニ適スルモノ二萬千六百餘町新開地八千三百餘町計三萬町又既耕地ノ改良ヲ要スルモノ二萬二千四百餘町其ノ他炭坑ノ影響ヲ受ケ荒廢シタル耕地ノ復舊見込地約三千町アリ然ルニ本縣ノ農耕地ハ總面積約十五萬町農家戸數約十五萬ニシテ一戸ノ平均耕作田畑合計約一町歩ナルニ過キス加ルニ近年耕地ノ擴張ハ潰廢ヲ補フニ足ラス過去九箇年平均ハ年々約四百七十五町ノ減少ヲ見更ニ人口ト食糧トノ關係ニ就キ考察スルニ本縣ニ於ケル現人口二百三十五萬人米ノ生産高二百三十五萬石即チ一人約一石ナリ之ヲ現況ニ照スニ米穀ハ年々多少ノ輸移出ヲ見ツ、

アリト雖年々ノ人口増加約二萬五千餘人ナル大勢ニ鑑ミルトキハ將來主要食糧ノ消費ハ遙ニ生産ヲ凌駕スルモノアルヘシ斯ノ如ク彼此考察スルトキハ食糧増殖ヲ計ルコトノ要愈急ニシテ從テ耕地ノ改良擴張ヲ策スルハ益々喫緊ナリトセサルヘカラス折柄小作爭議景氣不振等ノ影響ニ依リ企業豫期ニ反スルモノアリト雖世況轉換ノ機ニ際セハ自ラ企業ヲ見ルニ至ルヘキハ逆睹スルニ難カラス故ニ本縣ニ於ケル斯業ノ前途ハ將來ニ於テ更ニ發展スヘキ趨勢ニアルモノト見ルヲ得ヘシ

本縣ニ於ケル開墾事業中ニハ二三移住者ヲ招致スルニアラサレハ事業ノ目的ヲ達成スルコト能ハサルモノアリ依テ開墾地移住ヲ獎勵スルノ一端トシテ移住家屋ノ建築ヲ獎勵シ獎勵金ヲ交付シツ、アリ大正十四年以來獎勵金ヲ交付シタルモノ三十二戸ニシテ毎年平均十戸ノ移住家屋ノ建築ヲ見ツ、アリ本縣ニ於ケル墾業陷落地ハ一市八郡ニ亘リ陷落ノ休止セルモノ五百五十餘町陷落中ノモノヲ合スレハ約三千百餘町歩ニ達セリ然ルニ既往ニ於テ是種陷落地ノ復舊セラレタルモノハ五百五十餘町ニ過キス一方陷落地ハ更ニ年々其ノ面積増加シ復舊之ニ伴ハサル結果益々不耗地ヲ擴大シ而モ被害者ト墾業者トノ間ニハ種々ノ交渉問題惹起シ遂ニハ社會問題ニ進展セムトスル形勢ナリ此ノ耕地ノ陷落ハ數多ノ大炭田ヲ有スル本縣特有ノ事象ニシテ之カ復舊事業ノ企圖ヲ促スハ耕地ノ改良擴張ト相俟テ最喫緊適切ナル政策ナリト信ス

筑後川筋ニ於テハ其ノ改修工事ノ進捗ニ伴ヒ農業水利ノ變更ヲ要スルモノ尠カラス當面是等水利上ノ措置ヲ要スルモノニ付之ヲ善處スル爲昭和三年度ヨリ調査ヲ行ヒツ、アリ又鞍手遠賀二郡ニ跨ル西川ノ流域ハ西川村外六箇町村ニ亘リ廣袤七千餘町ナリ此ノ區域ハ概シテ排水不良ニシテ降雨毎ニ洪水シ

加フルニ磷毒水ノ被害アリ之等ノ水利改良及被害除却ノ目的ヲ以テ本年度ヨリ調査ヲ行ハムトス
其ノ他本縣ニ於テハ農業水利ノ改善ヲ行ヒ以テ土地農業上ノ利用増進ヲ計ルヘキ箇所尠カラズ是等ハ
隨時調査ヲ行ヒ改良事業ヲ行ハムトス

以上ノ實況ニ鑑ミ縣一般縣費ニ企業者ノ寄附金ヲ加ヘ以テ職員ヲ設置シ事業ノ指導促進斡旋工事費補
助及獎勵金交付等ヲ行ヒツ、アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 而シテ將來ニ於テモ是等ノ督勵指導完成ヲ行フハ勿論特ニ農業水利調査
並陷落耕地調査ニ關シテハ專任職員ノ施設ヲ増シ以テ事業ノ進展ヲ促スノ要アリ尙將來ニ向テハ企業
ノ趨勢ニ伴ヒ機宜ノ施設ヲ爲サムトス

佐 賀 縣

現況 本縣ノ耕地整理事業ハ明治三十三年耕地整理法實施以來逐年益々進捗シ昭和三年四月末日現在
ニ於テ既ニ企業ノ認可ヲ爲シタルモノ三百九十三地區此ノ施行面積一萬二千三百二十七町餘歩ニ達セ
リ又大正八年開墾助成法實施以來之カ適用ヲ受ケタル地區數六十九其ノ開田面積一千五百五十九町餘
歩開畑面積百十町餘歩ニ及ヒ其ノ成績ヲ見ルヘキモノアリ元來本縣ハ米麥ヲ以テ主要物産トセル關係
上之カ盛衰ハ懸リテ縣經濟上ニ至大ノ影響ヲ及ホスヲ以テ縣ハ之カ普及發達ニ銳意努力中ナルモ未タ
決シテ満足スヘキ狀態ニ非ス尙縣下ヲ通シテ灌溉水ノ不足地ニシテ改良ヲ必要トスルモノ八千餘町歩
排水不良面積六千町歩開墾見込面積一萬五千町歩ニ達スル狀況ニ在リ

趨勢 耕地整理事業タルヤ金融界ノ盛衰ニ依リ其ノ消長ヲ來スモノナリ目下經濟界ノ情勢ハ猶不振ノ
域ヲ脱セスシテ事業ノ進展ヲ阻害スルコト不尠ルモノアリト雖縣ノ指導獎勵ハ事業企劃者ノ信念ヲ強
メ延テハ事業ノ勃興ヲ促スモノナレハ不斷ノ努力ヲ以テ之カ指導獎勵ニ務メツ、アリ爲ニ豫定地區ノ
踏査及設計申請ヲ爲スモノ續出シツ、アル次第ニシテ今後從來遲延セシ舊田整理ノ進展ト共ニ海面干
拓事業ハ倍舊ノ勢ヲ以テ企業セラルモノト認メラル殊ニ縣營ヲ以テ昭和三年度ヨリ昭和三十年度ニ至
ル二十八箇年繼續事業トシテ事業費總額一千四百九十二萬四千四百六十五圓ヲ以テ縣下杵島郡地先有
明海面千七百七十五町八反二畝九歩ノ干拓ヲ企劃スルコトナレリ之カ成功ノ曉ニ於テハ食糧生産上ニ
裨益スル所不尠現下各地方ノ問題トナレル農村振興上食糧生産ノ増殖上有力ナル效果ヲ致スヘキモノ
ト信ス

將來ニ對スル指導獎勵方針 縣ハ既定方針ニ基キ調査設計工事監督事務指導ヲ爲シ一面事業ニ對スル
補助金ヲ交付シテ獎勵スルハ論ナキモ亦一層事業ノ企劃ヲ促シ事業經營ヲ容易ナラシメ以テ有終ノ美
ヲ收メムニハ如何ニシテ指導獎勵スヘキヤニ付一段ノ注意ト努力ヲ拂ハムコトヲ期ス

即チ

- 一、既定方針ニ基キ調査設計工事ノ指導監督ニツキ可及的ニ之カ周到ヲ期スルコト
- 二、講習會講話ニ依リ事業ノ企劃ヲ促スコト
- 三、舊田整理及土地ノ交換分合ニ依ル事業ノ獎勵ニ努ムルコト
- 四、耕地擴張改良事業ノ遂行ニ依ル新設備ヲ最モ適切ニ活用シ用水ノ配給排水ノ管理ニツキ特ニ指導

監督ヲ加フルコト

五、開墾地ニ適スル陸稻栽培ニツキ充分ナル調査研究ヲ遂クルコト

長崎縣

現況並趨勢 本縣下耕地擴張事業ハ數年來著シク増加シ來リ本年三月末日現開墾助成事業地區ハ六十
六箇所其ノ面積開田七百六十七町歩開畑百町餘歩合計八百六十七町餘歩ニ達シ之カ主要工事トシテ
ハ本縣ハ地勢上河川ノ利用セラル、モノ尠ク從テ溜池新設又ハ増築ヲ伴フ畑地ノ開田其ノ大部分ヲ占
メ比較的多額ノ工事費ヲ要ス元來本縣ニ於ケル田地ノ農家一戸當平均ハ僅ニ三反餘歩ニ過キス全國平
均五反歩ニ比シ著シキ逕庭アリト言フヘク耕地擴張ノ必要ナルヲ認メラル又開墾助成法ニ依ラサル小
面積開田及開畑事業尠シトセス其ノ他最近國有林ノ拂下ヲ受ケ又ハ豫約開墾ニ依ル開田事業復興ノ傾
向アルヲ見ル次ニ改良方面ノ事業トシテハ古田ノ暗渠排水整理最モ多數ナリシカ最近旱魃又ハ水害ニ
遭遇シタル爲一般耕地改良ノ緊要ナルヲ認メ殊ニ溜池ヲ築造シテ用水ノ補給ヲ爲ス事業多キヲ加フル
ニ至レリ

今年三月末現在ニ於ケル耕地整理事業ノ地區及面積ヲ記スレハ左ノ如シ

認 可		工 事 中		工 事 完 了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
一	一、五九三・〇七二八	五	四九二・六一二一	一	一、八五六・二二一〇

三四七	五、八二三・五四一五	一六四	二、八一三・〇〇二八	一五三	一、八五六・二二一〇
-----	------------	-----	------------	-----	------------

換地處分認可	事業終了		附記
	地區數	面積	
一二六	一、五九三・〇七二八	五九	四九二・六一二一

即チ右表ノ如ク認可地區數ニ對シ工事完了後手續ノ進捗充分ナラサルモ之カ促進ヲ計ル爲管内一部ニ
ハ郡ヲ區域トスル耕地整理協會ニ事務ヲ委託シ督勵シツ、アリ

要スルニ本縣下耕地ノ擴張事業ハ各地區ノ面積大ナラスト雖如上各種ノ事業相衝テ起リ縣現在ノ設備
ニテハ當事者ノ希望ヲ充ス能ハサル狀況ニ在リ現在施行中ニ屬スル事業ノ財政狀態ヲ通覽スルニ事業
資金ノ高利乃至借入困難ノ爲動モスレハ事業ノ進展ニ支障ヲ來タサントスルモノ多シ本縣下將來耕地
ノ擴張及改良ヲ要スヘキ見込面積ハ二萬一千八百九十六町歩ニ達シ此中確實ニシテ緊要ナルモノ尠カ
ラサルヲ以テ適當ナル事業資金ノ供給ヲ得ハ更ニ一般ノ事業進展ヲ觀得ルノ趨勢ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

(一) 事業ノ施行指導ニ當リテハ特ニ左ノ各項ニ注意スルコト

一、企業者カ果シテ眞劍ナル耕作者又ハ地主ナリヤ否ヤ

二、村勢トノ對照ニ於テ合理的ナルヤ否ヤ

三、施行者ノ資力充分ナリヤ否ヤ(借入金ヲ極度ニ制限シタル)
 四、幹部ノ人格手腕ニ注意スルコト

(二) 壹岐、對馬、五島等地理的遠隔不便ノ地ニ在リテハ耕地整理事業充分普及徹底セサル爲之等ノ

方面ニ適切ナル模範地區ヲ選定シ完成セシメ其成績ヲ實地ニ示シ之カ普及督勵ニ資セムトス

(三) 農業水利調査ヲ續行シ耕地ノ擴張改良ノ基本的計劃ヲ樹ツルコト

當業者ヲシテ工用器具ヲ利用セシメ勞費節約費用ノ輕減ヲ計ラシムルコト

工事完了後ノ事務ヲ促進セシムルノ方策トシテ縣全般ヲ區域トスル耕地整理協會ヲ興シ之ト策應シ進

捗ヲ計ラムトス優良地區ノ實績ヲ發表シ可成實地視察ヲ爲サシメ以テ當事業者ノ自覺ヲ促スコト

熊 本 縣

現 況

一、耕地整理

本縣耕地ノ總面積ハ約十八萬町歩ニシテ其內耕地整理見込地五萬町歩ヲ算シ尙開墾見込地約三萬町歩
 ヲ有ス近時農業勞力節約並土地利用増進ノ目的ヲ以テ整理事業ハ年ヲ逐フテ増加シ現在整理地區數四
 五〇其ノ面積一萬五千六百餘町歩ニ達セリ尙其ノ整理發達ノ狀況ヲ示セハ次ノ如シ(昭和二年十二月
 末現在)

自明治三十六年	五箇年間平均	一六〇町步
至同四十年		
自同四十一年		七三〇町步
至同四十五年		
自大正二年		五三二町步
至同六年		
自同七年		一、〇〇〇町步
至同十一年		
自同十二年		一、〇〇六町步
至昭和二年		

二、潮 害 復 舊

潮害地ノ復舊ハ之ヲ一日モ忽ニス可カラス依テ災害地ニ耕地整理組合又ハ耕地整理組合聯合會ヲ組織
 セシメ昭和四年度迄ニ其ノ完成ヲ期シ遺憾ナカラシムル爲縣ニ於テハ從來農務課ニ屬セシ耕地整理係
 ヲ獨立セシメテ耕地課トナシ技師以下三十六名ノ増員ヲ行ヒ災害地ニ事務所二箇所出張所八箇所ヲ設
 置シ調査設計工事監督事務指導等ニ當ラシムルコト、シ着々復舊ノ歩ヲ進メ全地區實施計劃ヲ了シ工
 事ノ性質上潮受堤防復舊工事ノ施行ニ就テハ特ニ技術上經驗アル人物ヲ選定シ大部分ノ工事請負契約
 締結ヲ見目下復舊工事ニ着手ノ狀況ニ在リ

三、開 墾 事 業

耕地擴張事業ハ助成法實地以來頗ニ事業發展シ施行面積三千六百町歩ニ達ス而シテ尙耕地擴張見込面

積三萬町歩ヲ有シ内畑地ノ開田見込地四千町歩海面干拓見込地七千町歩ヲ包含セルハ事業ノ前途尙洋々タルモノアリ只事業施行ニ當リ莫大ノ資金ヲ要スル關係上軌近ノ金融界衰退ニ遭遇シ其ノ經營容易ナラサルヲ慮リ充分ノ發達ヲ遂ケ得サルハ遺憾トスルモ比較的資金關係ニ支配セラレス且ツ水利關係ニ障礙ナキ局地的小區域ノ山間部ノ開墾及平坦地ニ於ケル田地ノ間ニ介在スル畑地ノ開田等毎年相當ノ面積ヲ占メツ、アリ

趨勢 金融界ノ盛衰ハ事業ノ消長ヲ左右スルト雖モ前述ノ如ク本縣耕地整理事業ハ年ト共ニ漸次發展ノ趨勢ニアリ縣ノ指導ハ企業者ノ自覺ヲ助長シ著シク進步發達ヲ認ムルモノアリ即チ近時治水事業ハ耕地擴張計畫上ニ重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ之ト併セ行ハントスル企業者増加シ農業水利權ノ確保ニ深甚ノ注意ヲ拂フニ至レリ又最近農村勞力問題カ地主對小作人間ニ重大ナル關係ヲ生スルニ及ンテ著シク耕地ノ區劃及道路ニ對スル改良ノ必要ヲ喚起シ來リ之等ノ改善ヲ俟チ解決ノ端緒ヲ得ツ、アル狀況ニアリテ専ラ之ニ關聯セル事業ノ遂行ヲ希望スルモノ多ク最近事業面積ノ増加ヲ主トシテ之ニ依ルモノニシテ尙益々實地踏査及測量設計申請ヲナスモノ續出スルノ觀ヲ呈シツ、アリ公有水面干拓事業ハ前述セル如ク昨年ノ潮害地復舊ニ全力ヲ集中努力中ニシテ一時事業ノ發展ハ阻止セラレタル狀況ニアルモ將來ハ此ノ經驗ニヨリ益々干拓事業ノ發達ヲ見ルモノト思惟セララル、モノアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 上述ノ如ク本縣開墾及耕地整理見込地ハ莫大ノ地積ヲ占ムルニ拘ラス毎年施行面積一千町歩ニ過キササルハ現在ノ農村及耕地ノ狀況ニ鑑ミ遺憾トスルトコロナルヲ以テ此ノ際一層ノ督勵ヲナシ耕地整理ノ進捗ヲ期スルト共ニ一面耕地擴張及改良ノ根本的改善ノ方法ヲ講シテ以テ當面ノ急ニ應ジ耕地整理ノ發展ニ資スル爲本縣耕地ノ病弊ニシテ且ツ開墾事業ノ阻碍タル用惡水利系統ノ改良ヲ爲スヲ最モ緊急事業ト認メ左記事項ニ就キ適當ナル施設ヲナスト共ニ充分ナル注意ヲ喚起セントスルモノナリ

- 一、農業水利ノ調査ヲナシ改良ノ基礎ヲ確立シ五百町歩以上ヲ支配スル主要用排水改良事業ヲ縣營ニテ順次施行スルト共ニ五百町歩以下ニ付テハ相當補助ノ施設ヲナシ一般水利改善ノ完備ヲ期スルコト
- 二、將來一切ノ農業ニ關スル水利ノ監督ヲ耕地課ノ所管ニ移シ事業ノ發達ヲ圓滑ナラシムルコト
- 三、一般農事及水利事業ニ從事スル技術員ノ農業土木ニ關スル智識ヲ向上セシムル爲メ適當ノ施設ヲ講スルコト
- 四、開墾事業ニ對スル用水使用許可ニ就テハ事實用水既得權者ニ損害ヲ與ヘサル限リ理由ナキ故障ニ拘束セラレス速ニ適當ナル處置ヲナスコト

大分縣

本縣ニ於ケル耕地ノ改良及擴張事業ハ昭和二年十二月末迄ノ狀況左表ノ如シ

設立認可		工事完了		換地處分		事業終了	
地區數	總面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
二八	三、六二〇、五八	一七一	四、三九二、六六	一六〇	五、〇五、二三	一七	五、七、五〇
	町		町		町		町
	三、六二〇、五八		四、三九二、六六		五、〇五、二三		五、七、五〇
	町		町		町		町
	三、六二〇、五八		四、三九二、六六		五、〇五、二三		五、七、五〇
	町		町		町		町

而シテ尙今後耕地擴張見込地ハ田地トナルヘキモノ一萬四千五百町歩畑地トナルヘキモノ一萬七千二百町歩ヲ算スルモノナルカ畑地開墾ハ現下ノ狀況ヨリ見テ未タ計劃的ニ企業ヲ見ルニ至ラス
 開田事業ニ付テ各河川ノ水利關係極メテ複雑ニシテ新事業ノ水源トシテ殆ト行詰リノ狀況ニアルヲ以テ今後ハ溜池併用ニ依リ河川利用ノ集約ヲ期スルト共ニ溜池ヲ水源トスル開田事業ヲ第一義トシテ發達ニ努力セントスルモノナリ

普通整理事業ハ山地部排水不良地ノ改良平坦部ノ區劃改良事業ヲ主トスルモノニシテ改良餘地極メテ多キモ開墾事業復興セシ反面ニ閑却セラレタル嫌ヒアリタルカ近來縣北平坦部ニ大面積ノ普通整理事業ノ復興ノ機運ニアルニ鑑ミ本年度ヨリ普通整理事業ノ補助ヲ計上シ此方面ニ特ニ努ムルトコアラントス

本縣用排水狀態ハ用水不足地一萬町歩排水不良一萬七千町歩ヲ算シ之カ改良極メテ緊急ナルモノアルヲ以テ昭和二年度ヨリ毎年水利調査費三千圓ヲ計上シ水利權ノ整理ヲナスト共ニ各河川ノ用排水系統ニ付其ノ機能適否狀況ヲ詳ニシ耕地整理事業ニヨリ徹底的ニ之カ改善ヲ計ルト共ニ一面水利組合及類似ノ水利事業團體ヲ指導啓發シテ全國的ニ耕地改良事業ノ普及發達ヲ計ラントス

宮崎縣

現況並趨勢 勢明治三十五年耕地整理事業開始以來本年四月末日迄ノ事業施行ノ狀況ハ左ノ如シ
 種別 地區數 面積 整理費用

組合設立施行認可 四三〇 一七、二一〇 四、九〇四二九〇
 工事完了 三一〇 一一、八九二
 換地處分濟 二六四 九、四六九
 事業終了 一〇二 三、一八六

而シテ大正八年以來今日迄ニ開墾助成ヲ出願シ
 指令ヲ得タルモノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費豫算總額	助成金交付見込額	既ニ交付濟助成金額
開田	七二	二、五五九	四、〇八〇、二四四	一、四四二、八八九	四二五、一〇〇
開畑	一一	四一〇	二六五、一九八	七五、八〇八	七、九六四
荒地復舊	二二	五三三	六四七、八九〇	一八七、九八二	一一六、八六六
灌溉工事	一〇	一	三〇〇、六三八	六七、六六八	五六、三五〇
計	一一三	三、五〇二	五、二九三、九七〇	一、七七四、三四七	六〇六、二八〇

尙助成出願中ニシテ未タ指令ヲ得サルモノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費豫算總額	助成金交付見込額
開田	九	九〇	七一、〇〇三	二四、〇〇三

種目	地區數	面積	事業費豫算總額	助成金交付見込額
開	七	一〇三町	三九二、六六九	九〇、五二〇
計	一六	一九三	四六三、六七二	一一四、五二三

耕地整理事業ハ當初專ラ田地ノ區劃改正並道路畦畔溝渠等ノ改廢ヲ行フモノ多カリシカ大正八年開墾助成法ノ發布以來開田ヲ目的トスルモノ著シク増加シ最近畑地利用ノ増進セラル、ト共ニ開畑ヲ行フモノ漸次其數ヲ加ヘ尙大正十五年昭和二年ノ連續セル大旱魃ノ結果灌漑設備ノ根本的改善ヲ目的トスルモノ俄カニ増加シ數年來毎年ノ整理施行面積四百町歩内外ナリシモノ昭和二年ニ於テハ約一千町歩ニ達シ本年ニ入り認可セルモノ既ニ三百十八町歩ニ及フノ盛況ヲ呈セリ

大正二三年ニ於テ着手セラレタル縣營開田事業中二原及高木原ノ兩地區ハ成績何レモ良好ニシテ昭和二年度ヲ以テ縣債ノ償還ヲ終リ用水路ヲ耕地整理組合ニ引繼クコト、ナレリ唯薩摩原ハ豫期ノ成績ヲ擧ケ得サルヲ以テ目下之カ善後策ヲ講シツ、アリ

畑地開墾ニ於ケル「トラクトル」ノ使用ハ昨年來大ニ其ノ能率ヲ高メ使用希望者相亞クヲ以テ殆ト休止ノ暇ナク操縦者ヲ派遣シツ、アリ

開墾地ニ於ケル移住者ハ益々其數ヲ増加シ大正九年度ヨリ昭和二年度迄ニ於テ家屋建築ノ補助金ヲ交付セルモノ三百二十九戸共同建造物十戸ヲ算スルニ至リ殊ニ公會堂共同作業場ノ如キハ大ニ利用セラレテ其效果大ナルヲ認ム

將來ニ對スル指導獎勵ノ方針 獎勵方針ハ從來ト大差ナク大要左ノ方法ヲ採ラントス

- 一、調査設計及工事監督ヲ周到ニシ事業費ニ違算ナカラシメ工事ノ完成ヲ期ス
- 二、諸般ノ事務及手續ニツキ懇切ニ指導助成シ事業ノ完結ヲ速カナラシメントス
- 三、農業用トシテノ水源水利ノ調査ヲ行ヒ既成田地ニ對スル用水ノ整理ト開田豫定地ニ對スル用水供給ノ方針ヲ決定セントス
- 四、整理施行地就中開墾地ノ利用經營ニ就テハ各種農事獎勵ノ機關ト連絡ヲ取り當該地區又ハ部落ヲ目標トシテ指導獎勵ヲ行ヒ以テ農業經營ノ改善ヲ圖ラントス
- 五、開墾地ニ對スル移住者ノ招致ハ縣ノ内外ヲ問ハス住宅及共同建造物ニ對スル補助金ノ交付ヲ一層厚クスルト共ニ將來縣町村又ハ組合等ニ於テ低利資金ノ供給ヲ受ケ之ヲ移住者ニ轉貸シテ農業經營ノ資ニ充テシメ尙開墾セラルヘキ土地ヲ講入シ之ヲ移住者ニ分讓シテ自作農ノ創定ヲ行ハントス

鹿兒島縣

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ耕地整理法實施以來四月末迄其ノ認可ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

事業創設以來ノ認可濟	二四、〇五五町	八一三地區
工事完了	一五、〇六三	六七二
換地處分濟	一五、七〇五	六五〇
地價配賦濟	一四、二二六	六〇一
鹿兒島縣		一四三

登記 濟

一四、六九八

六一六

事業 完了

九、八〇八

四〇八

大正八年開墾助成法發布以來其ノ承認ヲ受ケタルモノ及出願中ノモノ左ノ如シ

承認ヲ受ケタルモノ

二、三七六町

四三地區

出願中ノモノ

一、二八一町

一〇

計

三、六五七町

五三

縣營事業トシテ施行中ノモノ左ノ如シ

谷山町和田干拓事業

六〇町

自大正十二年度
至昭和五年度

米ノ津町埋立事業

三二、四

自大正十二年度
至昭和三年度

東國分村 荒地復舊事業

四九、九

自大正十四年度
至昭和四年度

牛根村二川開墾事業

一一、八

自昭和二年度
至昭和五年度

大崎村 用排水幹線改良事業

一、七一一町(河川改良延長)

殆ト終了

持留川 用排水幹線改良事業

五八五町(受益面積)

殆ト終了

今後耕地整理法ニ依リ整理ヲ要スルモノ左ノ如シ

二〇、七〇一町

内 譯

(一) 用水不足地

四、六八〇町

(二) 平時排水不良地

六、三〇〇町

(三) 一時排水不良地

二、八〇〇

(四) 普通整理地

四、一三一

(五) 土管排水ニ仕換地

二、七九〇

二、開墾及地目變換見込地

二〇、五〇四

内 譯

(一) 埋立干拓

一、二〇〇町

(二) 開墾地目變換

一九、三〇四

三、畑地整理見込地

三九、九八七町

四、用排水幹線改良見込地

四、六〇〇町(伊佐郡湯之尾堰外五箇所)

從來ハ主トシテ暗渠排水ヲ行フ地區多カリシカ次テ隧道導水工事ニ依ル開田事業行ハレ又近年旱害ニ加フルニ水害ヲ受ケ溜池ノ復舊増設揚水機ノ設置災害救濟事業等續出セルヲ以テ農務係ト共ニ之カ調査ヲ續行セシメ普通補助以外特別ニ夫々災害補助ヲナシ尙水利組合給水組合等ノ活動ヲ促スハ勿論本年度ヨリハ特ニ水利調査費ヲ設ケ縣下河川中急施ヲ要スルモノヨリ選定シ各水系毎ニ調査項目ニヨリ繼續調査ニ着手セリ

沖繩縣

現況並趨勢

一、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル開墾見込地ハ大正二、三兩年度ニ亘リ基礎調査施行ノ結果三萬八千五百町歩餘ヲ算スルモ傾斜二十度以下ノ可耕地ナレハ農業經營上今劇カニ有利トセサルモノ約二割四分ヲ包含シ現在適地ト認ムヘキ面積二萬九千三百五十二町歩餘ニシテ國土面積ノ一割二分六厘ニ相當シ利用別見込面積ヲ左ニ掲クヘシ

種別	開墾開拓	新開	計
田	六、八四〇町	一七〇町	七、〇一〇町
畑	二二、三四二町	一七〇町	二二、三四二町
計	二九、一八二町	一七〇町	二九、三五二町

然シテ從來小區域ノ開墾事業ハ特ニ獎勵セサルモ各地主ハ農閑期ノ餘力相應ニ施行シツ、アルヲ以テ今ヤ殆ント餘地ヲ存セサルニ至レリ本島山間地方及各離島ニ大部分ヲ占ムル團地ノ開墾ニ就テハ規模稍々大ナル事業勃興シ逐年漸増ノ趨勢ニシテ大正八年六月開墾助成法實施以來昭和三年三月末日迄ノ出願狀況左ノ如シ

年度別	地區數	開墾面積	
		田	畑
自大正八年度	一九	七二・四町	二、一九九・一町
至昭和元年度	一九	二、一九九・一町	二、七二六・四町

昭和二年度	計	田	畑
三	七二・四	四一・六	二一・六
二二	二、二四〇・七	一一、三三三・一	一一、〇六七・六

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ノ進捗ヲ阻害セラレタル原因ハ王藩政時代ヨリ近ク明治三十五六年ニ至ルマテ農民ハ或僅少ノ土地ヲ除ク外大部分ノ土地ハ私有ヲ認メラレス加之封内住民ノ約四分ノ一ヲ占ムル藩士ノ俸祿用米ノ耕作ヲ強制セラレ隨テ耕作ノ自由ヲ拘束セラレタル結果ハ土地愛護ノ念極メテ乏シク頻リニ掠奪農業行ハレ他面當時人口少ナク海外ト交通亦頗ル不便ニシテ農家ハ自給自足ニ安ンシタルヲ以テ耕地擴張ノ必要ニ迫マラレサリシモ明治三十六年縣下一般ニ地租條例實施ニ依リ始メテ土地所有權ヲ附與セラレタルト共ニ土地ヲ愛護スルニ至リ爾來人口増殖ノ結果昔日ノ桃源ノ夢醒メ耕種方法亦比較的集約ニ趨キ開墾ヲ行フ者漸ク多キヲ加ヘタリ而ルニ本島内ノ開墾適地ハ山間地方ヲ除クノ外概シテ團地ヲ爲スモノ少ク其ノ多クハ耕地ノ間ニ散在シ之等ハ所有者各自ノ勞力ニ應ジ歲々開墾シツ、在リ各離島ニ大部分ヲ占ムル團地ノ開墾ニ就テハ宮古八重山二郡ニ多ク就中石垣島西表島ハ一萬六千有餘町歩ノ廣漠ナル沃野相連リ足跡ヲ容レサル曠原稀ナラス未知ノ寶庫ト稱セララルモ往時風土病ノ爲移住困難ノ地アリ縣衛生事業トシテ防遏ニ專任シタル結果業績頓ニ擧リ墮テ撲滅シ得ヘキ日遠カラサルヲ信ス

同地方ハ近年來規模稍大ナル事業起リテ逐年其ノ面積ヲ増加シツ、在リ公有地ハ今春來町村基本財産管理規程ノ改正ヲ行ヒ長期ノ賃借人ニハ永小作權設定ノ途ヲ開キタレハ企業者益々増加シ尙國有林野

ニ關シテハ目下處分方法調査中ニツキ拂下又ハ貸下ノ曉ハ頗ル有望地多ク近來集團地開墾ヲ企劃スル者出テテ本地方開發ノ曙光ヲ見ルニ至レリ然ルニ人口稀薄ナルヲ以テ開墾地ノ利用ヲ完全ナラシムル爲大正十年度以降開墾地移住獎勵費ヲ設置シテ開墾企業ヲ容易ナラシメ年々増加スル人口ト食糧政策トハ耕地開發並移殖民ニ據リ大ニ貢獻スル所アラムトシ昭和二年度迄ニ國庫補助金一萬九百六十圓ヲ得テ九十一戸ヲ建築シタリ今本年度内ニ出願ノ準備中及豫定地ヲ掲クレハ左ノ如シ

區別	地區數	施行面積		移住獎勵	
		開田	開畑	計	移住家屋 共同建造物
出願準備中	七	二二・九	四〇・二	六三・一	一
出願豫定地	二五	九七・〇	六一八・五	七一五・五	二五
計	三二	一一九・九	六五八・七	七七八・六	二五

二、耕地改良事業

縣内耕地面積ハ大正十四年度調査ニ依レハ六萬五千七百六十三町四反餘歩國土面積ノ二割八分強ニシテ其ノ内容左ノ如シ

田		畑		計	
一毛作田	二毛作田	休閑田	計	計	計
五、〇〇八・九 ^町	九二、四〇六・一 ^町	二八九・七七 ^町	七〇四・七 ^町	五八、〇五八・七 ^町	六五、七六三・四 ^町

然シテ本縣ニ於ケル耕地改良見込地ハ大正十三年五月調査ノ結果二千九百八十二町歩ニシテ田畑別面積ヲ左ニ掲ク

地區數	田	畑	計
九三	二、八六八 ^町	一一四 ^町	二、九八二 ^町

本縣ハ著シク他府縣ト氣候風土ヲ異ニシ主要作物ハ甘蔗甘藷ナルカ故ニ畑地ニ重キヲ置クノ傾アリ水田ハ海岸ニ近キ低濕地ニシテ直ニ畑地トシテ利用シ得ヘカラサル土地ヲ水田トシテ經營セラルルモノ多ク之等ハ水利交通等農地トシテ利用全カラサルモノ極メテ多キヲ以テ整理施行ノ緊要ナルハ言フ俟タスト雖モ本縣ニ於テハ漸ク大正五年始メテ整理工事ノ着手以來其ノ施行地區ハ灌排水交通及耕作等宜シキヲ得テ顯著ナル成績ヲ舉ケ本事業ノ有利ナルハ年々逐フテ認識セラル、ニ至レリ然ルニ本事業進步ノ遅々タルハ前項記載ノ土地制度ノ缺陷ト本縣氣候風土ハ生活ヲシテ簡單ナラシメ交通不便ニシテ海外トノ往來繁カラサル地理的關係ノ然ラシムル所ニ胚胎シ地力ハ時々ニ耕作占有スル農民ノ掠奪ニ依リ著シク荒廢ニ歸シ耕地ノ整理改善等顧ミルコトナク萬全ノ收穫ヲ舉ケ得サリシト雖地租條例實施後ハ土地利用ノ程度ヲ革新シ爾來時代ノ推移ニ伴ヒ文物進ミ交通開ケ人口亦最近年々五千二百人ヲ増加スルノ現況ニシテ茲ニ耕地改良事業ノ必要ヲ痛感セラレ着々實行ヲ見ルニ至リシハ縣勢ノ進展ニ齎ス效果蓋シ尠ナラサルナリ既墾地ノ整理改善ニ關シテハ耕地整理獎勵規程並同補助規程ヲ發布シ事業施行者ニ對シテ調査設計工事監督ノ施行ト工事費ノ補助金ヲ交付シ現今ニ至レリ其ノ間歲ニ

隆退アリト雖年ト俱ニ進ミ本年三月末ノ成績左ノ如シ

年度別	認可		濟費		工事完了		換地處分濟	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
自大正五年 至昭和元年末	四一、四四五	〇	六八〇、三九五	一八	三六八	〇	一一	三〇二
昭和二年中	七	七六・三	四七、八七〇	一	一	一	一	一
昭和三年中	七	一〇八六・四	三二四、二二二	一	一	一	一	一
(三月末現在)	計	五五二、六〇七・七	一、〇五二、四八七	一八	三六八・〇	一	一一	三〇二・〇

本縣ニ於ケル田地ノ改良ハ地勢上主ニ排水事業ニシテ平時排水不良ナルモノ千百町歩ヲ算シ次ニ潮害防備工事ナリ灌漑稻作期間短ク且ツ降雨分布状態宜シキヲ以テ特ニ施設ヲ要スヘキ所尠ナク而シテ道路ノ改善ハ勞力節減上緊要ナルヲ認メ事業ノ申請アルニ至レリ

耕地面積ノ約八割八分ヲ占ムル畑地ノ主要農作物タル甘蔗甘藷ハ從來本縣風土ニ最モ適應スルモ累年旱魃ニ基因スル被害甚大ナルモノアリ本縣ノ土地ハ隆起珊瑚礁ニ起因シ南限黒潮ノ衝路ニ所在スルヲ以テ古來風旱ノ害多クサレハ耕地ノ保護ヲ植林ニ依リテ保障スルヲ農政上ノ要諦トシタルモ時代ノ變遷ハ人口増加ニ伴ヒ食糧缺乏ヲ招來シ耕地擴張ノ必要ニ逼ラレ遂ニ今日ノ窮狀ヲ致セリ

本縣耕地ノ旱害ハ氣候風土ニ鑑ミ避ク可カラサルモノナルニ灌漑設備ヲ缺クハ農地施設中最モ缺陷トスル所ナリ由テ之カ施設ヲ適當ナラシメ食糧充實ノ大計ヲ樹テ農民生活ノ安定ヲ圖ルハ刻下喫緊ノ要

務ニシテ昨年旱害激甚ヲ極メタル地方ニ在リテハ被害耕地ヲ一圖トスル耕地整理組合ヲ組織シ救済セムカ爲既ニ改良工事中ノ一地區アリ其ノ他續々實施ヲ要望スルモ由來本縣ノ地勢タルヤ高岳大川ナク水利灌漑ノ便ヲ欠ケル地方多シサレハ水源ハ主トシテ溜池又ハ湧水地下水利用ノ方法ニ據ラサル可カラサルヲ以テ之カ施行ニハ多額ノ費用ヲ要シ目下農村經濟状態ハ疲弊困憊其ノ極ニ達シ僅少ノ勞力出資ヲ爲シ得ルモ自力ニ依ル旱害匡救ハ負擔過重ニシテ到底不可能ナルヲ以テ特別國庫補助金ヲ交付セラレサル限りハ改良耕進ヲ計ルコト困難ナルモノト認ム

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣耕地ノ擴張及改良事業ハ近年著シク隆盛ニ赴キタルモ漸ク其ノ緒ニ就キタルニ過キス將來一段ノ勸奨ニ努メスンハ本縣農業ノ振興ヲ計リ縣勢ノ發揚上一日ノ倫安ハ百年ノ大計ヲ誤リ悲惨ナル境遇ニ沈淪セサルヘカラサルヲ虞レ斯業ノ前途ヲ如何ニ發展セシムヘサカハ焦眉ノ問題ニシテ其ノ方途亦多々アリト雖モ要ハ耕地擴張ト既耕地ノ整理改善ヲ行ヒ耕地利用ノ程度ヲ更正シ以テ遺地遺利ノ資源開拓ニ善處スルヲ要諦トス

- 之カ對策ハ
- 一、既耕地ニ灌漑排水設備ヲ施行スルコト
 - 二、農道ノ改善増築ヲ計リ勞力ノ節減ニ努ムルコト
 - 三、開墾埋立干拓ニ依リ耕地擴張ヲ計ルコト
 - 四、農地保護ノ爲防風林潮害防備林ヲ設置スルコト
 - 五、本島ノ過剩人員ヲ人口稀薄ナル離島ニ移住セシムルコト

- 六、作物品種ノ改良及耕耘肥培管理ヲ改善シ增收ヲ計ルコト
以上ノ諸項施設ノ急務ナルニ鑑ミ將來ニ對スル指導獎勵ニハ現在執リツ、アル方針ヲ踏襲シ縣設備ヲ相當擴張シ一層斯業ノ勸獎ニ努力スルハ勿論進ムテ事業ノ促進ヲ企圖セムカ爲差當リ左ノ方針ニ據ラムトス
- 一、既耕地ノ改良ハ主トシテ水利交通ノ根本的改善ノ企劃ヲ獎勵シ其ノ規模大ニシテ施行困難ナルモノハ別途國庫補助金ニ據リ事業ノ促進ヲ圖ラムトス
- 二、集團未墾地ノ基本調査ヲ速成シ計畫ヲ公表スルト共ニ開墾事業ヲ勸獎セムトス
- 三、公有地ハ長期ノ貸付又ハ拂下手續ヲ採ラシメ國有林野ノ開墾適地ハ急速ニ處分ヲ受ケムトス
- 四、開墾地移住ノ獎勵並移民誘致斡旋ニ努ムトス
- 五、工事後ノ耕地利用ニ對シ充分指導方法ヲ採ラムトス
- 六、縣財政ハ窮迫シ一般緊縮ニヨリ補助金ハ減少シツ、アルモ將來ニ於テ財政ノ許ス限リ増額交付セムトス
- 七、地方經濟狀況ハ事業資金ヲ潤澤ニ仰カサル限リハ到底事業ヲ完成シ得サルヲ以テ所要資金ヲ配給シ事業遂行上蹉跌ナカラシメムトス

地方提出事項

(本件ハ提出地方ノ説明アリタル後本省及地方ヨリ之ニ對スル意見希望等ヲ陳へ審議セリ)

第一 大規模開墾計畫ニ關スル件

茨城縣提出

大規模開墾ハ全國ニ涉リ各府縣普遍的ニ施行セラレ全部又ハ主要工事ヲ國營ニテ施行セラレタキコト而シテ規模中庸ノモノハ其ノ主要工事ヲ縣ニ於テ全部施行スルコトトシ若シ縣ニ於テ爲ス場合ハ其ノ事業費ニ對シ五割乃至七割(少クトモ五割以上)ノ國庫補助ヲ仰キタク尙前項ノ場合ニ於テ縣ニ於テ調査スル場合其ノ調査費用ニ對シテモ相當補助金交付セラレタキコト

石川縣提出

- 一、五百町歩以上ノ開墾地ニ對シテハ主要工事一切ヲ國ニ於テ施行シ耕地擴張ヲ容易ナラシムル爲若シ國有地ナルトキハ之ヲ無償ニテ府縣又ハ町村ニ交付セラレンコトヲ望ム
- 二、大規模開墾及用排水幹線改良ノ調査計畫ハ各府縣ノ人員及豫算額ヲ以テハ到底完全ナル調査ヲ望ム能ハス又農林省ニ之ヲ依頼スルモ現在ニ於テハ速ニ調査ノ恩惠ニ浴スル能ハス爲ニ時機ヲ失スル嫌アルヲ以テ事業ノ敏活ヲ期スル上ニ於テ內務省土木局出張所ノ如ク數府縣ヲ統轄スル出張所ヲ設置アリタキコト

福岡縣提出

大規模開墾計畫實行調査ハ斯業ノ普及獎勵上地方分布ノ關係ヲ考慮シ選定セラレタシ
長崎縣提出

制限面積ヲ本縣ノ如キ地勢ニハ百町歩ニ低下セラレルト共ニ特殊工事(水源設備)ヲ國營トスルコト

第二 開墾助成ニ關スル件

宮城縣提出

開墾事業ニ付テハ低利資金ヲ十分配給セララルト共ニ開墾助成率ノ増加而シテ大規模ノ開墾ハ國營ヲ
以テ速ニ實施セラレ斯業ノ促進ヲ期セラレタキコト

秋田縣提出

一、開墾助成金ノ一時補助並助成率ノ増加ニ關スル件

現在ニ於テハ利子補給ノ目的ヲ以テ支出シタル開墾事業費ニ對シ年六分ニ相當スル助成金ヲ一定ノ年
限内ニ交付セララルコト斯業獎勵上大ナル恩典ナリト雖元來開墾事業ハ資金多額ヲ要シ其ノ調達容易
ナラス場合ニヨリ或ハ高利ノ資金ヲ借入レ事業ヲ經營シタル結果其ノ償還ニ付著シキ困難ニ陥ル事例
ニ乏シカラス又事業費ノ償還ハ長期間ニ涉ルヲ以テ其ノ間經濟界ノ變遷ニ伴ヒ種々ノ事項發生シ其ノ
獎勵上頗ル支障アルカ如キヲ以テ事業費ノ大部分ヲ占ムル水源工事費ニ對シテハ用排水幹線改良事業
費國庫補助ノ例ニ依リ其ノ支出シタル經費ニ對シ一時ニ五割ノ助成金ヲ交付シ其ノ他ノ事業費ニ對シ

テハ助成率ノ六分ヲ八分ニ變更セラレムコトヲ望ム

山形縣提出

一、現下ノ地方金融狀態ハ最低利率タル日本勸行銀行資金借入ニ於テ年利七分六厘ヲ下ラス其ノ他ノ
資金ニ於テハ年利一割乃至一割五分ノ高利率ナリ然ルニ助成法ニ依ル助成率ハ百分ノ六ニシ事業資
金ニ對スル利子補給ノ主旨ニ副ハサルノ憾アリ依而助成率ヲ百分ノ八ニセラレ尙水源並幹線工事ノ
如キ特殊ノモノニ對シテハ事業着手ノ翌年度ニ於テ五割以上ノ助成補助相成度

二、助成工事期間及助成期間ノ延長

助成工事ノ進捗ニ伴ヒ開墾助成取扱順序ニ定メラレタル工事期間内ニ於テ實施シ得ル見込箇所ヲ得ル
ニ漸次容易ナラサルノミナラス現ニ助成期間延長ヲ出願スルモノ續出スルノ傾向アリ而シテ工事期間
ノ延長ヲ承認セララルモ助成加算期間ニ對スル恩惠ナキハ遺憾ナリ故ニ此ノ際工事ノ標準年度及助成
加算期間ヲ延長セラレ度

茨城縣提出

一、開墾助成率ヲ百分ノ八ニ増額ノ改正ヲスルト同時ニ特殊ノ工事ニ對シテハ毎年工事費ノ四割ノ補
助ヲ爲シ以テ企業ノ確實安定ト事業ノ促進ヲ圖ラレタキコト

二、公有水面埋立干拓並國有林野貸下地及豫約開墾地等他官廳ノ許可又ハ認可ヲ受ケタル土地ニ於テ
開墾ヲ爲ス場合ハ其ノ工事施行期間ト助成工事期間ト一致セサルモ助成認可ノ詮議相成タキコト

富山縣提出

開墾助成法改正ニ關スル件

近時開墾事業ハ米價ニ比シ勞賃及諸物價高ク不振ノ状態ナルヲ以テ開墾助成法ヲ改正シ事業ノ決算ニ依リ年々五割ノ助成金ヲ一時ニ交付スル様速ニ改正セラレムコトヲ望ム尙助成地區ノ面積ヲ一町歩ニ低下シ助成法ノ恩典ニ浴セシムル様改正アラムコトヲ望ム

石川縣提出

- 一、開墾助成法施行規則第一條ノ施行面積五町歩以上ヲ三町歩以上ニ擴張シ本縣ノ如キ集團的ノ開墾適地過少ナル土地ニ對シ此ノ恩惠ヲ均霑セシムル様改正ヲ望ム
- 二、開墾助成法取扱順序第十項工事期間標準表ノ年限ヲ何レモ各二箇年宛延長農村不振ノ際容易ニ其ノ目的ヲ達成セシムル様斯業獎勵ノ爲改正アリタキコト

長野縣提出

- 一、氣象上各期間工事不能ノ開墾助成地區ニ對シテハ特ニ工事期間並助成期間ノ延長ヲ認メラレタキコト
 - 二、開墾助成事業ニ關シ事務職員ヲ府縣ニ配置セラレタキコト
- 兵庫縣提出
- 五町歩未滿ノ開墾助成事業ニ對シテモ開墾助成法同様ノ助成ヲ行フコト
- 理由 五町歩ノ開墾ハ小面積ナルカ加クナルモ事實之カ施行者トシテ五町歩ノ開墾計畫ハ困難ナルモノアリ寧ロ五町歩以下ニ於テ之ヲ獎勵スルニ至ラハ其ノ速進極メテ容易ナルモノアリト認ムル次第

ニ付其ノ制限ヲ一町歩位ニ低下セララルカ或ハ五町歩未滿ハ國庫及縣ニ於テ開墾助成法ト同様ノ恩典ヲ與フル法規ノ制定ヲ望ム

島根縣提出

- 一、開墾助成法第一條ニ規定スル事業ヲ行フ者ニ對シテハ將來事業ノ爲支出シタル金額ノ二分ノ一以内ノ助成金ヲ交付スルコトニ同法ヲ改正スルコト
- 二、開墾助成法施行規則第一條中（施行面積五町歩以上）トアルヲ（施行面積一町歩以上）ト改正スルコト

岡山縣提出

開墾助成金ハ事業費ニ對スル四割ヲ國庫ヨリ一時ニ交付スル様改正セラレタシ
理由 現行制度ニ依ル助成金ヲ通算スレハ事業費ニ對シ相當ノ多額トナルヲ以テ寧ロ之ヲ一時ニ交付スルニ於テハ資金ノ調達難ヲ緩和シ負擔ノ輕減ヲ顯著ナラシメ事業施行ニ一層大ナル效果アルヘキモノト思料スルニ依ル

廣島縣提出

- 一、開墾助成金ヲ毎事業ノ爲支出シタル決算ニ依リ一時ニ交付セラレムカ事業資金ノ逼迫（開墾地ノ素地價格低廉ナル爲事業資金ノ調達頗ル困難ナル實情ニ在リ）ヲ緩和シ事業促進上ニ資スル所尠カラサルヘシ之ニ關シ相當法規ノ改正アラムコトヲ望ム
- 二、開墾助成金ノ交付ヲ受クヘキ事業ハ施行面積五町歩以上ノモノニ限定セラレアルモ本縣ノ如キ山

岳重疊タル地勢ニ在リテハ廣大ノ區域ニ亘ル施行ヲ見ルコト能ハス寧ロ五町未滿ノ小面積ト雖獎勵スルノ要アルヲ以テ助成法適用最低面積ヲ一町步ニ低下スル様改正アラムコトヲ望ム

香川縣提出

一、開墾助成法ニ依ル助成地區ヲ三町步以上ト改正セラレタシ

理由 本縣ノ如キ小規模ノ開墾ニ對シテハ恩典ニ浴スルモノ少キヲ以テ本件提出

二、開墾助成法ニ依ル助成率ヲ相當増額セラレタシ

理由 開墾事業ハ相等事業費ヲ要シ其ノ割合ニ土地利用善良ナラサルヲ以テ本件提出

福岡縣提出

一、豫算ノ關係上指令ノ交付著シク遅延スル場合ハ假指令ヲ交付セラレタシ

二、工事期間標準表中三百圓以上トアルヲ五百圓未滿ニ改メ尙五百圓以上ノ一項ヲ加ヘ之ニ對シ各一箇年ノ年數ヲ附與セラレ度シ

佐賀縣提出

開墾助成金請求金額ニ對シ農林省ニ於テ査定セラレタル場合ニ於テハ其ノ査定ノ内譯ヲ示達セラレタキコト

説明 開墾助成金請求金額ヲ査定交付セラレタル場合ニ於テハ如何ナル費目ニ對シ査定セラレタルヤ

不明ニシテ其ノ内容事由ニ付知ルニ由ナシ依テ將來之カ検査等ノ場合ニ參考ニ資シ萬全ヲ期スル上ニ於テ其ノ内容悉知ノ必要アルニ依ル

長崎縣提出

一、助成率ヲ年八分以上ニ増加スルコト

二、開墾助成工事期間ノ標準ハ反當事業費三百圓以上ハ總テ同一ナリ本縣ノ如キハ地勢ノ關係上開田費高額ナルモノ多ク所定ノ標準期間ニ於テハ工事ヲ完了スル事困難ナルヲ以テ反當四百圓以上ノモノニ對シ更ニ期間ノ延長ヲ認メラルル様標準表ノ改正ヲ行ハレタキコト

第三 土地利用計畫ニ關スル件

山形縣提出

開墾事業ノ機運ハ時期ヲ失スル時ハ企業ノ時期容易ニ再來スヘキモノニ非ス故ニ地方民ノ希望アリ且事業有利ナルモノハ可成速カニ調査セラレ度尙該調査設計ハ可成實施設計書ヲ交付セラレ度

茨城縣提出

土地利用調査計畫ニ關シテハ其ノ效果ヲ促進顯著ナラシメンカ爲農林省ニ於テ尙一層精密ナル調査ヲ施行セラレタキコト

石川縣提出

府縣ヨリ土地利用見込地調査ノ爲技術官ノ派遣方ヲ申請スルモ現在農林省ノ該設備ニ於テハ速ニ府縣ノ要望ニ應スル能ハサル状態ナルヲ以テ往々地許ニ於ケル絶好ノ機運ヲ逸シ爲ニ不成立ニ終ルコト尠カラス依ツテ調査班ノ設備擴張ヲ望ム

福島縣提出

開墾事業ノ有利ナルモノハ速ニ調査シ調査計畫書ハ實施計畫程度ノモノトセラレタシ

第四 開墾地移住及經營ニ關スル件

山形縣提出

開墾地移住獎勵金ノ交付ヲ受クル府縣ハ大正十五年五月農第五五四三號開墾地移住獎勵ニ關スル通牒中第四項ニ基キ必要ナル書類ヲ添附シ農林大臣ニ補助金交付ノ申請書ヲ提出シ認可ヲ受ケ更ニ第五項ニ依リ補助金交付ノ指令ノ認可ヲ受クルコトト相成居ルモ斯クテハ手續ノ繁雜ニシテ且補助金交付ノ敏捷ヲ期シ難キヲ以テ第五項ノ事項ヲ適當ニ改正シ知事ニ於テ決算交付シ得ラルル様改正セラレタシ
茨城縣提出

移住家屋獎勵金交付ニ付地方費ノ負擔ナキ場合ニ於テモ年々相當戸數ニ對シ國庫ヨリ確定的ニ補助セラレタキコト

長野縣提出

開墾地移住者ニ對シテハ各府縣共相當年限家屋稅免除セララルル様御配慮アリタキコト

島根縣提出

開墾地移住獎勵ノ爲府縣ニ對シ交付セララルル補助金ハ將來政府ヨリ直接事業者ニ交付スルコト

長野縣提出

五十町歩以上ノ開墾地ノ土地經營費ニ對シ補助制定セラレタキコト(熱田トナルマテ)

宮崎縣提出

開墾地移住者自作農創定ノ爲縣町村又ハ組合等ニ對シ土地購入ニ要スル低利資金ノ貸與アラムコトヲ望ム

第五 用排水幹線改良事業ニ關スル件

宮城縣提出

用排水幹線改良事業ハ主務省ニ申請スルモ迅速ニ實施セラレサルヲ遺憾トス之カ經費ヲ充實セラレ地方ノ要請ヲ達成セシメラレタキコト

山形縣提出

一、用排水幹線改良事業補助ハ受益面積五百町歩以上ニ限定セラレアルモ地方ノ實情ヨリ見テ容易ニ計畫實施シ得サルノ状態ニアリ故ニ右面積ヲ三百町歩以上ニ改正セラレ度

二、用排水幹線改良事業施行部分ニシテ不可抗力ノ爲災害ヲ受ケタル場合ハ其ノ復舊費ニ對シ補助ノ道ヲ講セラレ度

三、用排水幹線改良事業ニシテ耕地整理組合ニ於テ施行スル場合府縣カ之ニ補助スル場合ニモ國庫補助金交付セラレ度但シ面積百町歩以上トス

四、本事業ノ促進ヲ期スル爲調査班ヲ増設セラレ度

茨城縣提出

元來用排水幹線改良事業ハ府縣營ヲ以テ經營スルモノニ對シテ國庫ヨリ補助セラレツツアルモ今後ハ府縣營ニアラサル公共團體ニ於テ事業ヲ施行スル場合ニ在リテモ同様補助セラレタキコト

神奈川縣提出

農林省所管用排水幹線改良事業施行ニ關シ事業ノ體系ヲ明ニスル法令ヲ發布シテ事業ノ進捗ヲ圓滑ナラシムルコト

說明 農林省所管用排水幹線改良事業ニ關スル事務ト内務省所管河川ニ關スル事務トノ權限關係ニ付曩ニ閣議ヲ以テ「用排水改良事業カ河川ニ重大ナル影響アル場合ハ農林省ヨリ内務省ニ合議ノ上決定スルコト」ニ相成居由ナルモ從來内務省ハ河川法ヲ施行若ハ準用セサル河川ニ關スル諸法令ヲ制定シ用排水改良事業ノ殆ント全部ヲ事ノ輕重大小ヲ論セス河川ノ改良工事ナリトシ種々指揮監督ノ任ニ當リ爲ニ無用ナリト思料セラルル繁雜ナル事務ヲ生シ事業進捗上甚タ遺憾トス

惟フニ閣議決定ハ河川法ヲ施行若ハ準用スル河川ノミヲ指稱セルモノト認メラレ水流ノ如キ如何ナルモノタルヲ問ハス内務省ノ所管トスヘキ意志ニ非ラサルモノト推測スルニ難カラス即其ノ文面上ニアル如ク河川ニ重大ナル影響アル場合ニ限リ内務省ト合議ヲ要シ然ラサル場合ハ内務省ノ監督ニ依ラヌシテ農林省ノ單獨ノ意見ヲ以テ事業進行相成様農林省ニ於テ適當ナル法令ヲ發布シ該事業ノ體系ヲ明示スル必要アリ

石川縣提出

一、該補助要項受益面積五百町歩ヲ三百町歩ニ低下スルノ意見ハ從來屢々起リシ問題ニシテ本縣ノ如キ三百町歩以上ノ支配面積ヲ有シ改良ノ必要ヲ認メツツアルモノ比較的多キ所ニアリテハ是非共其ノ低下ヲ望ムモノナリ

二、縣營用排水幹線改良事業ノ母體タル耕地整理以外ノ團體即チ水利組合ノ町村等ニ對シテモ低利資金融通ノ途ヲ講セラレタキコト即チ之等ノ團體ハ通常該事業ノ爲府縣ニ寄附金ヲ納入スルモノニシテ尤モ水利組合ノ如キニ在リテハ其ノ所算内務省ニ屬シ監督上寄附ノ爲ニ要スル起債ハ可成避クル主旨ナル由ナルモ用排水幹線改良事業ノ實際ハ地許團體ノ事業ナルヲ以テ其ノ施行ヲ容易ナラシム爲他省ト折衝シ之カ實現ニ努メラレタキコト

兵庫縣提出

用排水幹線改良事業ニ或程度迄河川ノ改良ヲ認ムルコト

理由 本年四月六日土木局長ノ通牒ニ依ルトキハ河川自體ノ改良ノ如キハ用排水幹線改良事業トシテ認メサル越意ノ如シ

果シテ然ル時ハ農業水利改良ノ實現到底望ムヘカラス今ヤ農村振興又ハ食糧問題解決ノ急務ナル秋ニ際シ甚タ遺憾ナルヲ以テ或程度迄河川ノ改良ヲ用排水幹線改良事業トシテ施行出得ル様内務省ト協定セラレンコトヲ望ム

島根縣提出

用排水幹線改良事業補助要項改正ニ關スル件

用排水幹線改良事業補助要項第二號中（耕地五百町歩以上）トアルモ（耕地三百町歩以上）ト改正スルコト

岡山縣提出

用排水幹線改良事業補助要項第二項ノ五百町歩ヲ三百町歩ニ改正スルコトヲ望ム

理由 現行要項ニ依ル五百町歩ハ當縣地方ノ實際ニ照シ過大ニ失スル嫌アリテ此ノ特典ニ漏ルルモノトカカラサルノミナラス實際企業ニ當リ面積ヲ縮少スルノ便宜トスル場合モ少カラサルニ由ル

香川縣提出

用排水幹線改良事業國庫補助ハ受益地五百町歩以上トアルヲ三百町歩以上ト改正セラレタシ

理由 本事業ハ大府縣ニ利益多ク小府縣ニ於テ利益少キヲ以テ利益均等ヲ欠クモノナルヲ以テ本件提出

福岡縣提出

用排水幹線改良事業ノ普及獎勵ヲ期スル爲制限面積五百町歩以上ヲ二百町歩以上ニ改メラレタシ

長崎縣提出

府縣ノ地勢ニ適應スル標制限面積ノ低下方ヲ取計ハレ度コト

宮崎縣提出

百町歩以上ノ用排水改良事業ヲ營ム耕地整理組合ニ對シ相當ノ國庫補助アランコトヲ望ム

第六 農業水利改良計畫ニ關スル件

山形縣提出

農業水利改良計畫ノ爲府縣ニ於テ特ニ其ノ施設ヲナシタル場合ニ其ノ經費ニ對シ相當ノ補助交付相成度

茨城縣提出

農業水利改良計畫ニ對シテハ其ノ實施ヲ促進セシメムカ爲農林省ニ於テ尙一層綿密ニ調査ヲ施行セラレタキコト

第七 耕地整理ニ關スル件

山形縣提出

暗渠排水事業獎勵

暗渠排水事業ニ對シ縣ニ於テ補助ヲ交付スル場合ニ於テモ耕地整理工事補助同様國庫補助ヲ交付セラレ度

茨城縣提出

一、國有地無償交付手續ニ關スル件

耕地整理法第十一條ニ依ル國有地ノ無償交付手續ハ從來知事ヨリ雜種財産法ニ依リ稅務監督局長ニ協議ノ上其ノ同意ヲ得テ之カ處分ヲ爲シツツアルモ今後事務簡捷ノ爲耕地整理地區ニ編入シタル國有地ハ知事ニ於テ處分ヲナシ其ノ結果ヲ稅務監督局長ニ通知スルニ止ムル様農林省ヨリ大藏省ニ交渉セラレタキコト

二、整理施行地ノ賃賃價格ニ關スル件

耕地整理施行地ニ對スル地租額ハ土地賃賃價格調査ノ結果其ノ地租總額カ元地租總額ヨリ増額ノ場合ト雖既ニ現行法ニ依リ地租増額セサルヘキ恩典ナルヲ以テ該恩典ヲ歿却セサル様相當規定ヲ設ケラレタキコト

三、組合費等滯納處分ニ關スル件

現行法第七十九條ニ依リ組合員ニシテ第三十條第一項第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢又ハ延滯利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘキ規定ナルモ之ヲ耕地整理組合長ニ於テ處分シ得ル様改正セラレタキコト

四、設計書例ニ關スル件

耕地整理及開墾ノ設計書例ヲ統一スル様法規ヲ改正セラレタキコト

神奈川縣提出

耕地整理ニ伴フ市町村ノ境界變更及市町村内ノ大字、字ノ區域變更又ハ大字、字名ノ改稱ニ關スル手續ヲ一層簡易ナラシムルコト

說明 耕地整理ニ伴フ區域變更又ハ字名改稱ハ換地處分地價配賦及耕地整理登記ノ中間手續ニ過キサ

ルヲ以テ市町村内ノ大字若ハ字ノ區域變更ニ限リ所轄稅務署長ハ土地臺帳上區域變更ノ記載及土地分割ノ手續ヲ省略シ唯土地臺帳ニ其ノ事由ヲ記載スルニ止メ以テ事務處理ノ簡捷ヲ期シタリト雖尙繁雜ニシテ工事完了後事務ノ進捗ヲ阻碍スルモノ不尠因テ之カ手續ヲ一層簡易ナラシムル方法ヲ講セラレタシ

三重縣提出

國營又ハ府縣營トシテモ耕地整理ヲ施行シ得ル様耕地整理法ヲ改正セラレムコトヲ望ム
理由 用排水幹線改良事業ノ如キハ耕地整理法第一條記載ノ事項ノ一タルヲ失ハサルニ拘ラス府縣營ノ耕地整理ナラサルカ爲ニ敷地ハ買收セサルヘカラサルノ煩アリ又不用ニ歸シタル土地ハ買却セラ

廣島縣提出

耕地整理獎勵ニ關スル件
耕地整理及土地改良獎勵規則ニ依ル補助金ヲ相當増加セラレルト共ニ災害ニ依ル荒廢耕地復舊事業並暗渠排水事業ニ對シ特別高率ノ國庫補助交付ニ關スル規程ヲ制定セラレ耕地事業ノ進展上遺憾ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

福岡縣提出

耕地整理及土地改良獎勵費規則第二條ノ國庫補助金ヲ更ニ増額セラレタシ
佐賀縣提出

一、耕地整理法第一條第一號中「揚水機ノ設備」ノ六字ヲ加ヘルコト

說明 用水路等ノ變更廢置ニ伴フ揚水機ノ設置ニ關シテハ第一條第一號中明文アリ耕地整理事業トシテ取扱ハルヘキモ用水路等ノ變更廢置ニ伴ハサル揚水機ノ設置ニ關シテハ同號中明文ナク耕地整理事業トシテ施行スルヲ得ス然レ共用水路ノ改良ヲ爲サスシテ單ニ揚水機ノ設備ヲ爲スモ灌溉ノ用途ヲ遺憾ナク發揮シテ土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スルコトニ於テ差異ナク現ニ本縣ニ於ケル之カ成績ニ呈スルモ明カナリ故ニ法ハ獎勵上ヨリシテ之ニ對シ恩典ヲ附與スルヲ相當ト認ム

二、耕地整理法第二條ノ二中「國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者」トアルヲ「國有林野法ニ依ル貸付又ハ使用ノ許可ヲ受ケテ法第一條該當事項ヲ行フ者若ハ國有財産法ニ開拓又ハ干拓ノ豫約事業者」ト改ムルコト

第二條ノ三中「官有地取扱規則」トアルヲ「公有水面埋立法」ト改ムルコト
說明 國有林野中豫約開墾ニ關スル條項及官有地取扱規則ハ國有財産法實施ト同時ニ廢止セラレタルカ故ニ本件ニ關聯スル條項ハ消滅セルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テ耕地整理法中ノ規定ノ改正ヲ要スヘシ

即チ國有林野法ニ依リ貸付使用ノ許可ヲ受ケタルモノニシテ耕地整理法第一條該事項ヲ行フモノ及

國有財産法ニ依ル土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ノ豫約事業者モ亦耕地整理施行者又ハ組合員ト爲ルコトヲ得セシムル必要アレハナリ

官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許可トアルモノハ公有水面埋立法ニ依ラサル可カラサルモノナルカ故ニ法モ亦改正ノ必要アリ

三、整理施行者ヨリ耕地整理法第十四條第十五條ニ依ル地價修正設定並同法第十三條ニ依ル地價配賦ノ申請ヲ爲シタル場合ニハ所轄稅務署ニ於テ直ニ之カ決定ヲ爲ス様本省ニ於テ大藏省當局ヘ交渉方ヲ要望スルコト

說明 整理施行者ヨリ耕地整理法第十四條及第十五條ノ規定ニ依ル地價修正、設定ニ關スル書面ヲ同法施行規則第十二條ノ二ニ依リ所轄稅務署長ニ差出シタル場合之カ決定ヲ遅延セシメラルルニ於テハ其ノ修正並設定ニツキ未決定ノ爲同法第十三條ノ規程ニ依ル地價配賦申請書ノ作製ヲ爲ス能ハス隨テ其ノ申請不能ノ爲地價配賦事務ノ滯留ヲ來スニ依リ之カ促進ヲ計ル必要アルニ由ル尙耕地整理法第十三條ノ規定ニ依ル地價配賦ヲ爲シ同法施行規則第十六條ニ依リ所轄稅務署長ニ地價配賦申請ヲ爲シタル場合之カ決定ヲ遅延セラルルニ於テハ地區内土地所有者間ニ於テ利害關係ヲ生シ土地所有權ノ得喪並權利ノ設定等ノ手續ヲ要スル事件發生シタル場合之カ手續ヲ爲ス能ハス土地所有者ノ迷惑カラサルヲ以テ之カ促進ヲ計ラムトスル所以ナリ

長崎縣提出

一、改良事業ニ對シテモ特殊ノ補助方策ヲ購セラレタキコト若シ然ラサル場合ハ特ニ低利資金増配貸

付ノ特例ヲ設ケラレタキコト

二、耕地整理法又ハ開墾助成法ノ適用ヲ受ケルト否トニ關セス耕地ノ擴張改良ノ何レヲ問ハス府縣ニ於テ直接水源設備ヲナス場合（受益面積ノ廣狹ニ關セス）現行ノ用排水幹線改良事業國庫補助要項ニ準シ國庫ヨリ補助金ノ交付ノ途ヲ講セラレタキコト

三、海面埋立ニ關スル件

説明 海面埋立ニ關スル耕地擴張ハ所管省ヲ異ニシ事業施行上遺憾ノ點尠カラス故ニ此ノ種ノ事業ニ對シテハ耕地整理ノ施行認可ヲ以テ埋立ヲモ同時ニ許可セサルモノトシテ認メラルル様特例ヲ設ケラルル様取計ハレ度事

島根縣提出

國庫補助金増額ニ關スル件

耕地整理及土地改良獎勵費規則ノ規定ニ依リ道廳府縣ニ對シ交付セラルル補助金ハ過少ナルヲ以テ將來相當増加交付スルコト

茨城縣提出

耕地整理及土地改良獎勵費規則ニ依ル補助ヲ増加スル件

耕地整理及土地改良獎勵費規則ニ依ル補助金ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付セラルル結果其ノ補助金ハ年々一定セサルノミナラス甚少額ナルモノノ如シ時ニ歲入豫算ニ缺損ヲ生スル等事業遂行上甚遺憾トスル所ナリ故ニ政府ニ於テハ斯業獎勵上補助金額ヲ増額スルト共ニ其ノ補助率ヲ定メ以

テ補助金ヲ交付セラレタキコト

兵庫縣提出

内訓第十一項ノ各工事費五千圓ヲ一萬圓ト改正セラレタキコト

理由 歐州戰亂以來諸物價昂騰シ一廉五千圓以上ニ及フモノ極メテ多數ニ達スル狀況ニ付テハ事務ノ簡捷上之カ改正ヲ望ム

千葉縣提出

一、耕地整理法第一條第一號中「溜池」ノ次ニ「堰止揚水機」ノ五字ヲ挿入セラレ度法ノ改正ヲ望ム

理由 近時灌溉排水ノ事業トシテ堰止及揚水機ヲ單獨ニ施設セルモノ多キニ至レルニ現行耕地整理法ニ依レハ他ノ事業ニ伴ハサレハ耕地整理事業トシテ認メ難キ現狀ニシテ不適當ト認ムルニ依ル

二、大正元年第三一二號大臣内訓第十一項中「百町歩」トアルヲ「二百町歩」ニ「五千圓」トアルヲ「一萬圓」ト改正アリ度

理由 輓近耕地整理事業ノ普及發達ニ伴ヒ右範圍ハ地方廳ニ委任スルヲ適當ト認メ其ノ執行ニ付テハ敢テ支障無シト信ス

敢テ支障無シト信ス

三、國有地ヲ耕地整理施行地區ニ編入取扱ニ關シ其ノ手續ノ簡捷ヲ期セラレ度
理由 耕地整理法ニ依リ河川堤塘溝渠其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ヲ耕地整理地區ニ編入シ又ハ該地區内ニ開設スル等ノ場合ニ於テ他ノ法律命令又ハ訓令等ニ依リ工事又ハ其ノ他ノ行爲ニシテ許可若ハ設可ヲ受クヘキモノハ總テ其ノ手續ヲ履行スヘキ旨内務次官ヨリ地方長官宛通牒ノ次第アルモ如

斯ハ手續ノ繁雜ヲ來スハ勿論耕地整理法ノ精神ヲ減殺スルコト甚シ依テ主務省ト協議セラレ之カ改善ヲ期セラレ度

(參考)

發土第六七號

大正十一年七月二十六日

地方官宛

內務次官

國有地ヲ耕地整理施行地區ニ編入取扱ノ件

大正十一年七月二十五日訓令第十五號ヲ以テ國有地ヲ耕地整理施行地區ニ編入ノ認許ニ關スル件訓令相成候處耕地整理法ニ依リ河川堤塘溝渠其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ヲ耕地整理施行地區ニ編入シ又ハ該地區内ニ之ヲ開設スル等ノ場合ニ於テ他ノ法律命令又ハ訓令等ニ依リ工事又ハ其ノ他ノ行為ニシテ許可若クハ認可ヲ受クヘキモノハ總テ其ノ手續ヲ履行セラルヘキ筈ニ有之又河川法施行ノ河川及其ノ附屬物ノ敷地ハ私權ノ目的ト爲スコトヲ得サルヲ以テ耕地整理施行地區ニ編入スルコトヲ得サル義ニ候條右様御承知相成度

四、耕地整理及土地改良獎勵費補助額増加ノ件

耕地整理及土地改良獎勵費補助金中工事又ハ設備ニ要スル費用ニ對スル補助金ヲ百分ノ二十以上ニ増額セラレンコトヲ望ム

理由 從來ノ補助金ハ縣費支出額ニ對シ百分ノ四内外ニ過キササルヲ以テ目下ノ縣財政ニ於テハ到底多額ノ補助金ヲ支出スルニ困難ナル状態ニアルノミナラス一面農村經濟ノ狀況ハ甚シク不振ヲ來シ爲ニ有利ナルヘキ改良事業モ之カ實施ヲ躊躇スルノ傾向ニアリ故ニ此際國庫補助金ノ増額ヲ受ケ事業費ノ輕減ヲ圖リ之カ事業ノ促進ヲ期セント欲ス

第八 事業資金ニ關スル件

山形縣提出

低利資金増額配給ニ關スル件

耕地擴張及農業水利改良事業資金ノ調達ハ頗ル困難ヲ來シ事業促進上遺憾ナリトス故ニ地方ニ於テ要望スル金額低利資金ノ配給セラルル様セラレ度
茨城縣提出

一、低利資金増額ニ關スル件

耕地ノ改良擴張ハ人口及食糧問題ニ關スル國家的重要ナル事業ナルニモ拘ハラス從來低利資金供給ノ割合少キハ甚タ遺憾トスルトコロナリ近時簡易生命保險積立金ヲ運用シ得ルノ途開カレ較々之ヲ緩和スルヲ得タルノ状態ナルモ是亦運用十分ナラス從テ企業者ハ高利ノ資金ヲ借入レ事業費ニ充當スルノ情况ニシテ事業發展上支障ヲ來スノ虞アルヲ以テ將來ハ新事業所要額ニ對シ全部供給シ得ル様増額供給ノ途ヲ開カレタキコト

二、舊借替ノ償還期限ヲ起債ノ狀況ニ依リ延長スルノ件

當初長期ノ年賦借入ヲ爲スノ目的ヲ以テ事業ノ經營ヲ企テタルモ年賦金ノ借入ヲ爲シタルモノノ如キハ之カ借替ヲ爲スニ當リテハ償還期限ヲ延長シ得ルノ途ヲ開カレタキコト

三、事業資金借入ニ關スル件

地方提出事項

從來公有水面埋立又ハ干拓事業ノ資金ニ付テハ日本勸業銀行ニ於テハ往々資金ノ供給ヲ肯セサルノ傾向アリ斯クテハ事業ノ發展ヲ阻碍スルノ虞ナシトセス今後該資金ノ供給方圓滑ナラシムル様農林省ニ於テ相當配慮相成リタキコト

石川縣提出

第五用排水幹線改良事業ニ關スル件記載ノ第二項參照

長野縣提出

一、耕地整理事業資金五萬圓以内ハ農工銀行ニ於テ直接貸付ケヲ爲シ得ル様資金取扱手續ヲ改正セラレタキコト

二、耕地整理事業資金ノ貸付利率ヲ低下セラレタキコト

三、簡易生命保險積立金ノ貸付ハ引續キ實行シ之カ貸付利率ハ耕地整理事業資金ト同一ニセラレタキコト

兵庫縣提出

耕地整理事業資金ノ配當期ヲ早メラレタキコト

理由 從來耕地整理事業資金ヲ本省ヨリ配當ヲ受クルハ大體十一月以降ナルヲ以テ整理施行地區カ現金ノ授受ヲ終ルニハ年度末若ハ夫レ以降トナリ事實資金ノ需要時期ヲ失シ爲ニ一時高利債ノ借入ヲ爲スノ止ムナキ事例ヲ不尠ヲ以テ晚クモ六、七月頃ニ本省ノ配當ヲ決定セラレムコトヲ望ム

島根縣提出

事業資金ノ供給範圍ヲ擴大シ事業經營費ノ外新ニ開墾地移住家屋及共同建造物ノ建築費及開墾地經營ニ必要ナル機械器具ノ購入費等ニ對シテモ供給ノ途ヲ講スルコト

廣島縣提出

一、耕地整理事業ニ對スル簡易保險積立金貸付利率ハ自作農創設維持及農業倉庫等ニ對スルモノニ比シ高率ニシテ且供給額過少ト被認耕地整理事業カ農村社會問題ノ解決上ニ重大ナル使命ヲ有スルニ鑑ミ相當利率ヲ低減シ供給額ヲ増加スル様主務省ニ折衝アラムコトヲ望ム
二、耕地整理事業組合資金ハ勸銀ノ支店ナキ府縣ニ於テハ農銀ノ代理貸付ニ依ル爲利率比較的高率トナルヘケレハ融資方法ヲ大正十三年ノ早害救濟資金ノ例ニ倣ヒ相當改正シ貸付利率ノ低減ヲ圖ラレムコトヲ望ム

長崎縣提出

配當ヲ潤澤ナラシムルト共ニ各年ノ配當差ヲ或程度迄均定スル様取計ハレタキコト

宮城縣提出

耕地整理事業ニ付テハ低利資金ヲ潤澤ニ配給セラレタキコト

千葉縣提出

耕地整理事業ノ企畫實行漸ク擴張シツツアリト雖之カ資金ノ供給不充分ナル爲自然地方高利債ニ求ムルノ現況ニシテ其ノ遂行ヲ阻止セムトセル恐レアルハ勿論實施後ニ於テ經費負擔ノ過重ヲ來シ組合財務ヲ窮地ニ陥ルル恐レアルヲ以テ爾今一層資金ノ供給ヲ潤澤ナラシメラレンコトヲ要望ス

移住家屋補助ノ恩典ハ漸次農耕地ノ經營ヲ安定セシメムトシツツアリト雖計畫的ニ之カ施設ヲ促スニハ多大ナル固定資金ヲ要スル爲自然其ノ進捗ヲ阻止セントスル恐レアルヲ以テ耕地整理組合ニ於テ該事業ヲ經營スル場合ハ耕地整理事業費ト同様ニ資金供給ノ途ヲ開カレンコトヲ要望ス

第九 農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

茨城縣提出

單ニ農用機械ニ限ラス一般土工用機械ニ付テモ農林省ニ於テ相當ノ設備ヲ爲シ之カ利用獎勵ノ途ヲ講セラレタキコト

石川縣提出

農用機械中特ニ揚水機ノ如キモノニ就テハ政府ニ於テ今少シ専門的技術官ヲ府縣ニ於ケル此ノ種事業ノ勃興ニ對シ指導獎勵上使益ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

長崎縣提出

農用機械ノ使用運轉等ニ關シ特殊技術者ノ講習會ヲ開催セラレ一層普及徹底ヲ期セラレタキコト

千葉縣提出

- 一、農用機械購入費補助ハ縣費ノ有無ニ不拘國庫ヨリ補助セラレンコトヲ望ム
- 二、農林省備付ノ開墾機械ヲ増加シ貸付ヲ簡便容易ナラシメンコトヲ望ム

第十 其ノ他ノ事項

秋田縣提出

農業水利法ノ制定等ニ關スル件

説明 本邦ニ於ケル擴張改良事業ヲ促進スルニ付最密接ニシテ重大ナル關係ヲ有スルコト水利問題ニ若クモノナキハ一般事例ヲ示ス處ナリ然レ共現在ニ於テハ之ニ關シ未タ獨立シタル法令ノ制定セラレタルモノナキヲ以テ斯業ノ發達ヲ阻害スルコト尠ナラサルカ如シ故ニ可成速ニ農業水利法ヲ制定シ尙農業水利紛議ノ協調ニ關スル相當機關ヲ設置セラルルコト斯業獎勵上最緊要ノ施設ナルカ如ク認メラレ又水利組合ノ事業ハ一般ニ農業水利ニ關スル事項ナルモ内務大臣ノ監督ニ屬スルカ爲耕地ノ擴張改良事業ノ遂行上支障アル事例ニ乏シカラサルカ如キヲ以テ之ヲ農林大臣ニ移管セラレムコトヲ望ム

神奈川縣提出

農業水利ノ統制ニ關スル件

近時諸般ノ水利事業勃興シ現在ノ水利事務取扱方法ノミヲ以テセハ灌溉水利ニ憂懼スヘキ結果ヲ生スヘキモノト思料セラル速ニ農業水利取締規定又ハ水利法ヲ制定スルト同時ニ農業水利取締ニ對シ監督官吏ヲ各地方ニ配置スルノ要アリ

千葉縣提出

地方提出事項

一、治水及利水ノ統一調和ヲ期スル爲之カ法律ヲ制定セラレ度
理由 現在統一セル水法ノ制定無キ爲治水及利水ノ統一調和ヲ缺ク場合多ク不便尠カラサルニ依ル
富山縣提出

農業水利ト水力電氣事業トノ調和ニ關スル件

近時水力電氣事業ノ發達ニ伴ヒ農業水利事業ト協調ヲ缺ク事例乏シカラス依テ農林省ニ於テ之カ調和
ニ適當ナル方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

長崎縣提出

農業水利法ヲ制定セラレタキコト

石川縣提出

農道改良事業ニ關スル件

農林省ニアリテハ曩ニ用排水幹線改良補助要項ヲ制定シ農業水利上ニ付テハ其ノ改善ヲ計ラレアルト
同様農道即チ産業道路ノ改良ニ關シテモ適當ナル補助政策ヲ樹立セラレムコトヲ望ム

岡山縣提出

農業土木ニ關スル研究機關設置ノ件

理由 農業土木ニ關スル事業ハ最モ緊要ナル事業ナルニ拘ラス近時科學ノ進歩ニ伴ハサル恨アルハ一
ニ之等ニ關スル研究所又ハ試験所等ノ研究機關ノ缺如セルニ由ルモノト認メラルヲ以テ速ニ此ノ機
關ノ設置ヲ望ム

香川縣提出

- 一、昨年度開催セラレタル會議ニ於ケル決議事項ヲ速ニ實施セシメラレタシ
- 二、地方費ノ負擔ヲ輕減セシムル爲地方職員ヲ相當國費支辨トセラレタシ

終